

## 第3章 要介護認定者調査

### <調査結果の概要>

#### (1) 要介護認定者の介護の実態

- 「要介護1」が31.2%と最多である(図表 3-11)。介護が必要になった主な原因は、「認知症(アルツハイマー病など)」が32.4%と最多である(図表 3-15)。
- 利用している介護サービスは、「福祉用具の貸与」が64.0%と最多。次いで「通所介護」(38.8%)、「訪問介護」(29.6%)の順(図表 3-19)。
- 介護保険の在宅サービスの費用に対する考えは、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」が35.3%と最多となっている(図表 3-24)。
- 介護を受けたい場所としては、「自宅」が35.1%と最多。次いで「介護施設」が28.6%と続く。一方で「わからない」が14.2%(図表 3-26)。
- 施設などへの入所・入居の検討状況については、現在「入所・入居を検討していない」が68.9%と最多。一方で、「入所・入居を検討している」が19.7%となっており(図表 3-30)、入所申込み(検討)をした施設は、「特別養護老人ホーム」が53.5%と最多であり(図表 3-32)、施設の場所としては「豊島区内」が63.6%と最多となった(図表 3-34)。

#### (2) 家族介護者支援

- 主介護者は、「子」が39.5%と最多。(図表 3-57)性別は、「男性」が33.1%、「女性」が57.5%(図表 3-58)。
- 主介護者は、介護の頻度として「ほぼ毎日ある」が66.5%と最多となっている(図表 3-61)。主介護者が不安を感じる介護は、「外出の付き添い、送迎など」が28.7%と最多(図表 3-63)。
- 主介護者は、「健康であり、要介護認定は受けていない」が43.7%と最多。次いで「何らかの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない」が20.7%と続いている。なお、“80歳以上”では、「要支援1・2の認定を受けている」が最多(図表 3-65)。
- 主介護者は何らかの勤務形態(「フルタイムで働いている」(21.1%)、「パートタイムで働いている」(18.1%))で働いている割合は39.2%(図表 3-67)。
- 家族・親族における介護を理由とした離職の状況は、「介護のために仕事をやめた家族・親族はいない」が54.0%と最多(図表 3-73)となっており、主介護者の働き方の調整状況は、「介護のために、労働時間を調整をしながら働いている」が38.5%と最多であり(図表 3-69)、主介護者の就労意向としては、「問題はあるが何とか続けていける」が55.7%と最多となっている(図表 3-71)。

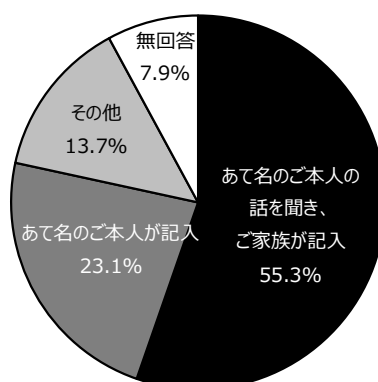
## 1. ご本人について

### (1) 回答者

問1. この調査票にご回答いただいている方は、どなたですか。(ひとつだけ○)

**「あて名のご本人の話を聞き、ご家族が記入」が55.3%と最多。**

図表 3-1 回答者 (n=759)

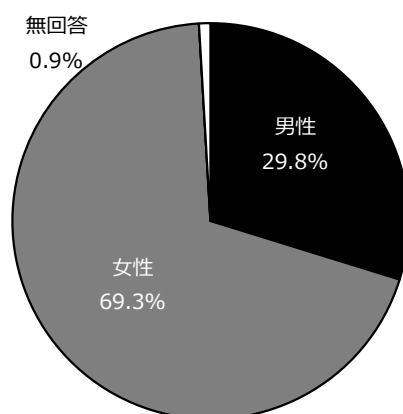


### (2) 性別

問2. あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ○)

**「男性」が29.8%、「女性」が69.3%。**

図表 3-2 性別 (n=759)

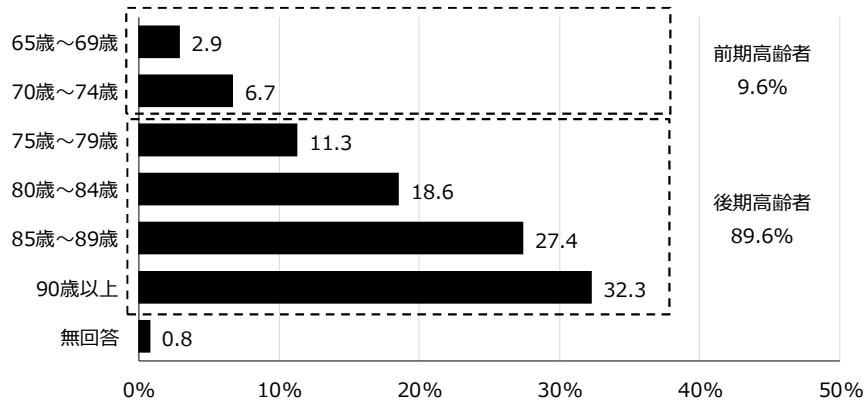


(3) 年齢

問3. あなたの令和元年11月1日現在の年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

『前期高齢者』が9.6%、『後期高齢者』が89.6%。

図表 3-3 年齢(n=759)



図表 3-4 主介護者の年齢別の年齢

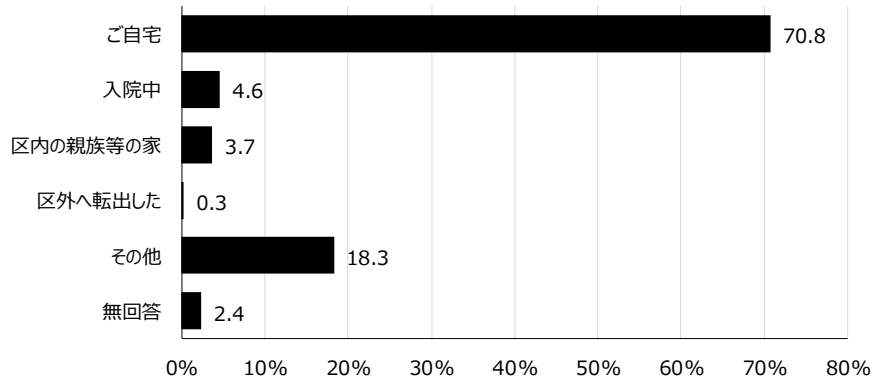
		回 調 査 数	6 5 歳 ~ 6 9 歳	7 0 歳 ~ 7 4 歳	7 5 歳 ~ 7 9 歳	8 0 歳 ~ 8 4 歳	8 5 歳 ~ 8 9 歳	9 0 歳 以 上	無 回 答	(%)
全体		759	2.9	6.7	11.3	18.6	27.4	32.3	0.8	
主 介 護 者 の 年 齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	30代	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40代	17	5.9	11.8	35.3	41.2	0.0	5.9	0.0	
	50代	111	0.0	1.8	8.1	29.7	39.6	20.7	0.0	
	60代	140	6.4	5.7	2.9	2.1	25.7	56.4	0.7	
	70代	134	4.5	14.9	29.9	18.7	8.2	23.9	0.0	
	80歳以上	110	0.0	3.6	10.0	32.7	39.1	14.5	0.0	

(4) 居住地

問4. あなたは現在、どちらにお住まいですか。(ひとつだけ○)

「ご自宅」が70.8%と最多。

図表 3-5 現在の住まい(n=759)

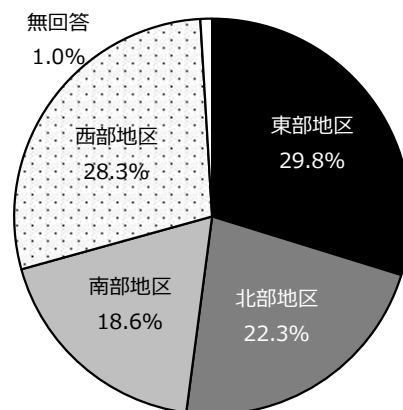


(5) 居住地区

問5. あなたがお住まいの地域をお答えください。(ひとつだけ○)

「東部地区」が29.8%と最多。次いで「西部地区」(28.3%)、「北部地区」(22.3%)の順。

図表 3-6 居住地(n=618)

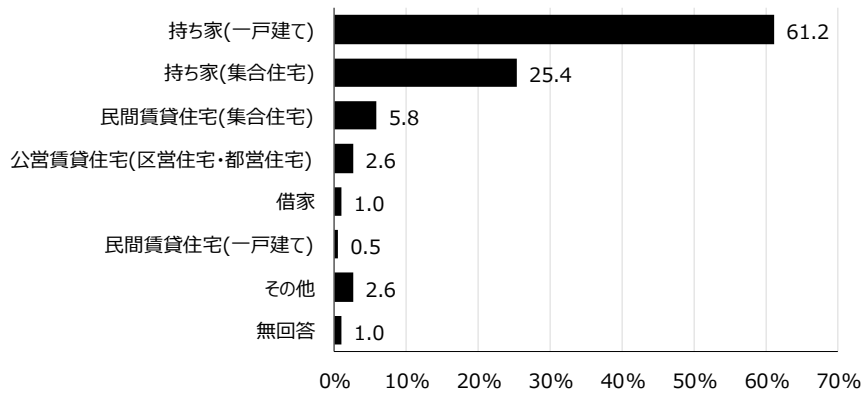


(6) 住宅の形態

問6. あなたのお住まいは、一戸建てまたは集合住宅のどちらですか。(ひとつだけ○)

「持ち家(一戸建て)」が61.2%と最多。

図表 3-7 住宅の形態 (n=618)



図表 3-8 居住地、家族構成別の住宅の形態

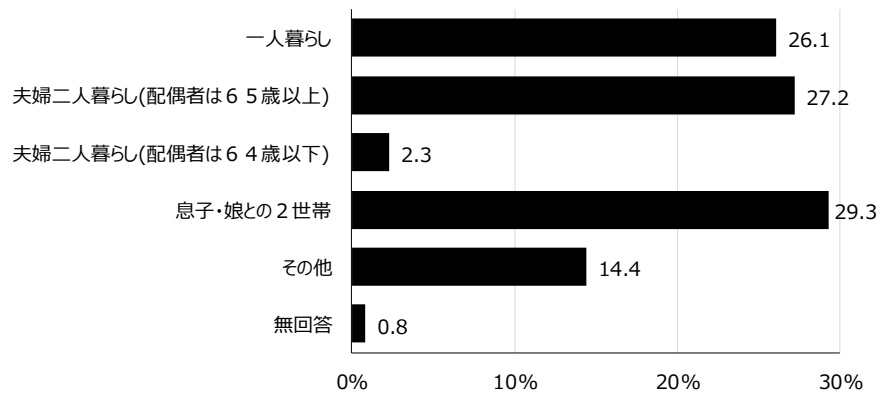
		回答者数	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	公営賃貸住宅(区営住宅・都営住宅)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答	(%)
全体		618	61.2	25.4	2.6	0.5	5.8	1.0	2.6	1.0	
居住地	東部地区	184	51.6	32.1	4.9	0.5	7.6	0.5	2.2	0.5	
	北部地区	138	62.3	25.4	0.7	0.0	8.0	0.7	2.9	0.0	
	南部地区	115	54.8	36.5	0.9	0.9	4.3	0.0	2.6	0.0	
	西部地区	175	76.6	12.0	2.9	0.6	2.9	1.7	2.9	0.6	
家族構成	一人暮らし	161	50.9	28.6	3.7	1.2	6.8	1.2	6.2	1.2	
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	56.5	29.2	4.2	0.0	7.7	1.2	1.2	0.0	
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	50.0	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	
	息子・娘との2世帯	181	73.5	21.5	0.6	0.6	3.3	0.0	0.6	0.0	
	その他	89	67.4	20.2	1.1	0.0	6.7	2.2	2.2	0.0	

(7) 家族構成

問7. あなたの現在の世帯の状況を、以下の中からお答えください。(ひとつだけ○)

「息子・娘との2世帯」が29.3%と最多。次いで「夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)」(27.2%)、「一人暮らし」(26.1%)の順。

図表 3-9 世帯構成 (n=618)



図表 3-10 性・年齢、居住地別の世帯構成

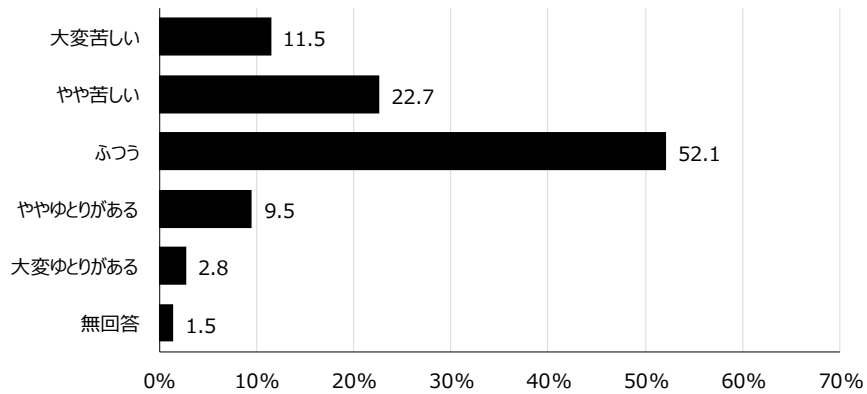
		回答者数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	(%)
全体		618	26.1	27.2	2.3	29.3	14.4	0.8	
男性	男性計	196	14.8	46.9	5.1	20.9	11.7	0.5	
	65歳~69歳	8	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	
	70歳~74歳	19	31.6	52.6	0.0	10.5	5.3	0.0	
	75歳~79歳	35	2.9	48.6	11.4	20.0	14.3	2.9	
	80歳~84歳	45	20.0	51.1	2.2	15.6	11.1	0.0	
	85歳~89歳	59	3.4	54.2	8.5	25.4	8.5	0.0	
90歳以上	30	30.0	23.3	0.0	26.7	20.0	0.0		
女性	女性計	416	31.3	18.0	1.0	33.7	15.9	0.2	
	65歳~69歳	12	8.3	75.0	0.0	8.3	8.3	0.0	
	70歳~74歳	24	29.2	33.3	0.0	12.5	20.8	4.2	
	75歳~79歳	43	11.6	46.5	0.0	27.9	14.0	0.0	
	80歳~84歳	82	29.3	25.6	2.4	28.0	14.6	0.0	
	85歳~89歳	107	39.3	11.2	1.9	29.9	17.8	0.0	
90歳以上	148	34.5	3.4	0.0	46.6	15.5	0.0		
居住地	東部地区	184	31.5	27.7	1.6	27.7	11.4	0.0	
	北部地区	138	21.7	26.1	2.9	29.7	19.6	0.0	
	南部地区	115	27.0	26.1	3.5	29.6	13.9	0.0	
	西部地区	175	23.4	29.1	1.7	31.4	13.7	0.6	

(8) 経済状況

問8. あなたは現在の暮らしの経済的な状況をどう感じていますか。(ひとつだけ○)

「ふつう」が52.1%と最多。

図表 3-11 経済状況 (n=618)



図表 3-12 居住地、家族構成別の経済状況

		回答者数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	(%)
全体		618	11.5	22.7	52.1	9.5	2.8	1.5	
居住地	東部地区	184	13.6	23.4	48.9	9.8	3.8	0.5	
	北部地区	138	10.9	16.7	60.9	7.2	2.9	1.4	
	南部地区	115	9.6	22.6	52.2	13.0	1.7	0.9	
	西部地区	175	10.9	26.9	50.3	9.1	2.3	0.6	
家族構成	一人暮らし	161	10.6	22.4	51.6	9.3	3.7	2.5	
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	14.9	27.4	48.2	7.7	1.8	0.0	
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	14.3	21.4	57.1	0.0	0.0	7.1	
	息子・娘との2世帯	181	9.9	18.8	56.4	12.7	2.2	0.0	
	その他	89	10.1	23.6	52.8	9.0	4.5	0.0	

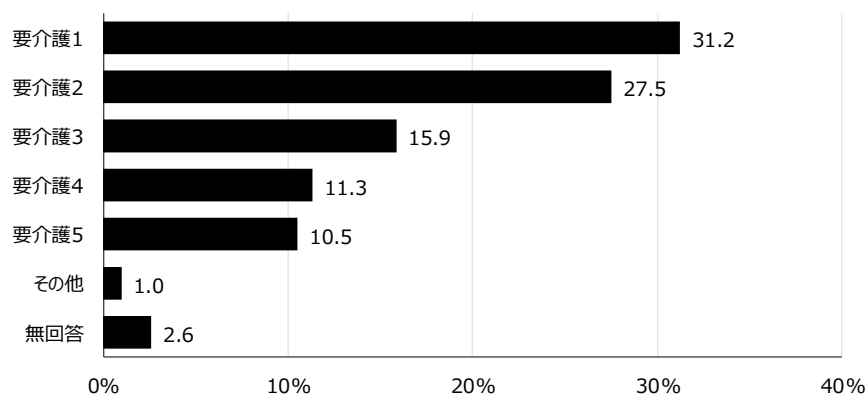
## 2. 介護について

### (1) 要介護度

問9. あなたの現在の要介護度は次のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「要介護1」が31.2%と最多。次いで「要介護2」(27.5%)、「要介護3」(15.9%)の順。

図表 3-13 要介護度(n=618)



図表 3-14 性・年齢別の要介護度

		回答者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	無回答	(%)
全体		618	31.2	27.5	15.9	11.3	10.5	1.0	2.6	
男性	男性計	196	30.1	27.6	19.4	11.2	9.2	1.0	1.5	
	65歳～69歳	8	37.5	37.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	
	70歳～74歳	19	21.1	31.6	26.3	15.8	5.3	0.0	0.0	
	75歳～79歳	35	25.7	28.6	25.7	5.7	8.6	0.0	5.7	
	80歳～84歳	45	31.1	35.6	20.0	4.4	8.9	0.0	0.0	
	85歳～89歳	59	40.7	15.3	13.6	13.6	11.9	3.4	1.7	
90歳以上	30	16.7	33.3	23.3	20.0	6.7	0.0	0.0		
女性	女性計	416	31.7	27.4	14.4	11.5	11.1	1.0	2.9	
	65歳～69歳	12	41.7	16.7	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	
	70歳～74歳	24	25.0	33.3	8.3	20.8	8.3	0.0	4.2	
	75歳～79歳	43	25.6	27.9	14.0	20.9	11.6	0.0	0.0	
	80歳～84歳	82	41.5	20.7	11.0	12.2	9.8	1.2	3.7	
	85歳～89歳	107	33.6	31.8	12.1	8.4	8.4	2.8	2.8	
	90歳以上	148	27.0	27.7	19.6	8.8	13.5	0.0	3.4	

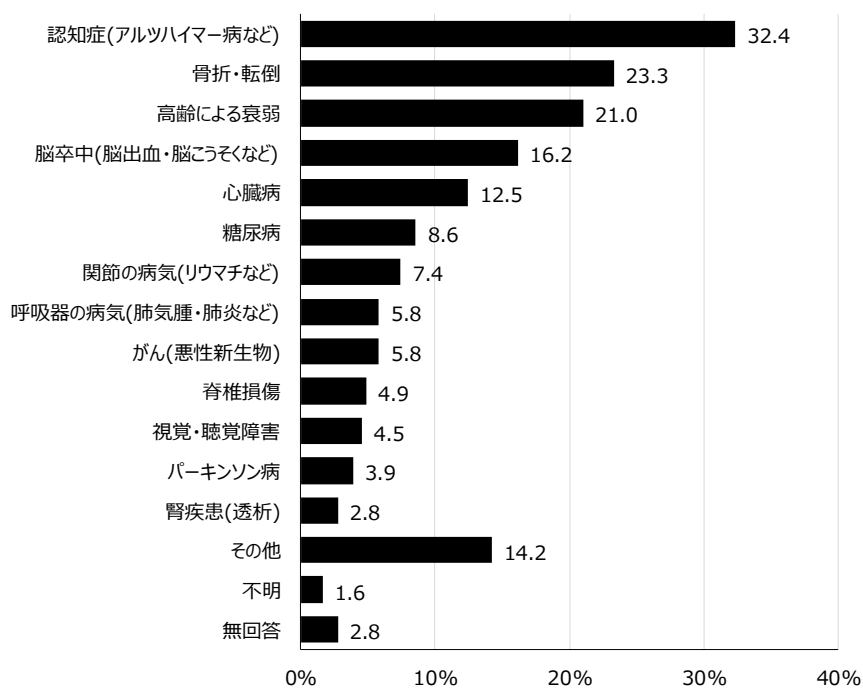


(2) 介護が必要になった主な原因

問10. あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「認知症(アルツハイマー病など)」が32.4%と最多。次いで「骨折・転倒」(23.3%)、「高齢による衰弱」(21.0%)の順。

図表 3-15 介護が必要になった主な原因 (n=618)



性別で見ると、“男性”では、「認知症(アルツハイマー病など)」25.0%、「脳卒中(脳出血・脳こうそくなど)」23.5%、「高齢による衰弱」18.9%の順に高くなっており、“女性”では、「認知症(アルツハイマー病など)」36.3%、「骨折・転倒」27.6%、「高齢による衰弱」22.1%の順に高くなっています。男女ともに「認知症(アルツハイマー病など)」が最も高くなっていますが、性別で傾向が異なる部分も見られます。

図表 3-16 性・年齢、要介護度別の介護が必要になった主な原因

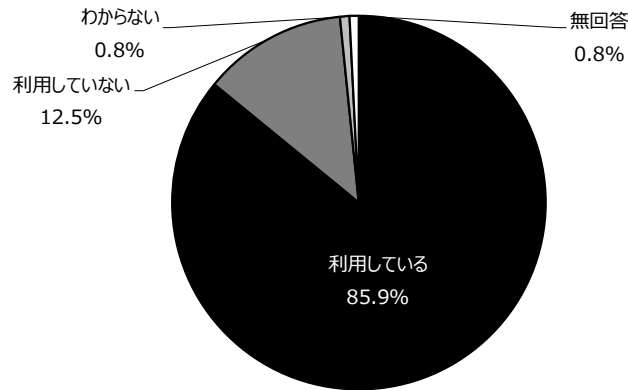
	回答者数	脳卒中 (脳出血・脳こうそくなど)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気(肺炎など)	関節の病 気(リウマチなど)	認知症 (アルツハイマー病など)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	618	16.2	12.5	5.8	5.8	7.4	32.4	3.9	8.6	2.8	4.5	23.3	4.9	21.0	14.2	1.6	2.8	
男性	男性計	196	23.5	12.8	8.2	10.7	5.6	25.0	5.6	14.3	4.1	5.1	14.8	5.6	18.9	16.8	2.0	1.5
	65歳～69歳	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	
	70歳～74歳	19	47.4	0.0	10.5	5.3	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	
	75歳～79歳	35	22.9	2.9	8.6	8.6	8.6	28.6	5.7	14.3	0.0	2.9	8.6	5.7	8.6	20.0	0.0	8.6
	80歳～84歳	45	24.4	17.8	6.7	15.6	8.9	22.2	8.9	20.0	2.2	8.9	15.6	6.7	13.3	8.9	2.2	0.0
	85歳～89歳	59	20.3	11.9	8.5	15.3	5.1	33.9	5.1	15.3	1.7	3.4	16.9	6.8	25.4	20.3	1.7	0.0
	90歳以上	30	13.3	26.7	6.7	3.3	0.0	20.0	0.0	10.0	13.3	10.0	20.0	6.7	43.3	6.7	6.7	0.0
女性	女性計	416	13.0	12.5	4.8	3.6	8.2	36.3	3.1	5.8	2.2	4.3	27.6	4.1	22.1	13.2	1.2	2.9
	65歳～69歳	12	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	70歳～74歳	24	25.0	4.2	12.5	0.0	16.7	20.8	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	29.2	4.2	4.2
	75歳～79歳	43	16.3	7.0	11.6	2.3	4.7	34.9	2.3	11.6	7.0	4.7	20.9	2.3	7.0	23.3	0.0	0.0
	80歳～84歳	82	11.0	7.3	4.9	7.3	9.8	43.9	4.9	6.1	1.2	2.4	26.8	7.3	14.6	13.4	1.2	3.7
	85歳～89歳	107	9.3	13.1	2.8	4.7	6.5	38.3	2.8	4.7	1.9	2.8	30.8	1.9	25.2	10.3	1.9	3.7
	90歳以上	148	12.2	18.9	3.4	2.0	7.4	36.5	1.4	5.4	1.4	7.4	32.4	4.7	33.8	9.5	0.7	2.7
要介護度	要介護1	193	8.8	12.4	2.6	2.6	9.3	38.9	2.6	8.8	2.6	4.7	18.1	3.1	24.4	13.5	2.1	1.6
	要介護2	170	14.7	15.3	9.4	7.6	10.0	22.9	2.9	8.8	4.1	5.3	29.4	7.6	21.8	14.7	1.2	1.2
	要介護3	98	16.3	10.2	6.1	5.1	4.1	35.7	3.1	11.2	0.0	4.1	26.5	7.1	17.3	10.2	3.1	0.0
	要介護4	70	27.1	15.7	7.1	10.0	5.7	38.6	4.3	7.1	5.7	2.9	22.9	2.9	17.1	15.7	1.4	0.0
	要介護5	65	33.8	9.2	3.1	7.7	3.1	33.8	12.3	7.7	1.5	6.2	26.2	1.5	21.5	20.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0

(3) 介護サービスの利用状況

問11. 現在、あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけ○)

「利用している」が85.9%。

図表 3-17 介護保険サービスの利用状況 (n=618)



図表 3-18 居住地、家族構成、経済状況別の介護保険サービスの利用状況

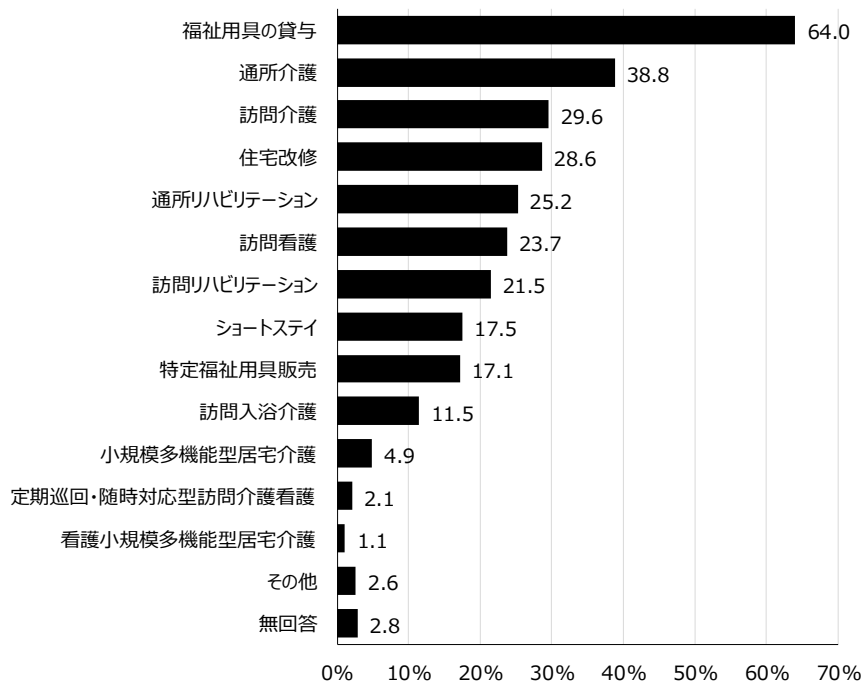
		回答者数	利用している	利用していない	わからない	無回答	
全体		618	85.9	12.5	0.8	0.8	(%)
居住地	東部地区	184	85.3	12.0	1.1	1.6	
	北部地区	138	88.4	10.9	0.7	0.0	
	南部地区	115	85.2	13.9	0.9	0.0	
	西部地区	175	85.7	13.1	0.6	0.6	
家族構成	一人暮らし	161	88.2	10.6	0.6	0.6	
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	82.1	14.3	1.8	1.8	
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	85.7	14.3	0.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	181	87.8	12.2	0.0	0.0	
	その他	89	86.5	12.4	1.1	0.0	
経済状況	大変苦しい	71	81.7	18.3	0.0	0.0	
	やや苦しい	140	90.0	6.4	2.1	1.4	
	ふつう	322	85.1	13.7	0.6	0.6	
	ややゆとりがある	59	89.8	10.2	0.0	0.0	
	大変ゆとりがある	17	82.4	17.6	0.0	0.0	

(4) 利用している介護サービス

問11-1. 問11で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。あなたが利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉用具の貸与」が64.0%と最多。次いで「通所介護」(38.8%)、「訪問介護」(29.6%)の順。

図表 3-19 利用している介護保険サービス (n=531)



家族構成別でみると、“一人暮らし”では、「訪問介護」が最も高くなっています。  
 “娘・息子との2世帯”においては、他の家族構成に比べ“通所介護”が高くなっています。

図表 3-20 家族構成、経済状況、要介護度別の利用している介護保険サービス

		回答者数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	ショートステイ	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与	特定福祉用具販売	住宅改修	その他	無回答
全体		531	29.6	11.5	23.7	21.5	38.8	25.2	17.5	2.1	4.9	1.1	64.0	17.1	28.6	2.6	2.8
家族構成	一人暮らし	142	54.9	11.3	23.2	16.9	32.4	21.8	8.5	2.8	4.9	1.4	53.5	14.8	26.8	5.6	3.5
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	138	25.4	13.8	26.1	28.3	25.4	24.6	11.6	3.6	7.2	1.4	65.2	18.8	27.5	3.6	2.9
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	12	16.7	0.0	16.7	16.7	25.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	8.3	0.0	16.7
	息子・娘との2世帯	159	14.5	10.1	21.4	19.5	53.5	24.5	23.3	1.3	3.8	0.0	71.7	17.6	30.8	0.6	1.3
	その他	77	22.1	11.7	26.0	22.1	45.5	32.5	33.8	0.0	3.9	2.6	67.5	20.8	29.9	0.0	2.6
経済状況	大変苦しい	58	36.2	12.1	19.0	20.7	29.3	24.1	6.9	3.4	3.4	0.0	62.1	17.2	29.3	3.4	0.0
	やや苦しい	126	31.7	11.1	27.8	21.4	33.3	23.0	15.1	4.0	5.6	3.2	63.5	15.1	24.6	4.0	4.0
	ふつう	274	27.7	11.3	23.7	22.3	44.2	24.5	17.2	1.1	5.5	0.4	63.5	17.2	28.5	1.8	2.6
	ややゆとりがある	53	24.5	11.3	20.8	18.9	35.8	34.0	37.7	1.9	0.0	1.9	71.7	17.0	35.8	1.9	1.9
	大変ゆとりがある	14	28.6	14.3	14.3	28.6	21.4	35.7	14.3	0.0	14.3	0.0	64.3	42.9	35.7	7.1	7.1
要介護度	要介護1	156	20.5	5.1	12.2	13.5	30.1	38.5	7.7	1.9	2.6	1.9	46.2	12.2	25.6	3.2	3.2
	要介護2	157	29.3	8.3	12.7	18.5	31.8	29.3	12.7	1.3	6.4	0.6	59.9	15.9	26.1	1.9	4.5
	要介護3	92	32.6	8.7	33.7	26.1	55.4	10.9	20.7	2.2	4.3	1.1	72.8	22.8	33.7	3.3	0.0
	要介護4	62	32.3	25.8	43.5	33.9	40.3	14.5	24.2	3.2	4.8	0.0	85.5	19.4	27.4	3.2	0.0
	要介護5	54	44.4	24.1	50.0	31.5	55.6	13.0	48.1	3.7	9.3	1.9	90.7	20.4	37.0	1.9	3.7
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

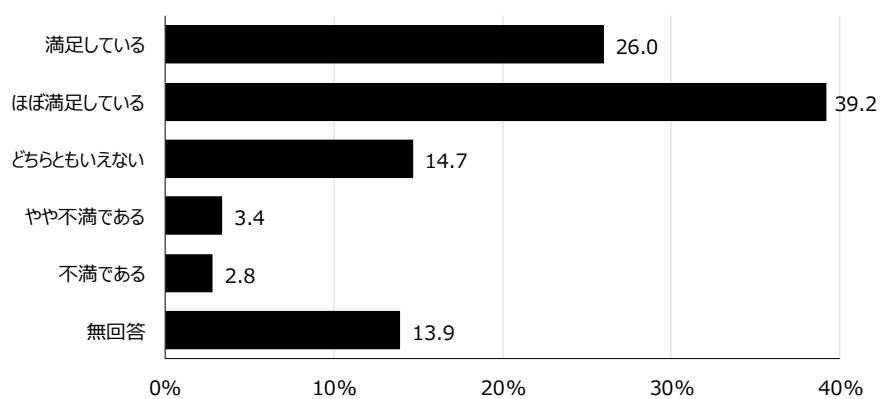
(%)

(5) ケアプランに対する満足度

問11-2. 問11で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。あなたの現在のケアプランに対する満足度はいかがですか。(ひとつだけ○)

「ほぼ満足している」が39.2%と最多。次いで「満足している」(26.0%)、「どちらともいえない」(14.7%)の順。

図表 3-21 ケアプランに対する満足度 (n=531)

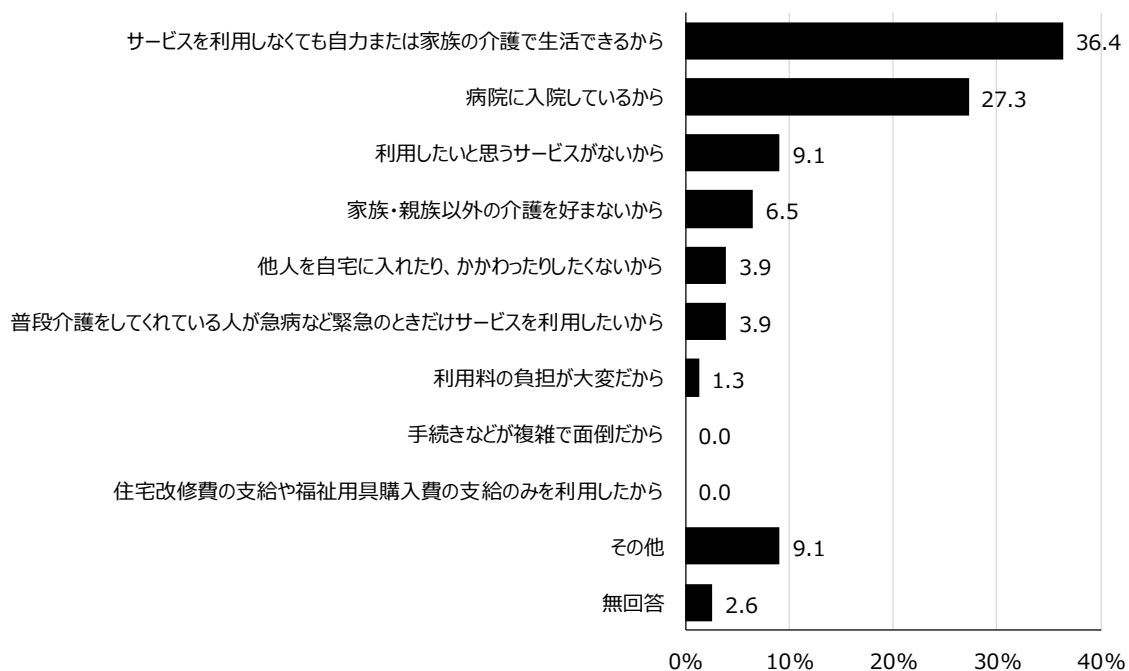


(6) 介護保険サービスを利用していない理由

問12. 問11で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

「サービスを利用しなくても自力または家族の介護で生活できるから」が36.4%と最多。次いで「病院に入院しているから」が27.3%と続く。

図表 3-22 介護保険サービスを利用していない理由 (n=77)



要介護度別でみると、“要介護1”“要介護2”では、他の要介護度と比べ「サービスを利用しなくても自力または家族の介護で生活できるから」が高い傾向です。“要介護3”“要介護4”“要介護5”では、「病院に入院しているから」が最も高くなっています。

図表 3-23 家族構成、経済状況、要介護度別の  
介護保険サービスを利用していない理由

	回答者数	病院に入院しているから	自力または家族の介護で生活できるから	サービスを利用しなくても生活できるから	緊急のときだけサービスを利用している人が急病などから	普段介護をしてきて利用している人が急病などから	支給のみを利用したから	住宅改修費の支給や福祉用具購入費の	利用したいと思うサービスがないから	手続きなどが複雑で面倒だから	家族・親族以外の介護を好まないから	他人を自宅に入れたりしたくないから	利用料の負担が大変だから	その他	無回答
全体	77	27.3	36.4	3.9	0.0	9.1	0.0	6.5	3.9	1.3	9.1	2.6	(%)		
家族構成	一人暮らし	17	29.4	17.6	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8		
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	24	25.0	45.8	4.2	0.0	12.5	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0		
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	息子・娘との2世帯	22	36.4	22.7	0.0	0.0	9.1	0.0	13.6	4.5	4.5	9.1	0.0		
	その他	11	18.2	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0		
経済状況	大変苦しい	13	38.5	15.4	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0		
	やや苦しい	9	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0		
	ふつう	44	15.9	50.0	4.5	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	2.3		
	ややゆとりがある	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	大変ゆとりがある	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		
要介護度	要介護1	34	2.9	52.9	2.9	0.0	14.7	0.0	8.8	5.9	2.9	8.8	0.0		
	要介護2	13	23.1	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0		
	要介護3	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	要介護4	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	要介護5	7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0		
	その他	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0		

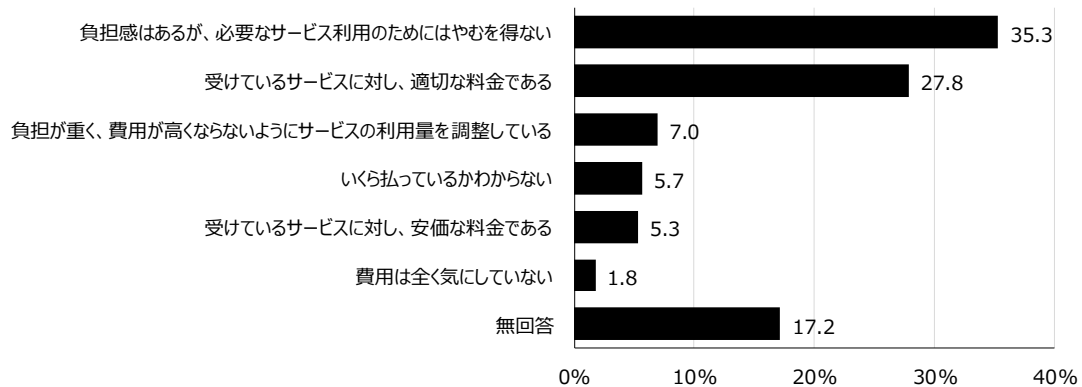


(7) 介護保険の在宅サービスの費用に対する考え

問13. あなたは、介護保険の在宅サービスの利用に要する費用についてどのようにお感じですか。(ひとつだけ○)

「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」が35.3 %と最多。次いで「受けているサービスに対し、適切な料金である」が27.8 %と続く。

図表 3-24 介護保険の在宅サービスの利用に要する費用に対する考え (n=618)



図表 3-25 経済状況別の介護保険の在宅サービスの利用に要する費用に対する考え

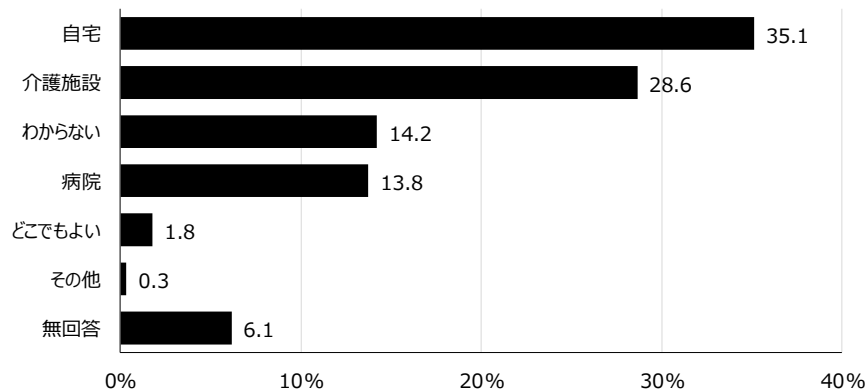
		回答者数	安価な料金であるサービスに対し、	適切な料金であるサービスに対し、	負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない	サービス利用が重く、費用が高くないように調整している	費用は全く気にしていない	いくら払っているかわからない	無回答
全体		618	5.3	27.8	35.3	7.0	1.8	5.7	17.2
経済状況	大変苦しい	71	1.4	14.1	39.4	21.1	0.0	8.5	15.5
	やや苦しい	140	3.6	19.3	44.3	12.1	0.0	4.3	16.4
	ふつう	322	5.9	30.7	36.3	3.4	1.2	6.2	16.1
	ややゆとりがある	59	6.8	49.2	13.6	0.0	6.8	3.4	20.3
	大変ゆとりがある	17	23.5	29.4	0.0	0.0	17.6	5.9	23.5

(8) 介護を受けたい場所

問14. あなたの介護度が現在より悪化した場合、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

「自宅」が35.1%と最多。次いで「介護施設」が28.6%と続く。一方で「わからない」が14.2%。

図表 3-26 介護を受けたい場所 (n=618)



経済状況別で見ると、「大変苦しい」「やや苦しい」では、「介護施設」が最も高くなっています。上記以外では、「自宅」が最も高くなっています。

要介護度別で見ると、「要介護3」では、「介護施設」が最も高くなっています。上記以外では、「自宅」が最も高くなっています。

図表 3-27 家族構成、経済状況、要介護度別の介護を受けたい場所

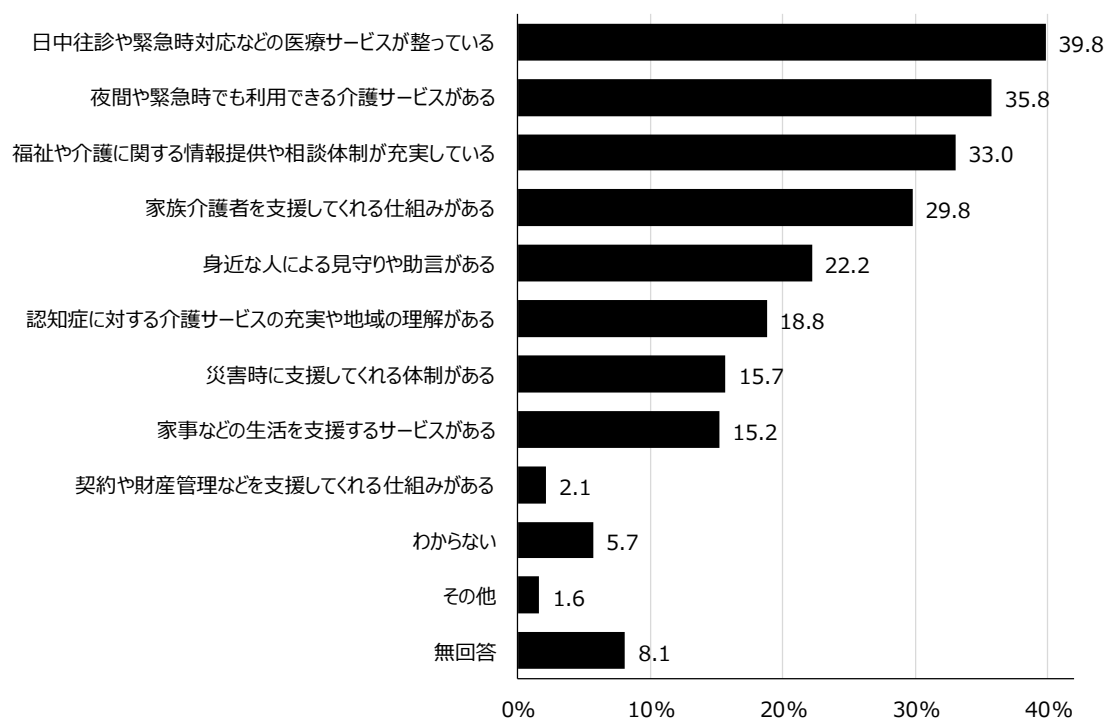
	回答者数	自宅	介護施設	病院	どこでもよい	その他	わからない	無回答	
全体	618	35.1	28.6	13.8	1.8	0.3	14.2	6.1	
家族構成	一人暮らし	161	35.4	23.6	14.3	1.2	0.0	16.1	9.3
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	32.7	33.9	16.7	1.2	0.0	10.7	4.8
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	35.7	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
	息子・娘との2世帯	181	35.9	27.6	10.5	3.3	0.0	18.8	3.9
	その他	89	39.3	28.1	14.6	1.1	1.1	10.1	5.6
経済状況	大変苦しい	71	29.6	35.2	14.1	2.8	0.0	12.7	5.6
	やや苦しい	140	30.7	31.4	15.7	3.6	0.7	10.7	7.1
	ふつう	322	37.9	27.6	13.0	0.9	0.0	16.5	4.0
	ややゆとりがある	59	33.9	27.1	15.3	0.0	0.0	13.6	10.2
	大変ゆとりがある	17	47.1	11.8	11.8	5.9	0.0	17.6	5.9
要介護度	要介護1	193	32.1	26.4	14.0	2.1	0.5	18.7	6.2
	要介護2	170	35.9	27.6	12.4	1.8	0.6	15.9	5.9
	要介護3	98	32.7	40.8	13.3	1.0	0.0	11.2	1.0
	要介護4	70	34.3	25.7	18.6	2.9	0.0	14.3	4.3
	要介護5	65	44.6	27.7	12.3	1.5	0.0	4.6	9.2
	その他	6	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7

(9) 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

問15. あなたは、今後も介護を受けながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるにはどのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「日中往診や緊急時対応などの医療サービスが整っている」が39.8%と最多。次いで「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」(35.8%)、「福祉や介護に関する情報提供や相談体制が充実している」(33.0%)の順。

図表 3-28 今後も介護を受けながら、安心して、  
住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと (n=618)



家族構成別でみると、「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」では、「福祉や介護に関する情報提供や相談体制が充実している」が最も高くなっています。「娘・息子との2世帯」では他の家族構成と比べ「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が、高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が高くなるほど、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が、高くなっています。

図表 3-29 家族構成、要介護度別の今後も介護を受けながら、安心して、  
住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

	回答者数	福祉や介護に関する情報提供や相談体制が充実している	身近な人による見守りや助言がある	医療サービスや緊急時対応などの日中往診や緊急時対応などの	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症に対する介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修、または住み替えができる	家族介護者を支援していただける	契約や財産管理などを支援していただける仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	わからない	無回答	
全体	618	33.0	22.2	39.8	35.8	18.8	15.2	6.0	29.8	2.1	15.7	1.6	5.7	8.1	
家族構成	一人暮らし	161	26.7	24.2	31.1	32.9	9.9	25.5	4.3	14.9	5.0	10.6	2.5	9.3	13.7
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	42.3	23.2	37.5	34.5	17.9	14.3	7.7	29.2	0.0	17.9	1.2	4.2	7.1
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	21.4	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	28.6	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1
	息子・娘との2世帯	181	30.9	21.0	50.8	40.9	27.6	10.5	6.1	34.8	0.6	17.7	0.6	5.5	3.3
	その他	89	31.5	16.9	42.7	38.2	18.0	10.1	4.5	48.3	4.5	19.1	3.4	2.2	7.9
要介護度	要介護1	193	32.1	28.0	32.6	30.6	24.4	15.0	5.7	26.9	1.0	11.9	2.6	8.8	5.2
	要介護2	170	34.1	22.4	40.0	38.2	14.1	21.8	5.3	30.0	2.9	13.5	0.6	4.7	8.2
	要介護3	98	33.7	17.3	49.0	37.8	24.5	12.2	5.1	33.7	1.0	18.4	2.0	3.1	4.1
	要介護4	70	38.6	20.0	44.3	40.0	15.7	11.4	12.9	31.4	5.7	18.6	1.4	2.9	5.7
	要介護5	65	35.4	12.3	52.3	44.6	13.8	3.1	4.6	36.9	1.5	23.1	1.5	1.5	15.4
	その他	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3

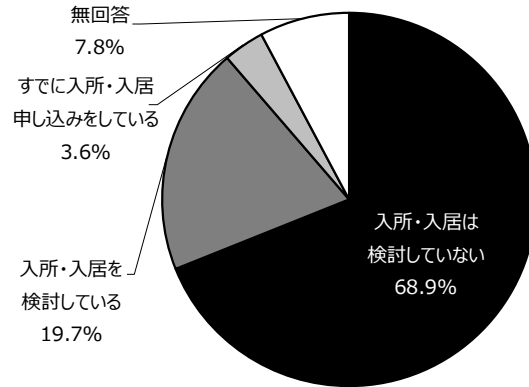
(%)

(10) 施設などへの入所・入居の検討状況

問16. あなたは、現在、施設などへの入所・入居を検討していますか。(ひとつだけ○)

「入所・入居は検討していない」が68.9%と最多。

図表 3-30 施設などへの入所・入居の検討状況 (n=618)



図表 3-31 家族構成、経済状況、要介護度、介護を受けたい場所別の施設などへの入所・入居の検討状況

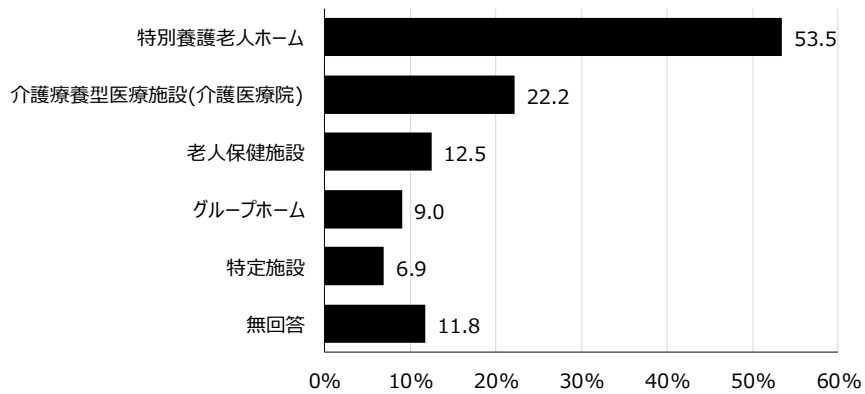
		回答者数	検討していない (%)	検討している (%)	すでに申し込みをしている (%)	無回答 (%)
全体		618	68.9	19.7	3.6	7.8
家族構成	一人暮らし	161	68.9	19.7	3.6	7.8
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	67.9	20.2	4.2	7.7
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	42.9	28.6	7.1	21.4
	息子・娘との2世帯	181	77.3	14.4	1.7	6.6
	その他	89	69.7	20.2	6.7	3.4
経済状況	大変苦しい	71	59.2	28.2	2.8	9.9
	やや苦しい	140	65.7	24.3	2.1	7.9
	ふつう	322	73.0	17.1	3.4	6.5
	ややゆとりがある	59	72.9	11.9	6.8	8.5
	大変ゆとりがある	17	70.6	17.6	0.0	11.8
要介護度	要介護1	193	72.5	17.6	2.6	7.3
	要介護2	170	73.5	18.2	0.0	8.2
	要介護3	98	61.2	24.5	7.1	7.1
	要介護4	70	64.3	25.7	2.9	7.1
	要介護5	65	63.1	16.9	12.3	7.7
	その他	6	83.3	0.0	0.0	16.7
介護を受けたい場所	自宅	217	90.3	5.1	1.8	2.8
	介護施設	177	48.6	39.0	6.8	5.6
	病院	85	69.4	21.2	1.2	8.2
	どこでもよい	11	63.6	27.3	0.0	9.1
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	88	75.0	14.8	2.3	8.0

(11) 入所申込み(検討)をした施設

問16-1. 問16で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」に○をつけた方にうかがいます。入所申込み(検討)をした施設はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「特別養護老人ホーム」が53.5%と最多。

図表 3-32 入所申込み(検討)をした施設 (n=144)



図表 3-33 経済状況別の入所申込み(検討)をした施設

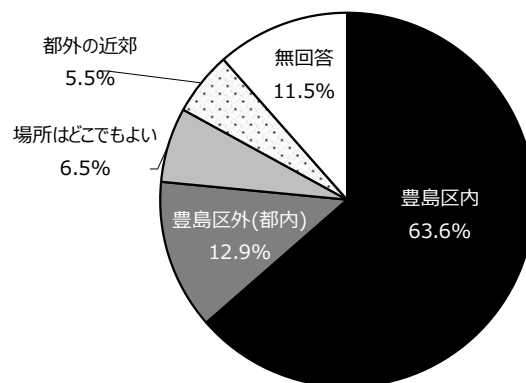
		回答者数	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設 (介護医療院)	特定施設	グループホーム	無回答
全体		144	53.5	12.5	22.2	6.9	9.0	11.8 (%)
経済状況	大変苦しい	22	53.5	12.5	22.2	6.9	9.0	11.8
	やや苦しい	37	62.2	18.9	27.0	0.0	8.1	5.4
	ふつう	66	51.5	10.6	16.7	10.6	7.6	15.2
	ややゆとりがある	11	36.4	9.1	27.3	9.1	36.4	9.1
	大変ゆとりがある	3	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0

(12) 入所を検討する施設の場所

問17. あなたが施設に入るとしたら、施設の場所をどの範囲まで検討しますか。(ひとつだけ○)

「豊島区内」が63.6%と最多。

図表 3-34 入所を検討する施設の場所 (n=618)

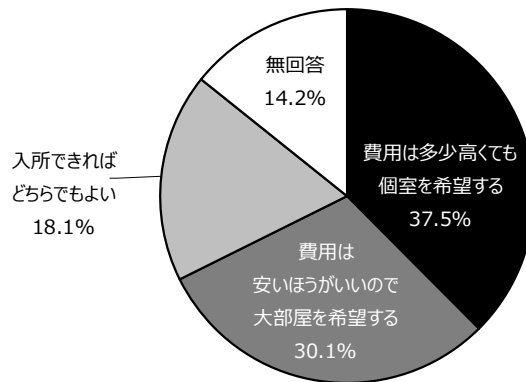


(13) 希望する施設の部屋の種類

問18. あなたが施設に入るとしたら、部屋の種類はどのようなものがよいと思いますか。(ひとつだけ○)

「費用は多少高くても個室を希望する」が37.5%と最多。次いで「費用は安いほうがいいので大部屋を希望する」(30.1%)、「入所できればどちらでもよい」(18.1%)の順。

図表 3-35 希望する施設の部屋の種類 (n=618)



経済状況別でみると、「費用は多少高くても個室を希望する」が最も高くなっています。ただし、経済状況によりその希望には差を見て取ることができます。

図表 3-36 経済状況別の希望する施設の部屋の種類

		回答者数	個室を希望する割合 (%)	大部屋を希望する割合 (%)	どちらでもよい (%)	無回答 (%)
全体		618	37.5	30.1	18.1	14.2
経済状況	大変苦しい	71	15.5	56.3	14.1	14.1
	やや苦しい	140	17.9	46.4	22.1	13.6
	ふつう	322	45.7	22.4	18.3	13.7
	ややゆとりがある	59	61.0	8.5	18.6	11.9
	大変ゆとりがある	17	64.7	5.9	5.9	23.5



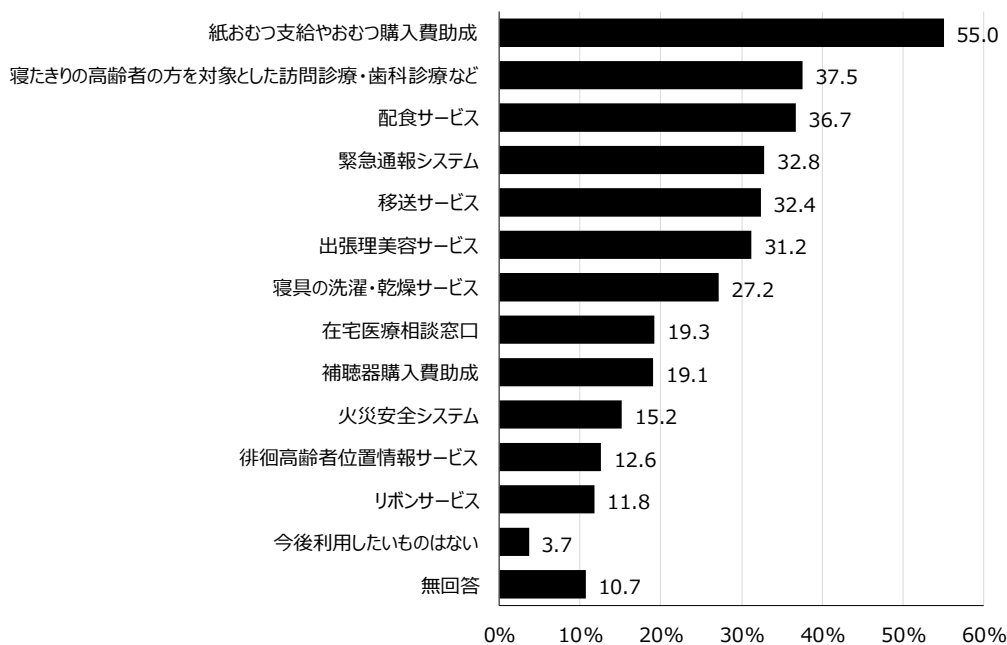
### 3. 生活支援について

#### (1) 今後利用したい保健・福祉サービス

問19. 豊島区では、高齢者の日常生活を支援するために、介護保険以外の保健・福祉サービスを実施しています。次のうち、あなたが「今後利用したいもの」はどれですか。継続して利用したいもの・新たに利用したいもののどちらも含めて回答してください。(あてはまるものすべてに○)

**「紙おむつ支給やおむつ購入費助成」が55.0%と最多。次いで「寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療など」(37.5%)、「配食サービス」(36.7%)の順。**

図表 3-37 今後利用したい保健・福祉サービス (n=618)



家族構成別でみると、“一人暮らし”“夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）”においては、全般的な選択割合が高くなっています。“一人暮らし”では、「配食サービス」が最も高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれて、「紙おむつ支給やおむつ購入費助成」「寝たきりの高齢者の方を対象とした訪問診療・歯科診療」が高くなっています。

図表 3-38 家族構成、要介護度別の今後利用したい保健・福祉サービス

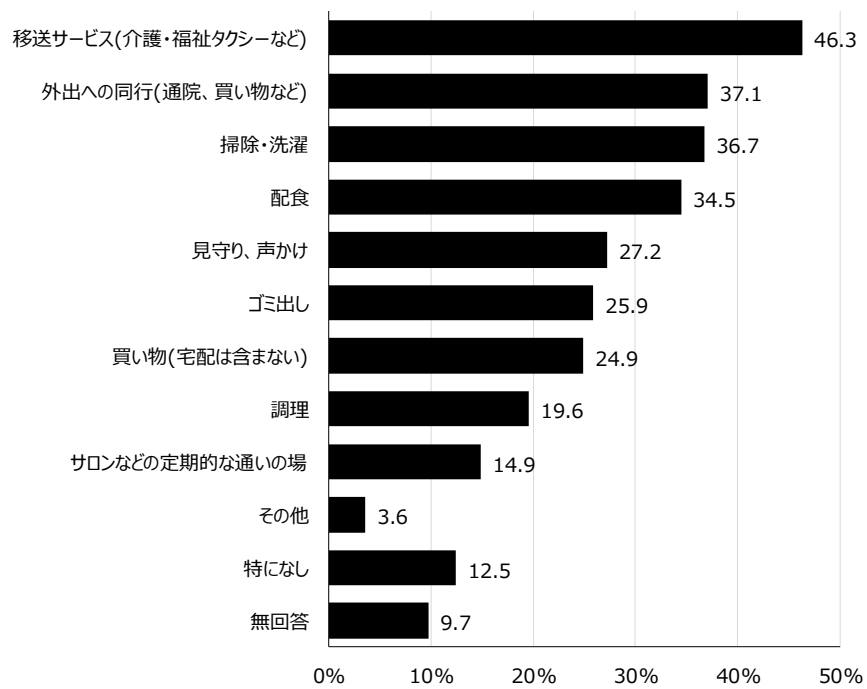
	回答者数	配食サービス	補聴器購入費助成	緊急通報システム	火災安全システム	紙おむつ支給やおむつ購入費助成	出張理美容サービス	寝具の洗濯・乾燥サービス	訪問診療・歯科診療など	寝たきりの高齢者の方を対象とした	徘徊高齢者位置情報サービス	リボンサービス	移送サービス	在宅医療相談窓口	今後利用したいものはない	無回答
全体	618	36.7	19.1	32.8	15.2	55.0	31.2	27.2	37.5	12.6	11.8	32.4	19.3	3.7	10.7	(%)
家族構成	一人暮らし	161	44.1	18.0	35.4	15.5	42.9	31.1	31.1	28.6	11.2	14.9	21.7	19.3	5.0	17.4
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	36.3	19.0	34.5	17.9	51.2	32.7	33.3	33.9	11.3	13.1	33.9	22.0	3.6	8.9
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	42.9	21.4	21.4	7.1	57.1	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0	28.6	14.3	7.1	14.3
	息子・娘との2世帯	181	31.5	21.0	32.6	11.6	61.9	31.5	18.2	45.9	16.0	7.2	34.3	16.6	3.9	6.1
	その他	89	33.7	16.9	29.2	18.0	69.7	31.5	28.1	49.4	12.4	15.7	46.1	20.2	1.1	9.0
要介護度	要介護1	193	37.8	20.7	26.9	17.1	44.0	29.5	28.5	28.5	13.5	14.0	21.8	19.2	5.2	15.5
	要介護2	170	41.2	20.6	41.2	14.1	55.9	30.0	25.3	35.3	12.4	11.8	34.1	17.6	4.7	7.1
	要介護3	98	35.7	16.3	33.7	12.2	57.1	36.7	25.5	40.8	15.3	10.2	31.6	18.4	2.0	7.1
	要介護4	70	35.7	22.9	34.3	21.4	71.4	28.6	32.9	55.7	12.9	8.6	50.0	21.4	2.9	2.9
	要介護5	65	21.5	12.3	27.7	9.2	70.8	38.5	24.6	55.4	10.8	7.7	46.2	18.5	0.0	13.8
	その他	6	66.7	16.7	66.7	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	66.7	0.0	16.7

(2) 在宅生活の継続に必要な支援

問20. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要であると感じる支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が46.3%と最多。次いで「外出への同行(通院、買い物など)」(37.1%)、「掃除・洗濯」(36.7%)の順。

図表 3-39 在宅生活の継続に必要な支援 (n=618)



家族構成別でみると、“一人暮らし”では、「掃除・洗濯」が最も高くなっています。上記以外では、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が最も高くなっています。

要介護度別でみると、“要介護2”では、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」「外出への同行(通院、買い物など)」も最も高くなっています。上記以外では、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が最も高くなっています。

図表 3-40 家族構成、要介護度別の在宅生活の継続に必要な支援

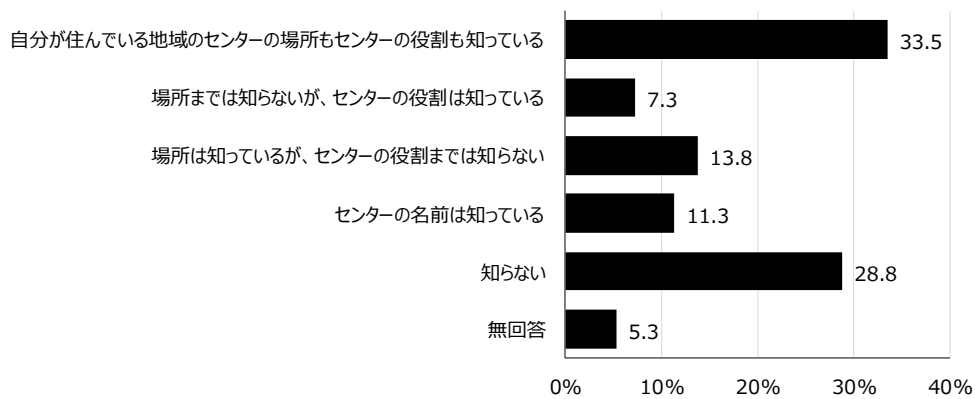
		回答者数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配物は含まない)	ゴミ出し	外出への同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシーなど)	見守り、声かけ	定期的な通いの場	サロンの場	その他	特になし	無回答
全体		618	34.5	19.6	36.7	24.9	25.9	37.1	46.3	27.2	14.9	3.6	12.5	9.7	(%)
家族構成	一人暮らし	161	40.4	26.7	53.4	42.9	46.0	45.3	37.3	38.5	15.5	3.7	4.3	11.8	
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	35.1	21.4	38.1	18.5	22.0	34.5	47.6	18.5	8.3	3.6	16.7	13.7	
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	28.6	28.6	28.6	14.3	21.4	28.6	42.9	14.3	7.1	0.0	28.6	7.1	
	息子・娘との2世帯	181	29.3	13.3	26.5	18.2	12.7	34.8	53.0	26.5	19.9	3.3	14.4	2.8	
	その他	89	32.6	13.5	25.8	19.1	23.6	31.5	47.2	25.8	18.0	4.5	13.5	11.2	
要介護度	要介護1	193	34.2	15.0	33.2	21.8	23.3	34.2	38.3	28.0	14.5	2.6	15.0	12.4	
	要介護2	170	34.7	22.4	41.2	28.2	32.4	44.7	44.7	28.2	13.5	4.1	11.8	6.5	
	要介護3	98	39.8	22.4	42.9	29.6	23.5	38.8	62.2	26.5	18.4	3.1	10.2	4.1	
	要介護4	70	30.0	24.3	34.3	24.3	21.4	30.0	52.9	30.0	15.7	4.3	12.9	7.1	
	要介護5	65	29.2	12.3	24.6	16.9	20.0	27.7	49.2	23.1	13.8	6.2	10.8	15.4	
	その他	6	50.0	83.3	66.7	66.7	50.0	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	

(3) 高齢者総合相談センターの認知度

問21. 豊島区では、高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内に高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。（ひとつだけ○）

「自分が住んでいる地域のセンターの場所もセンターの役割も知っている」が33.5%と最多。一方で、「知らない」が28.8%。

図表 3-41 高齢者総合相談センターの認知度 (n=618)



図表 3-42 居住地、家族構成、要介護度別の高齢者総合相談センターの認知度

		回答者数	自分が住んでいる地域のセンターの場所も知っている	場所までは知らないが、センターの役割は知っている	場所は知っているが、センターの役割までは知らない	センターの名前は知っている	知らない	無回答
全体		618	33.5	7.3	13.8	11.3	28.8	5.3
居住地	東部地区	184	35.9	6.5	13.0	13.0	25.0	6.5
	北部地区	138	26.1	13.0	8.7	12.3	34.1	5.8
	南部地区	115	36.5	6.1	17.4	9.6	24.3	6.1
	西部地区	175	34.9	4.6	16.6	10.3	31.4	2.3
家族構成	一人暮らし	161	27.3	7.5	16.8	12.4	28.0	8.1
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	36.3	7.1	12.5	10.1	28.0	6.0
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	28.6	21.4	7.1	0.0	28.6	14.3
	息子・娘との2世帯	181	37.6	5.0	12.2	12.2	30.9	2.2
	その他	89	32.6	10.1	15.7	12.4	27.0	2.2
要介護度	要介護1	193	30.6	8.3	11.9	11.9	31.6	5.7
	要介護2	170	33.5	7.1	12.9	11.8	28.8	5.9
	要介護3	98	39.8	10.2	17.3	10.2	20.4	2.0
	要介護4	70	37.1	2.9	17.1	11.4	31.4	0.0
	要介護5	65	33.8	3.1	9.2	10.8	33.8	9.2
	その他	6	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	50.0

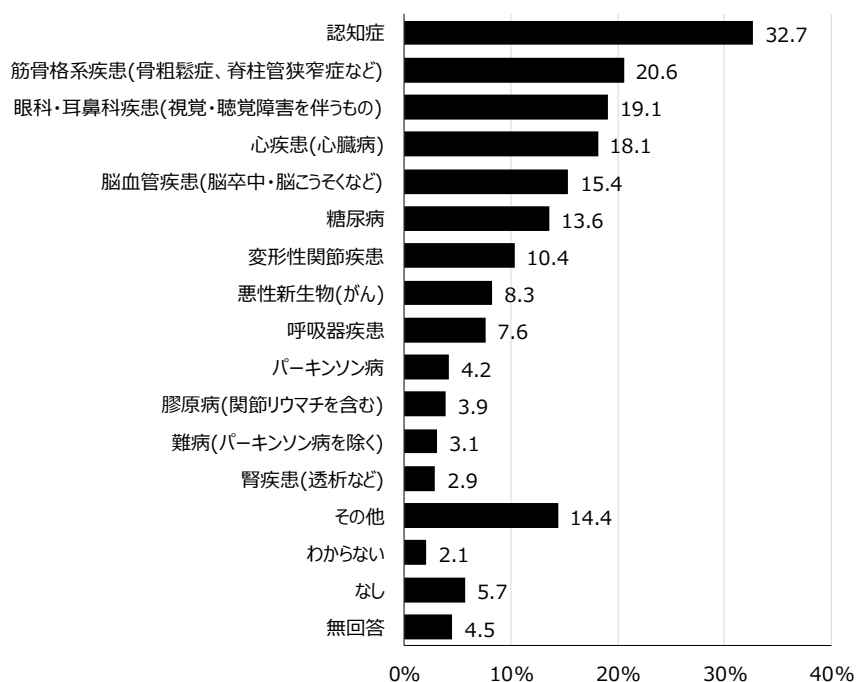
#### 4. 医療について

(1) 現在治療中、または後遺症のある病気

問22. あなたが、現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「認知症」が32.7%と最多。次いで「筋骨格系疾患(骨粗鬆症、脊柱管狭窄症など)」(20.6%)、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(19.1%)の順。

図表 3-43 現在治療中、または後遺症のある病気(n=618)



性別で見ると、“男性”では「認知症」26.0%、「糖尿病」21.4%、「脳血管疾患（脳卒中・脳こうそくなど）」20.4%の順で高くなっており、“女性”では、「認知症」36.3%、「筋骨格系疾患（骨粗鬆症、脊柱管狭窄症など）」25.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」20.0%の順に高くなっています。男女ともに「認知症」が最も高くなっていますが、性別で傾向が異なる部分も見られます。

図表 3-44 性・年齢、要介護度別の現在治療中、または後遺症のある病気

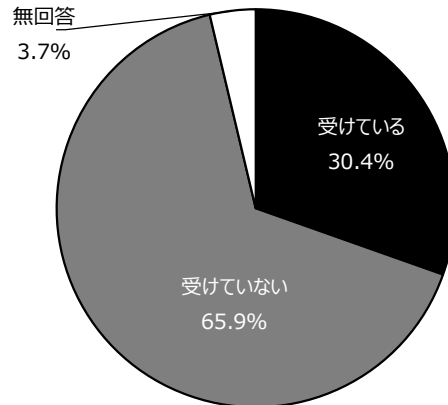
	回答者数	脳血管疾患 (脳卒中・脳こうそくなど)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析など)	筋骨格系疾患 (骨粗鬆症、脊柱管狭窄症など)	膠原病(関節リウマチを含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	618	15.4	18.1	8.3	7.6	2.9	20.6	3.9	10.4	32.7	4.2	3.1	13.6	19.1	14.4	5.7	2.1	4.5
男性計	196	20.4	17.3	11.7	9.7	3.6	11.2	1.5	6.1	26.0	6.1	4.6	21.4	17.3	12.8	4.1	2.6	4.1
65歳～69歳	8	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
70歳～74歳	19	42.1	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	5.3	15.8	10.5	0.0	21.1	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0
75歳～79歳	35	20.0	2.9	14.3	8.6	0.0	8.6	2.9	8.6	37.1	5.7	8.6	20.0	8.6	11.4	8.6	0.0	2.9
80歳～84歳	45	24.4	24.4	8.9	11.1	2.2	11.1	4.4	6.7	24.4	11.1	2.2	24.4	17.8	15.6	0.0	2.2	2.2
85歳～89歳	59	18.6	16.9	13.6	15.3	1.7	13.6	0.0	5.1	32.2	5.1	3.4	20.3	23.7	10.2	3.4	5.1	6.8
90歳以上	30	3.3	36.7	13.3	3.3	10.0	16.7	0.0	6.7	16.7	0.0	0.0	20.0	23.3	10.0	10.0	3.3	6.7
女性計	416	13.2	18.8	6.7	6.5	2.6	25.0	5.0	12.5	36.3	3.4	2.2	9.9	20.0	15.1	6.3	1.9	4.3
65歳～69歳	12	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3
70歳～74歳	24	29.2	8.3	12.5	0.0	4.2	20.8	12.5	12.5	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3	29.2	8.3	0.0	0.0
75歳～79歳	43	14.0	16.3	11.6	9.3	4.7	27.9	11.6	11.6	37.2	0.0	4.7	16.3	11.6	14.0	0.0	0.0	4.7
80歳～84歳	82	15.9	12.2	8.5	9.8	1.2	17.1	11.0	8.5	42.7	6.1	2.4	12.2	17.1	19.5	3.7	0.0	7.3
85歳～89歳	107	8.4	25.2	4.7	6.5	2.8	30.8	0.9	15.9	39.3	3.7	2.8	9.3	25.2	12.1	8.4	2.8	0.9
90歳以上	148	10.8	21.6	4.1	5.4	2.7	26.4	1.4	12.2	36.5	1.4	0.0	8.8	22.3	12.8	8.1	3.4	5.4
要介護1	193	8.3	19.7	4.7	4.7	2.6	16.6	2.6	14.5	38.9	3.1	0.5	11.9	20.2	14.5	4.7	2.1	6.2
要介護2	170	15.9	21.8	10.6	10.6	5.3	30.6	6.5	11.2	24.1	2.9	4.1	14.1	27.1	14.1	6.5	1.8	1.8
要介護3	98	15.3	16.3	10.2	7.1	1.0	22.4	2.0	10.2	39.8	3.1	1.0	19.4	11.2	10.2	4.1	2.0	5.1
要介護4	70	20.0	17.1	10.0	11.4	2.9	17.1	5.7	5.7	34.3	4.3	8.6	15.7	14.3	11.4	7.1	2.9	2.9
要介護5	65	33.8	13.8	9.2	6.2	1.5	12.3	1.5	3.1	33.8	13.8	6.2	10.8	13.8	20.0	1.5	1.5	4.6
その他	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	

(2) 在宅医療の利用状況

問23. あなたは、現在、在宅医療を受けていますか。(ひとつだけ○)

「受けている」が30.4%、「受けていない」が65.9%。

図表 3-45 在宅医療の利用状況 (n=618)



要介護度別で見ると、要介護度が高くなるにつれて、「受けている」が高くなっています。

図表 3-46 要介護度別の在宅医療の利用状況

		回答者数	受けている	受けていない	無回答
全体		618	30.4	65.9	3.7
要介護度	要介護1	193	13.5	81.3	5.2
	要介護2	170	24.7	72.9	2.4
	要介護3	98	39.8	60.2	0.0
	要介護4	70	45.7	52.9	1.4
	要介護5	65	66.2	27.7	6.2
	その他	6	0.0	66.7	33.3

(%)

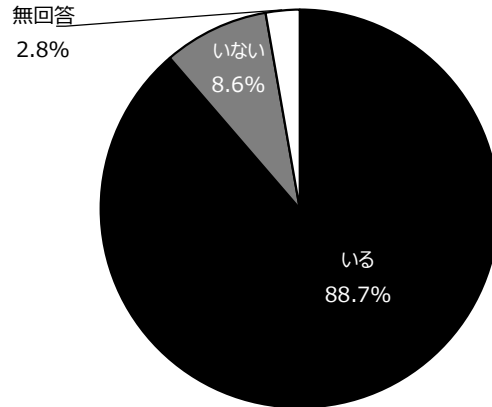


(3) かかりつけ医の有無

問24. あなたは、かかりつけ医はいますか。(ひとつだけ○)

「いる」が88.7%、「いない」が8.6%。

図表 3-47 かかりつけ医の有無 (n=618)



性・年齢別でみると、男女ともに、“65歳～69歳”で、「いない」が高くなっています。

図表 3-48 性・年齢、居住地、要介護度別のかかりつけ医の有無

		回答者数	いる	いない	無回答
全体		618	88.7	8.6	2.8
男性	男性計	196	87.8	9.2	3.1
	65歳～69歳	8	62.5	37.5	0.0
	70歳～74歳	19	100.0	0.0	0.0
	75歳～79歳	35	88.6	8.6	2.9
	80歳～84歳	45	88.9	8.9	2.2
	85歳～89歳	59	83.1	11.9	5.1
	90歳以上	30	93.3	3.3	3.3
女性	女性計	416	89.4	8.2	2.4
	65歳～69歳	12	58.3	33.3	8.3
	70歳～74歳	24	79.2	20.8	0.0
	75歳～79歳	43	88.4	11.6	0.0
	80歳～84歳	82	89.0	9.8	1.2
	85歳～89歳	107	86.9	7.5	5.6
	90歳以上	148	95.9	2.7	1.4
居住地	東部地区	184	87.0	9.2	3.8
	北部地区	138	89.1	10.1	0.7
	南部地区	115	87.8	9.6	2.6
	西部地区	175	91.4	6.3	2.3
要介護度	要介護1	193	90.2	8.3	1.6
	要介護2	170	90.0	7.6	2.4
	要介護3	98	89.8	8.2	2.0
	要介護4	70	90.0	8.6	1.4
	要介護5	65	87.7	6.2	6.2
	その他	6	50.0	16.7	33.3

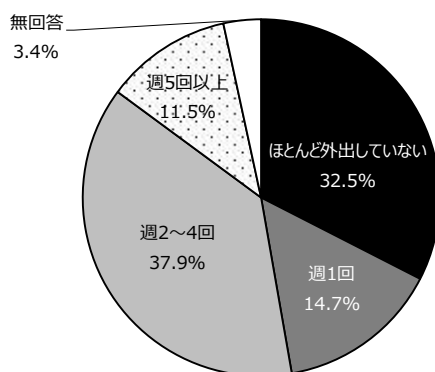
## 5. 地域とのつながりについて

### (1) 外出状況

問25. あなたは週に1回以上は外出していますか。(ひとつだけ○)

「週2～4回」が37.9%と最多。次いで「ほとんど外出していない」(32.5%)、「週1回」(14.7%)の順。

図表 3-49 外出状況 (n=618)



家族構成別でみると、“夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)”では、「ほとんど外出していない」が最も高くなっています。上記以外では、「週2～4回」が最も高くなっています。

要介護度別でみると、“要介護3”“要介護4”“要介護5”において、「ほとんど外出していない」が最も高くなっています。

図表 3-50 家族構成、要介護度別の外出状況

		回答者数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		618	32.5	14.7	37.9	11.5	3.4 (%)
家族構成	一人暮らし	161	32.9	14.3	36.0	11.8	5.0
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	35.1	15.5	32.7	11.9	4.8
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	14.3	14.3	57.1	14.3	0.0
	息子・娘との2世帯	181	29.8	16.0	41.4	11.0	1.7
	その他	89	36.0	12.4	40.4	11.2	0.0
要介護度	要介護1	193	24.9	17.6	39.9	15.5	2.1
	要介護2	170	28.8	15.9	41.8	8.8	4.7
	要介護3	98	39.8	15.3	30.6	12.2	2.0
	要介護4	70	48.6	7.1	34.3	10.0	0.0
	要介護5	65	40.0	7.7	38.5	6.2	7.7
	その他	6	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0

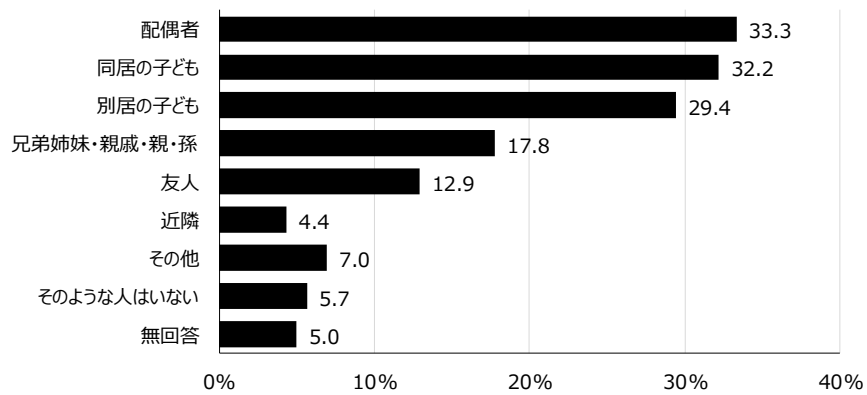
(2) たすけあいの状況

問26. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

- ① あなたの、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

**「配偶者」が33.3%と最多。次いで「同居の子ども」(32.2%)、「別居の子ども」(29.4%)の順。**

図表 3-51 心配事や愚痴を聞いてくれる人 (n=618)



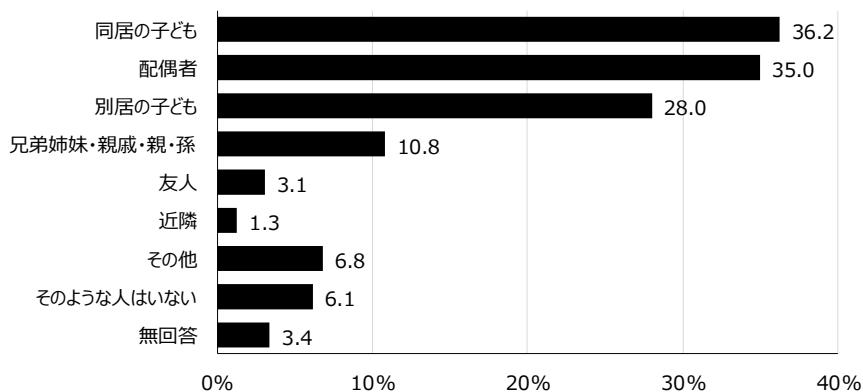
図表 3-52 家族構成、要介護度別の心配事や愚痴を聞いてくれる人

	回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
全体	618	33.3	32.2	29.4	17.8	4.4	12.9	7.0	5.7	5.0	(%)
家族構成	一人暮らし	161	0.6	5.0	41.0	24.2	9.3	21.7	11.2	11.8	7.5
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	81.0	4.2	30.4	13.7	2.4	5.4	3.0	4.2	5.4
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	100.0	7.1	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	181	19.9	76.2	18.8	11.0	3.3	12.7	6.6	3.3	3.3
	その他	89	19.1	49.4	28.1	30.3	2.2	13.5	7.9	3.4	2.2
要介護度	要介護1	193	36.3	29.0	32.1	21.8	6.7	15.0	3.1	7.3	3.6
	要介護2	170	30.0	30.6	30.0	16.5	5.3	15.9	7.1	7.1	7.1
	要介護3	98	32.7	29.6	28.6	17.3	3.1	6.1	10.2	7.1	1.0
	要介護4	70	42.9	44.3	30.0	18.6	1.4	12.9	7.1	0.0	1.4
	要介護5	65	27.7	46.2	20.0	9.2	1.5	7.7	13.8	1.5	9.2
	その他	6	33.3	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

② あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「同居の子ども」が36.2%と最多。次いで「配偶者」(35.0%)、「別居の子ども」(28.0%)の順。

図表 3-53 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(n=618)



図表 3-54 家族構成、要介護度別の病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

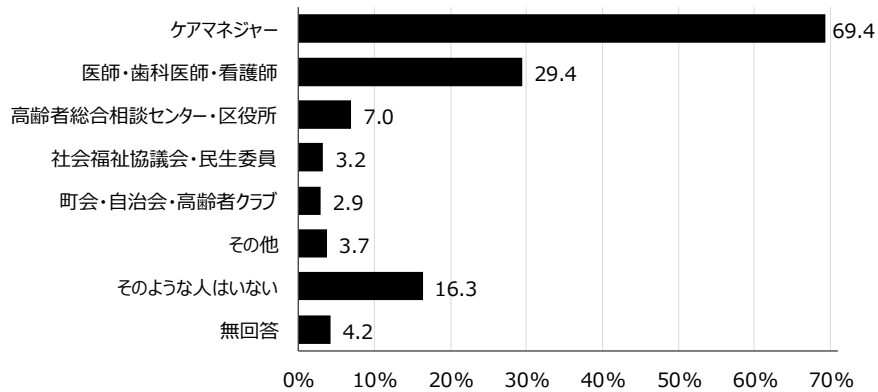
	回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
全体	618	35.0	36.2	28.0	10.8	1.3	3.1	6.8	6.1	3.4	(%)
家族構成	一人暮らし	161	0.0	4.3	44.7	16.8	2.5	6.8	14.3	18.0	6.2
	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	168	86.9	7.1	26.2	4.2	0.6	1.8	2.4	3.6	3.0
	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	14	92.9	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	息子・娘との2世帯	181	21.5	84.5	17.7	6.1	1.1	1.1	4.4	0.6	2.2
	その他	89	18.0	56.2	24.7	23.6	1.1	3.4	7.9	2.2	0.0
要介護度	要介護1	193	39.4	35.2	31.6	9.3	1.0	4.1	4.1	7.8	3.1
	要介護2	170	29.4	31.8	30.0	12.4	1.2	4.1	8.8	7.1	4.7
	要介護3	98	36.7	37.8	24.5	9.2	1.0	0.0	6.1	5.1	0.0
	要介護4	70	42.9	42.9	25.7	12.9	1.4	1.4	7.1	2.9	0.0
	要介護5	65	29.2	49.2	18.5	9.2	1.5	0.0	10.8	1.5	6.2
	その他	6	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

(3) 家族や友人・知人以外の何かあった時の相談先

問27. 家族や友人・知人以外で、何かあったときの相談先を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」が69.4%と最多。次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.4%と続く。

図表 3-55 家族や友人・知人以外の何かあった時の相談先(n=618)



要介護度別でみると、要介護度が高くなるほど、「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」が高い傾向にあります。

図表 3-56 性・年齢、居住地、家族構成、要介護度別の家族や友人・知人以外のあった時の相談先

		回答者数	高齢者・自治会・クラブ	町会・民生委員・社会福祉協議会	ケアマネジャー	看護師・歯科医師	医師・歯科医師・看護師・総合相談センター・区役所	その他	いない	そのような人は	無回答
全体		618	2.9	3.2	69.4	29.4	7.0	3.7	16.3	4.2	(%)
要介護度	要介護1	193	2.6	4.7	60.6	24.9	11.4	5.7	20.7	6.2	
	要介護2	170	2.9	2.9	70.0	28.8	5.9	4.1	17.1	2.9	
	要介護3	98	1.0	1.0	78.6	27.6	8.2	3.1	14.3	0.0	
	要介護4	70	7.1	1.4	82.9	30.0	4.3	2.9	12.9	0.0	
	要介護5	65	1.5	1.5	81.5	47.7	0.0	0.0	6.2	6.2	
	その他	6	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	

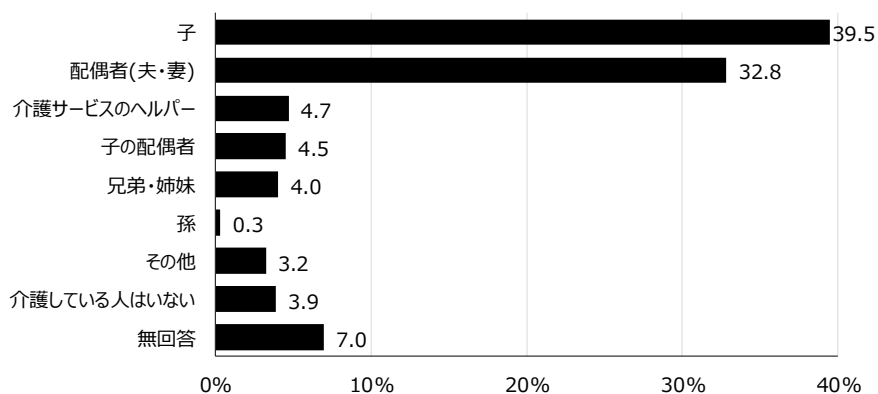
## 6. 主に介護をしている方について

### (1) 本人からみた主介護者の関係性

問28. あて名のご本人様を主に介護をしている方は、あて名のご本人から見てどのような関係にありますか。(ひとつだけ○)

「子」が39.5%と最多。次いで「配偶者(夫・妻)」が32.8%と続く。

図表 3-57 本人からみた主介護者の関係性 (n=618)

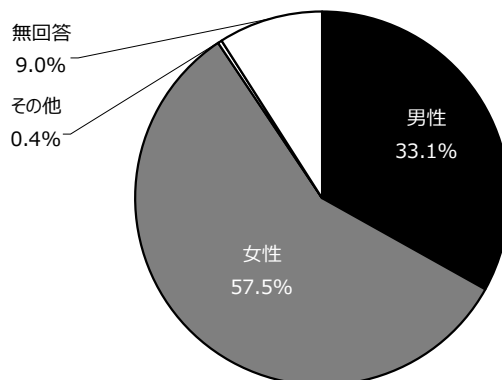


### (2) 主介護者の性別

問29. 主に介護をしている方の性別をお答えください。(ひとつだけ○)

「男性」が33.1%、「女性」が57.5%。

図表 3-58 主介護者の性別 (n=565)

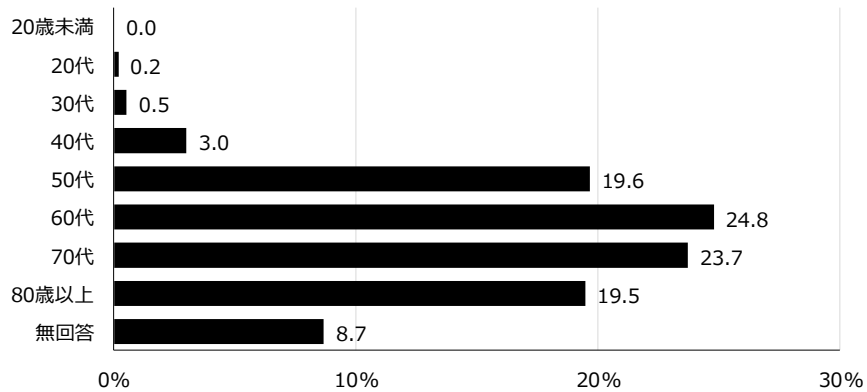


(3) 主介護者の年齢

問30. 主に介護をしている方の年齢はいくつですか。(ひとつだけ○)

「60代」が24.8%と最多。「男性」の主介護者は「80歳以上」が最多。「女性」の主介護者は「60代」最多。

図表 3-59 主介護者の年齢 (n=565)



図表 3-60 主介護者の性別、年齢

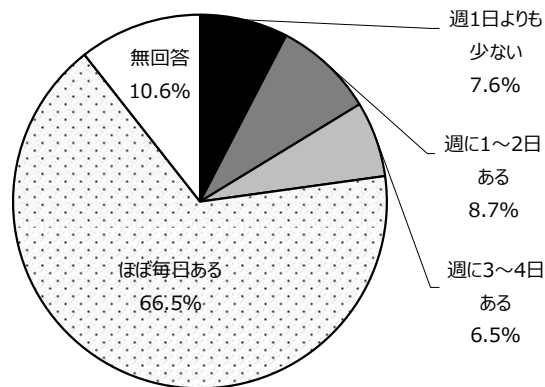
		回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
全体		565	0.0	0.2	0.5	3.0	19.6	24.8	23.7	19.5	8.7
性別の主介護	男性	187	0.0	0.0	0.5	2.7	16.6	27.3	25.1	27.8	0.0
	女性	325	0.0	0.3	0.6	3.7	24.6	26.8	26.2	17.8	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(4) 主介護者の介護の頻度

問31. あて名のご本人様に対する介護は、週にどのくらいありますか。(ひとつだけ○)

「ほぼ毎日ある」が66.5%と最多。

図表 3-61 主介護者の介護の頻度 (n=565)



要介護度別で見ると、要介護度が高くなるにつれて、「ほぼ毎日ある」が高くなっていきます。

図表 3-62 要介護度別の主介護者の介護の頻度

		回答者数	少ない1日よりも	週に1~2日	週に3~4日	ほぼ毎日ある	無回答
全体		565	7.6	8.7	6.5	66.5	10.6
要介護度	要介護1	173	9.8	12.7	7.5	54.3	15.6
	要介護2	153	9.8	11.1	7.2	63.4	8.5
	要介護3	90	3.3	5.6	6.7	81.1	3.3
	要介護4	67	6.0	4.5	6.0	80.6	3.0
	要介護5	64	1.6	3.1	3.1	84.4	7.8
	その他	6	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0

(%)

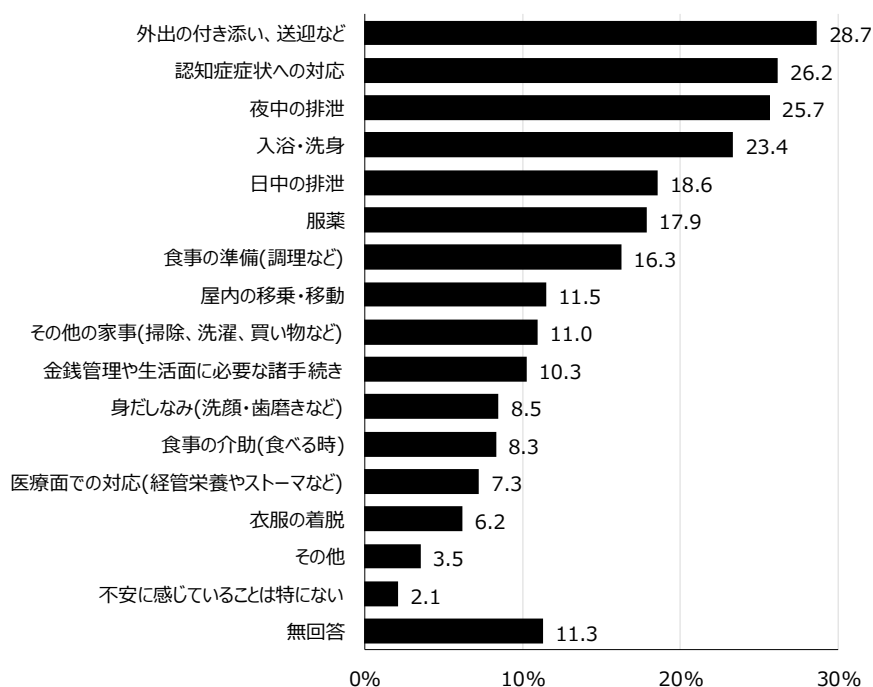


(5) 主介護者が不安を感じる介護

問32. 現在の生活を継続していくにあたって、主に介護をしている方が、不安を感じる介護などについてご回答ください。現在行っているか否かは問いません。(主なもの3つまで○)

「外出の付き添い、送迎など」が28.7%と最多。次いで「認知症症状への対応」が(26.2%)、「夜中の排泄」(25.7%)の順。

図表 3-63 主介護者が不安を感じる介護 (n=565)



要介護度別でみると、“要介護1”“要介護2”では、他の要介護度に比べ「外出の付き添い、送迎など」が高くなっているのに対し、“要介護3”“要介護4”“要介護5”においては、他の要介護度に比べ「日中の排泄」「夜中の排泄」が高くなっています。

就労継続意向別でみると、“やや難しい”“かなり難しい”では、他の就労継続意向意向に比べ「日中の排泄」「夜中の排泄」が最も高くなっています。

図表 3-64 要介護度、就労継続意向別の主介護者が不安を感じる介護

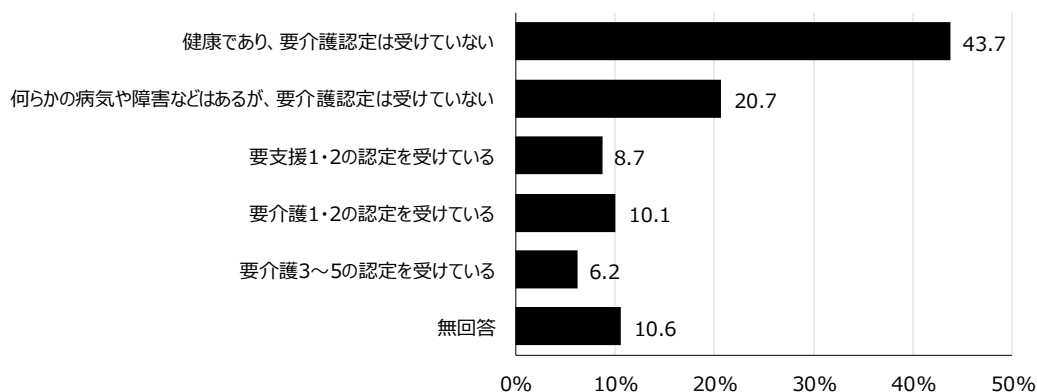
		回答者数	日中の排泄	夜中の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬	認知症症状への対応	医療面での対応（経管栄養やストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	諸手続き	金銭管理や生活面に必要な	その他	特にない	不安を感じていることは	無回答
全体		565	18.6	25.7	8.3	23.4	8.5	6.2	11.5	28.7	17.9	26.2	7.3	16.3	11.0	10.3	3.5	2.1	11.3	(%)	
要介護度	要介護1	173	10.4	17.9	1.2	23.7	7.5	4.6	6.4	31.2	27.7	34.1	3.5	13.9	15.0	15.0	1.7	1.2	16.8		
	要介護2	153	14.4	22.9	2.0	25.5	9.8	7.2	10.5	34.6	22.9	26.1	8.5	23.5	13.1	6.5	2.6	2.6	8.5		
	要介護3	90	27.8	44.4	14.4	27.8	6.7	7.8	17.8	27.8	11.1	28.9	4.4	11.1	3.3	10.0	3.3	0.0	5.6		
	要介護4	67	31.3	34.3	14.9	19.4	13.4	7.5	16.4	26.9	6.0	20.9	7.5	13.4	6.0	9.0	9.0	4.5	3.0		
	要介護5	64	28.1	23.4	28.1	20.3	4.7	6.3	14.1	18.8	4.7	12.5	17.2	12.5	9.4	9.4	4.7	1.6	14.1		
	その他	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3		
就労継続意向	問題なく続けていける	33	21.2	27.3	3.0	18.2	3.0	3.0	12.1	27.3	21.2	18.2	3.0	18.2	15.2	6.1	6.1	12.1	6.1		
	問題はあるが何とか続けていける	123	18.7	26.0	11.4	28.5	10.6	4.1	11.4	35.0	17.1	30.1	10.6	22.8	12.2	9.8	4.1	1.6	1.6		
	やや難しい	19	42.1	47.4	15.8	26.3	10.5	5.3	10.5	15.8	26.3	42.1	0.0	10.5	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0		
	かなり難しい	16	43.8	37.5	0.0	31.3	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	18.8	18.8	18.8	6.3	12.5	6.3	0.0	12.5		

(6) 主介護者の要介護度

問33. 主に介護をしている方は、要介護認定を受けていますか。(ひとつだけ○)

「健康であり、要介護認定は受けていない」が43.7%と最多。次いで「何らかの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない」が20.7%と続く。“80歳以上”では、「要支援1・2の認定を受けている」が最多。

図表 3-65 主介護者の要介護度 (n=565)



主介護者の年齢別で見ると、主介護者の年齢が高くなるにつれて、主介護者の要介護度が高い傾向になっています。

図表 3-66 主介護者の年齢別の主介護者の要介護度

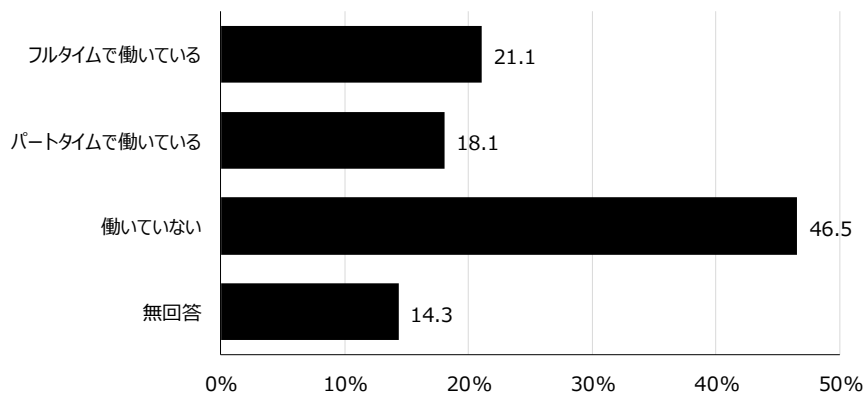
		回答者数	健康であり、要介護認定は受けていない	何らかの病気や障害などはあるが、要介護認定は受けていない	要支援1・2の認定を受けている	要介護1・2の認定を受けている	要介護3～5の認定を受けている	無回答
全体		565	43.7	20.7	8.7	10.1	6.2	10.6
主介護者の年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	40代	17	64.7	0.0	0.0	29.4	5.9	0.0
	50代	111	64.0	11.7	1.8	15.3	6.3	0.9
	60代	140	61.4	22.9	0.7	5.7	5.0	4.3
	70代	134	37.3	32.8	10.4	9.0	6.7	3.7
	80歳以上	110	21.8	25.5	26.4	10.9	10.0	5.5

(7) 主介護者の勤務形態

問34. 主に介護をしている方の、現在の勤務形態についてご回答ください。(ひとつだけ○)

何らかの勤務形態で働いている(「フルタイムで働いている」(21.1%)、「パートタイムで働いている」(18.1%))割合は、39.2%。

図表 3-67 主介護者の勤務形態 (n=565)



図表 3-68 主介護者の性・年齢別の主介護者の勤務形態

		回答者数	フルタイムで働いている (%)	パートタイムで働いている (%)	働いていない (%)	無回答 (%)
全体		565	21.1	18.1	46.5	14.3
主介護者・男性	男性計	187	29.4	15.0	49.2	6.4
	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	40代	5	100.0	0.0	0.0	0.0
	50代	31	51.6	16.1	29.0	3.2
	60代	51	41.2	11.8	45.1	2.0
	70代	47	17.0	21.3	61.7	0.0
主介護者・女性	女性計	325	19.1	22.5	51.1	7.4
	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	30代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	40代	12	58.3	25.0	16.7	0.0
	50代	80	30.0	37.5	26.3	6.3
	60代	87	17.2	27.6	49.4	5.7
	70代	85	10.6	15.3	68.2	5.9
80歳以上	58	10.3	3.4	70.7	15.5	

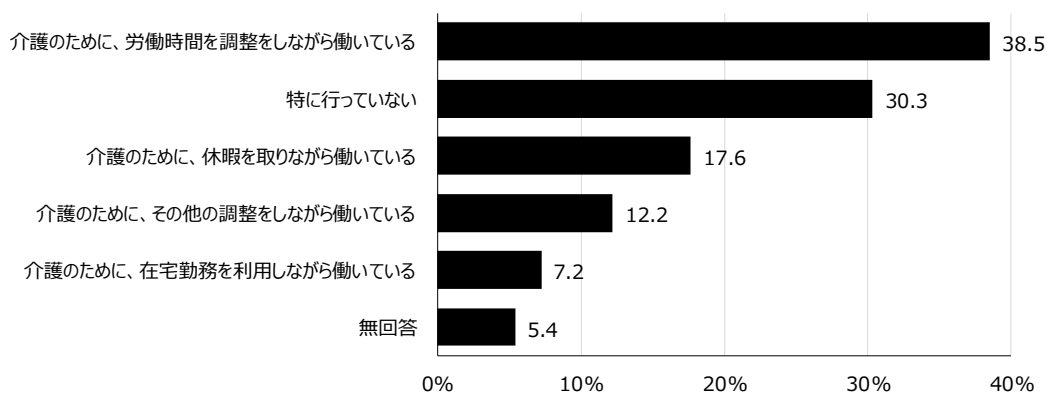
※主介護者の性別“その他”は回答者数が少ないため省略

(8) 主介護者の働き方の調整状況

問34-1. 問34で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」に○をつけた方にうかがいます。介護をするにあたって、働き方についての調整などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護のために、労働時間を調整をしながら働いている」が38.5%と最多。次いで「特に行っていない」(30.3%)、「介護のために、休暇を取りながら働いている」(17.6%)の順。

図表 3-69 主介護者の働き方の調整状況 (n=221)



主介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム”“パートタイム”のいずれも「介護のために、労働時間を調整をしながら働いている」が最も高くなっています。

図表 3-70 主介護者の勤務形態別の働き方の調整状況

		回答者数	特に行っていない	労働時間調整をしながら働いている	介護のために、休暇を取りながら働いている	在宅勤務を利用しながら働いている	その他の調整をしながら働いている	無回答
全体		221	30.3	38.5	17.6	7.2	12.2	5.4
勤務形態別	フルタイム	119	11.8	56.3	11.8	5.9	14.3	0.0
	パートタイム	102	18.6	54.9	4.9	8.8	12.7	0.0

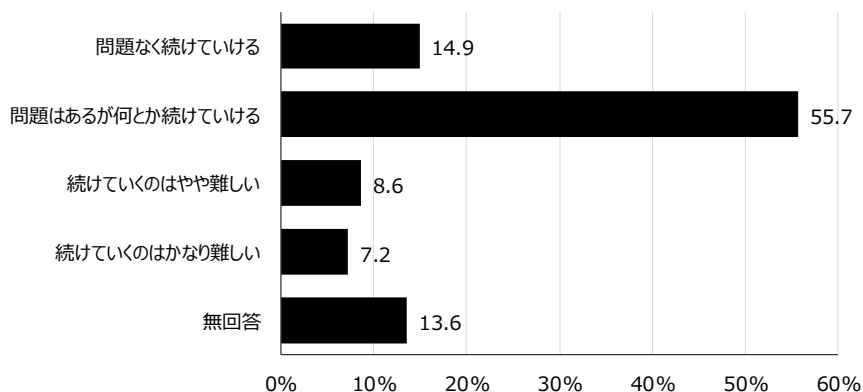
(%)

(9) 主介護者の就労意向

問34-2. 問34で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」に○をつけた方にうかがいます。今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(ひとつだけ○)

「問題はあるが何とか続けていける」が55.7%と最多。

図表 3-71 主介護者の就労意向 (n=221)



主介護者の勤務形態別で見ると、「フルタイム」「パートタイム」のいずれも「問題はあるが何とか続けていける」が最も高くなっています。

図表 3-72 要介護度、主介護者の勤務形態別の主介護者の就労意向

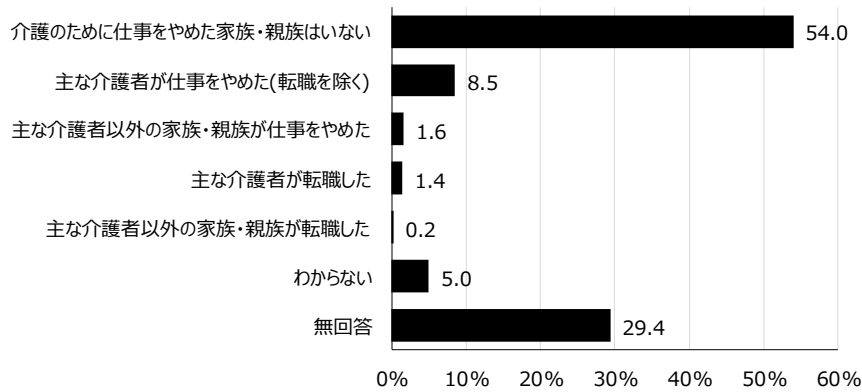
		回答者数	問題なく続けていける	問題はあるが何とか続けていける	やや難しい	かなり難しい	無回答
全体		221	14.9	55.7	8.6	7.2	13.6
要介護度	要介護1	60	13.3	63.3	8.3	3.3	11.7
	要介護2	68	14.7	47.1	10.3	7.4	20.6
	要介護3	29	17.2	51.7	10.3	6.9	13.8
	要介護4	37	10.8	59.5	8.1	13.5	8.1
	要介護5	23	21.7	56.5	4.3	8.7	8.7
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
主介護者の勤務形態	フルタイム	119	11.8	56.3	11.8	5.9	14.3
	パートタイム	102	18.6	54.9	4.9	8.8	12.7

(10) 家族・親族における介護を理由とした離職の状況

問35. 主に介護をしている方を含むご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事をやめた方はいますか。現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。(ひとつだけ○)

「介護のために仕事をやめた家族・親族はいない」が54.0%と最多。

図表 3-73 家族・親族における介護を理由とした離職の状況 (n=565)



図表 3-74 主介護者の年齢別の家族・親族における介護を理由とした離職の状況

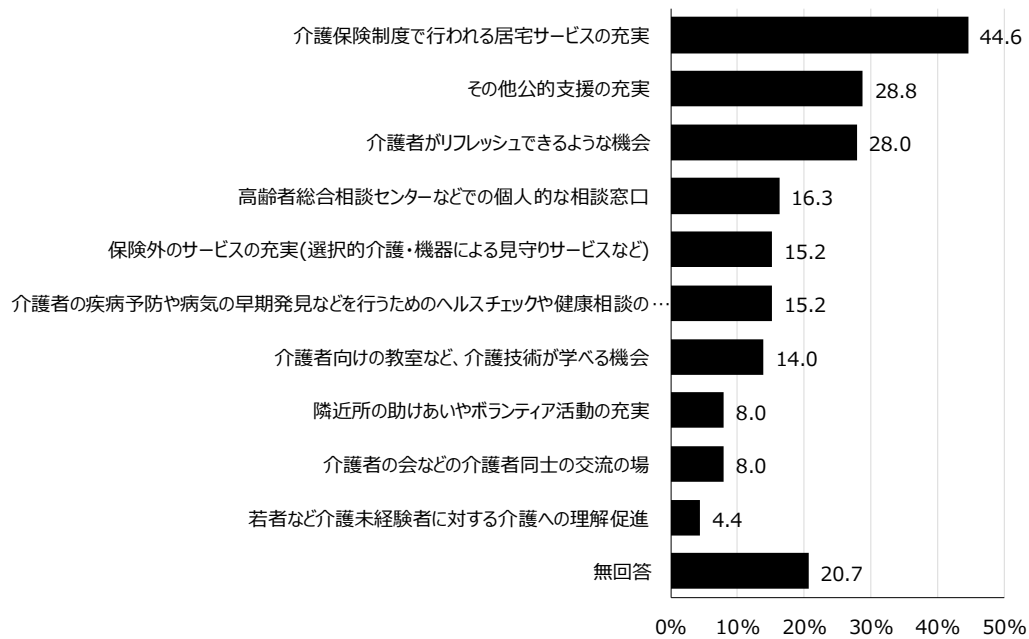
		回答者数	( — 転 職 を 除 く — ) 主 な 介 護 者 が 仕 事 を や め た	親 族 が 仕 事 を や め た 家 族 ・ 親 族 が 仕 事 を や め た	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 仕 事 を や め た	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	親 族 が 転 職 し た 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	介 護 を 理 由 と し た 離 職 の 状 況 が わ か ら な い	無 回 答	(%)
全体		565	8.5	1.6	1.4	0.2	54.0	5.0	29.4		
主 介 護 者 の 年 齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	40代	17	11.8	11.8	0.0	0.0	47.1	11.8	17.6		
	50代	111	7.2	0.0	3.6	0.0	64.9	8.1	16.2		
	60代	140	13.6	2.1	0.7	0.7	65.0	4.3	13.6		
	70代	134	10.4	0.7	1.5	0.0	62.7	4.5	20.1		
	80歳以上	110	4.5	2.7	0.0	0.0	40.0	3.6	49.1		

(11) 主介護者が介護者支援として充実を望むこと

問36. 在宅介護を継続するにあたって、主に介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。(主なもの3つまで○)

「介護保険制度で行われる居宅サービスの充実」が44.6%と最多。次いで「その他の公的支援の充実」(28.8%)、「介護者がリフレッシュできるような機会」(28.0%)の順。

図表 3-75 主介護者が介護者支援として充実を望むこと (n=565)



※ 選択的介護とは介護保険サービスと保険外サービスを柔軟に組み合わせることで要介護者やご家族をサポートするサービスのことをいいます。



図表 3-76 就労継続意向別の主介護者が介護者支援として充実を望むこと

	回答者数	介護者がリフレッシュできるような機会	介護者の会などの介護者同士の交流の場	個人的な相談窓口	高齢者総合相談センターなどでの	介護技術が学べる機会	介護者向けの教室など、行うためのヘルステックや健康相談の実施	介護者の疾病予防や病気の早期発見などを理解促進	若者など介護未経験者に対する介護への	隣近所の助けあいやボランティア活動の充実	介護保険制度で行われる居宅サービスの充実	その他の公的支援の充実	（選択的介護・機器による見守りサービスなど）	保険外のサービスの充実	無回答
全体	565	28.0	8.0	16.3	14.0	15.2	4.4	8.0	44.6	28.8	15.2	20.7	(%)		
意継就 向続労	132	14.4	3.0	5.3	6.8	6.1	3.8	4.5	25.0	19.7	6.1	5.3			
	39	12.8	0.0	5.1	10.3	10.3	5.1	2.6	28.2	12.8	12.8	0.0			

★ 最後に、在宅介護や介護保険に関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

XX人の方から意見・要望等が寄せられました。内容を集約したうえで下表のXXつの観点に整理すると、「」や、「」「」に関する意見が比較的多くみられました。

観点	主な回答内容
	•
	•
	•
	•
	•
	•
	•
	•

## 7. 経年比較

本項においては、過年度（平成28年度）の調査結果と比較ができる設問のうち、特に経年変化を追うことが必要な項目について、比較結果を掲載しています。

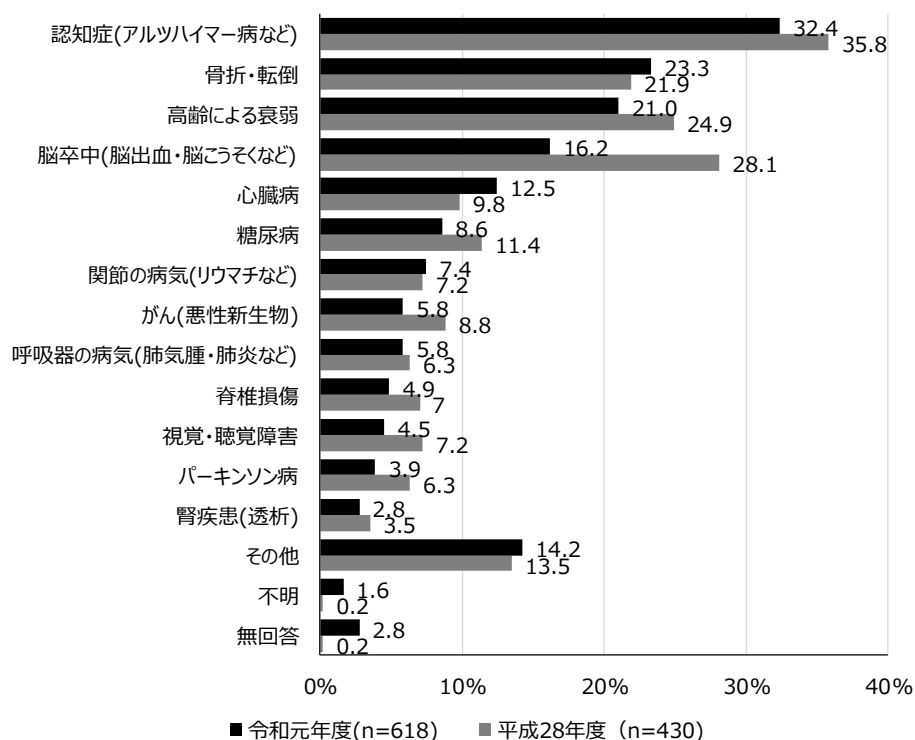
ただし、過年度調査の対象者は「要介護3～5認定者」であるのに対し、今回の調査の対象者は「要介護1～5」であり、「要介護1・2認定者」が含まれていることに留意する必要があります。

### (1) 介護が必要になった主な原因

問10. あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

**過年度調査においては、今回調査に比べ、「脳卒中（脳出血・脳こうそくなど）」が10ポイント以上高い。**

図表 3-77 介護が必要になった主な原因

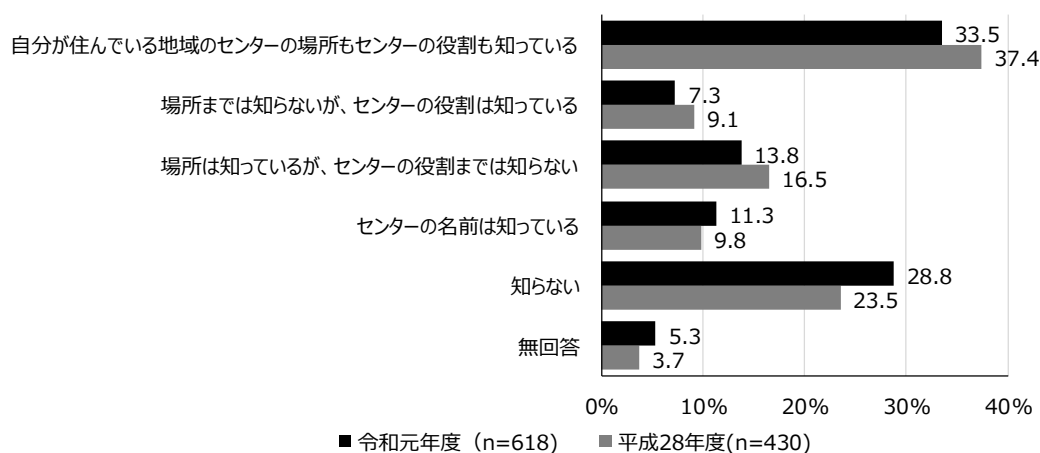


(2) 高齢者総合相談センターの認知度

問21. 豊島区では、高齢者の心身の健康と生活の安定のための相談窓口として、区内に高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を設置しています。あなたは、高齢者総合相談センターを知っていますか。（ひとつだけ○）

過年度調査に比べ、今回調査においては、「知らない」が5.3ポイント高く、「自分が住んでいるセンターの場所も役割も知っている」が3.9ポイント低い。

図表 3-78 高齢者総合相談センターの認知度

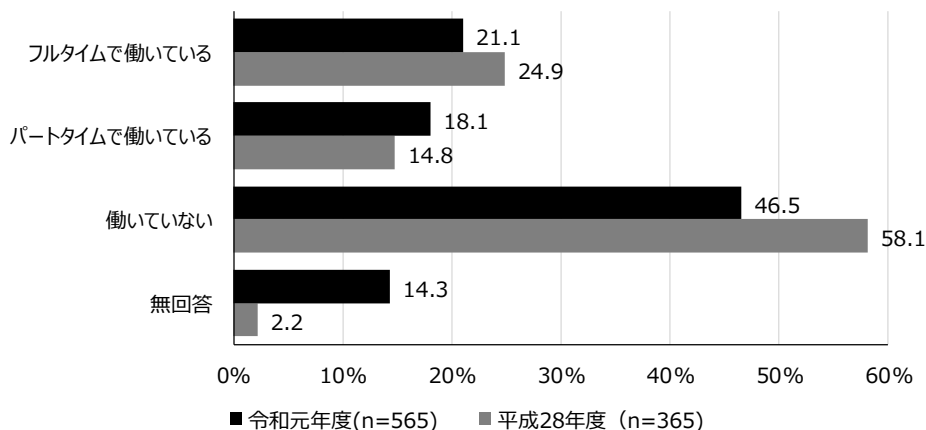


(7) 主介護者の勤務形態

問34. 主に介護をしている方の、現在の勤務形態についてご回答ください。（ひとつだけ○）

過年度調査に比べ、今回調査においては、「パートタイムで働いている」が3.3ポイント高く、「働いていない」が11.6ポイント低い。

図表 3-79 主介護者の勤務形態



## 第4章 ケアマネジャー調査

### <調査結果の概要>

#### (1) 在宅生活の継続が困難である方の実態

- 現在のサービス利用では在宅生活の維持が難しくなっている利用者が「いる」と57.3%が回答している（図表 4-21）。
- 本人としてはその理由として、「生活不安が大きいから」が35.7%と最多（図表 4-22）。本人の状態は、「認知症の症状の悪化」が61.2%と最多（図表 4-24）。一方、家族介護者としては、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が58.2%と最多だった（図表 4-23）。
- 生活の維持が困難な要因は以下のとおり。
  - 身体的介護の観点 : 「移乗・移動」75.0%（図表 4-25）。
  - 認知症の症状の観点 : 「金銭管理が困難」51.7%（図表 4-26）。
  - 医療的ケア・医療処置の観点 : 「褥瘡の処置」「カテーテル」「喀痰吸引」38.9%（図表 4-27）。

#### (2) 高齢者総合相談センターとの連携状況

- 高齢者総合相談センターとの連携状況について聞くと、「十分連携がとれている」が63.2%と最多であった（図表 4-37）。連携がとれない理由について聞くと、「包括ごとに職員のレベルや対応に違いがある」が54.1%と最多であった（図表 4-39）。
- 高齢者総合相談センターに期待する役割としては、「支援困難事例への個別指導・相談の役割」が52.0%と最多であった（図表 4-40）。

#### (3) 医療機関との連携状況

- 高齢者総合相談センターとの連携状況について聞くと、「連携のとれる内容をとれない内容がある」が53.8%と最多であった（図表 4-42）。連携がとれない理由について聞くと、「医療従事者が忙しい」が52.5%と最多であった（図表 4-44）。
- 医療機関等からの情報収集の方法としては、「電話」が81.9%と最多。次いで「直接の面談」（56.1%）、「FAX」（54.4%）の順となった（図表 4-46）。

#### (4) 質の確保に向けた取り組み

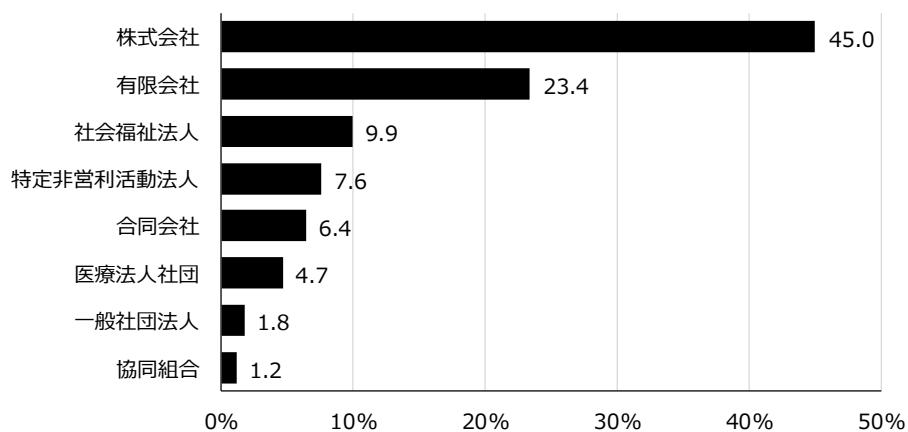
- 介護保険制度改正の学習方法としては、「区の事業者連絡会や集団指導に参加」が78.9%と最多という結果であった（図表 4-61）。
- 業務に役立つ研修内容は介護保険等の制度に関する情報が61.4%と最多であり（図表 4-68）、参加頻度は「月に1回程度」が46.8%と最多（図表 4-62）。
- ケアマネジャーの質の向上に必要なこととしては、「事例を使った検討会」が46.2%と最多であり（図表 4-70）、ケアマネジャーの質の向上における課題としては、「レベルや経験年数に応じた研修がない」が29.8%と最多。（図表 4-72）。

## 1. 事業所の概要について

### (1) 法人種別

**「株式会社」が45.0%と最多。**

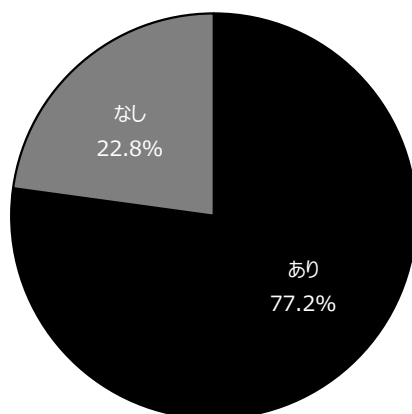
図表 4-1 法人種別 (n=171)



### (2) 介護サービス事業所の併設の有無

**「あり」が77.2%。**

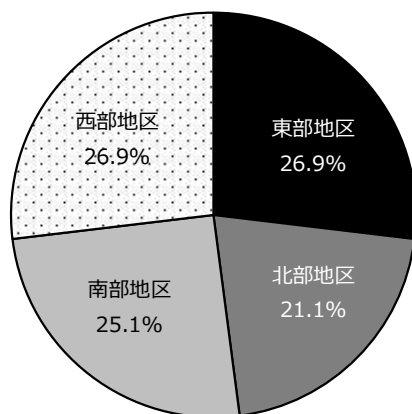
図表 4-2 介護サービス事業所の併設の有無 (n=171)



(3) 事業所の所在地

「東部地区」「西部地区」が26.9%と最多。次いで「南部地区」(25.1%)、「北部地区」(21.1%)の順。

図表 4-3 事業所の所在地 (n=171)



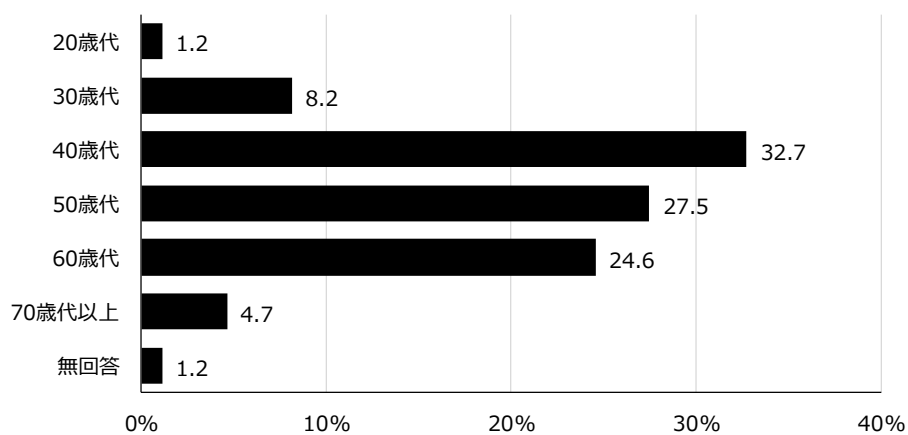
## 2. ご本人について

### (1) 年齢

問1. あなたの令和元年11月1日現在の年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

**「40歳代」が32.7%と最多。次いで「50歳代」(27.5%)、「60歳代」(24.6%)の順。**

図表 4-4 年齢(n=171)



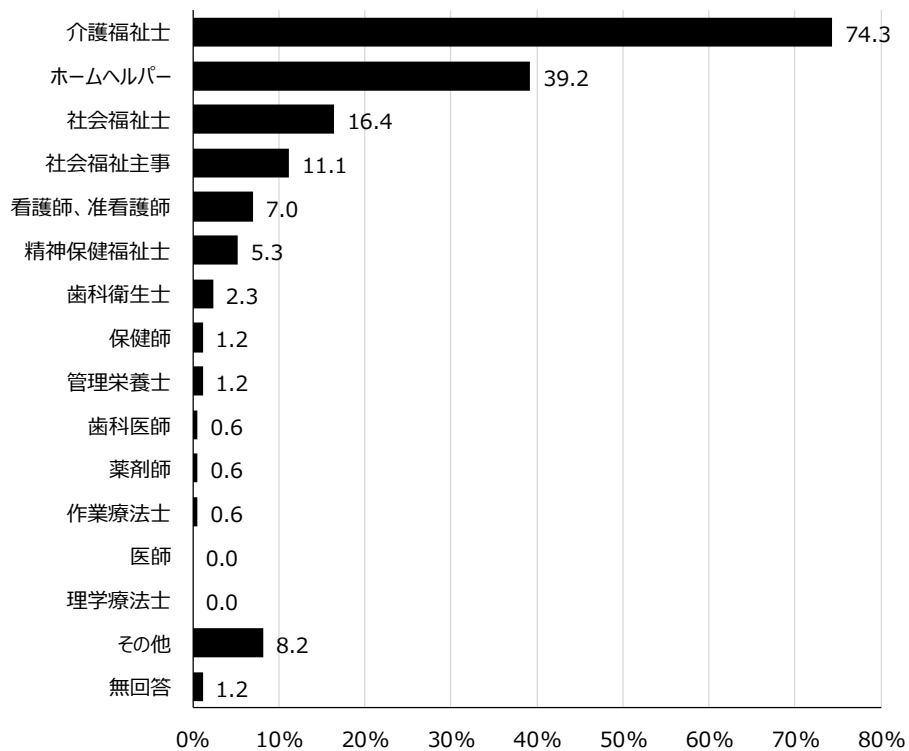


(2) 保有する資格

問2. あなたはケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護福祉士」が74.3%と最多。次いで「ホームヘルパー」(39.2%)、「社会福祉士」(16.4%)の順。

図表 4-5 保有する資格(n=171)

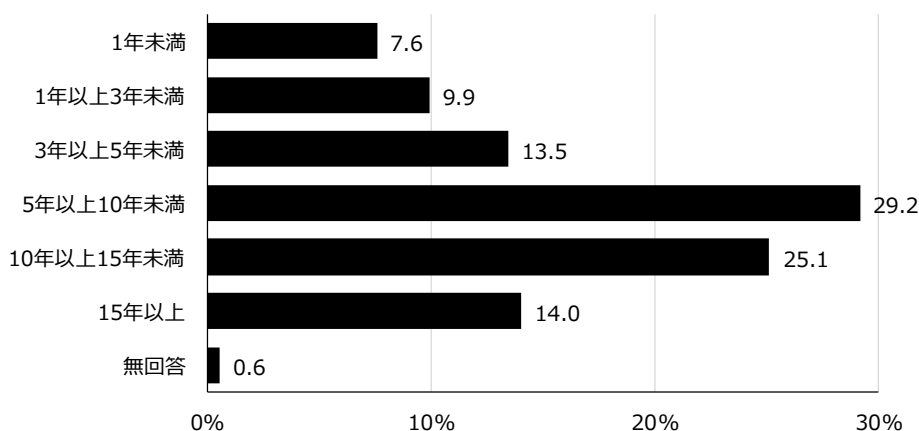


(3) 従事年数

問3. あなたは、令和元年11月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどれくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間でお答えください（ひとつだけ○）。

「5年以上10年未満」が29.2%と最多。次いで「10年以上15年未満」(25.1%)、「15年以上」(14.0%)の順。

図表 4-6 従事年数(n=171)



年齢別で見ると、“20歳代”では、「1年以上3年未満」が最も高くなっています。“30歳代”“40歳代”では、「5年以上10年未満」が最も高くなっています。“50歳代”“70歳代以上”では、「10年以上15年未満」が最も高くなっています。“60歳代”では、「10年以上15年未満」「15年以上」が最も高くなっています。

図表 4-7 年齢別の従事年数

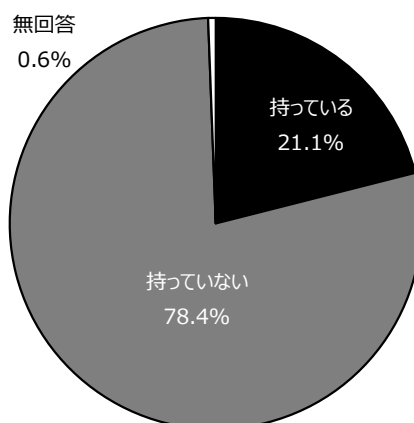
	回答者数	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	無回答	(%)
全体	171	7.6	9.9	13.5	29.2	25.1	14.0	0.6	
年齢	20歳代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	14	14.3	7.1	21.4	57.1	0.0	0.0	0.0
	40歳代	56	10.7	17.9	17.9	28.6	21.4	3.6	0.0
	50歳代	47	10.6	8.5	12.8	23.4	31.9	12.8	0.0
	60歳代	42	0.0	0.0	9.5	28.6	31.0	31.0	0.0
	70歳代以上	8	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	25.0	12.5

(4) 主任ケアマネジャーの資格

問4. あなたは、現在、主任ケアマネジャーの資格を持っていますか。(ひとつだけ○)

「持っている」が21.1%、「持っていない」が78.4%。

図表 4-8 主任ケアマネジャーの資格 (n=171)



図表 4-9 年齢別の主任ケアマネジャーの資格

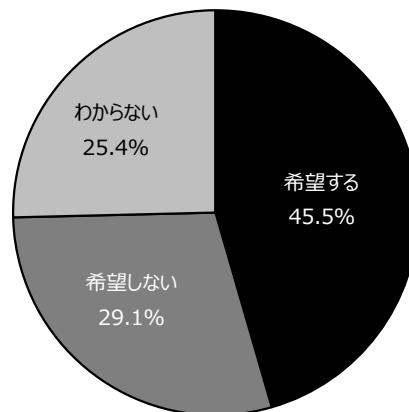
		回 答 者 数	持 っ て い る	持 っ て い な い	無 回 答	
全体		171	21.1	78.4	0.6	(%)
年 齢	20歳代	2	0.0	100.0	0.0	
	30歳代	14	14.3	85.7	0.0	
	40歳代	56	19.6	80.4	0.0	
	50歳代	47	25.5	74.5	0.0	
	60歳代	42	21.4	78.6	0.0	
	70歳代以上	8	12.5	75.0	12.5	

(5) 主任ケアマネジャーの資格取得希望

問4-1. 問4で「持っていない」に○をつけた方にうかがいます。今後、主任ケアマネジャーの資格取得を希望しますか。(ひとつだけ○)

「希望する」が45.5%と最多。次いで「希望しない」が29.1%。一方、「わからない」が25.4%。

図表 4-10 主任ケアマネジャー資格取得希望 (n=134)



図表 4-11 年齢、従事年数別の主任ケアマネジャー資格取得希望

		回答者数	希望する (%)	希望しない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		134	45.5	29.1	25.4	0.0
年齢	20歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	12	41.7	16.7	41.7	0.0
	40歳代	45	42.2	31.1	26.7	0.0
	50歳代	35	48.6	17.1	34.3	0.0
	60歳代	33	51.5	39.4	9.1	0.0
	70歳代以上	6	0.0	66.7	33.3	0.0
従事年数	1年未満	13	23.1	30.8	46.2	0.0
	1年以上3年未満	17	41.2	23.5	35.3	0.0
	3年以上5年未満	22	45.5	27.3	27.3	0.0
	5年以上10年未満	42	54.8	28.6	16.7	0.0
	10年以上15年未満	26	46.2	26.9	26.9	0.0
	15年以上	14	42.9	42.9	14.3	0.0

### 3. サービス基盤について

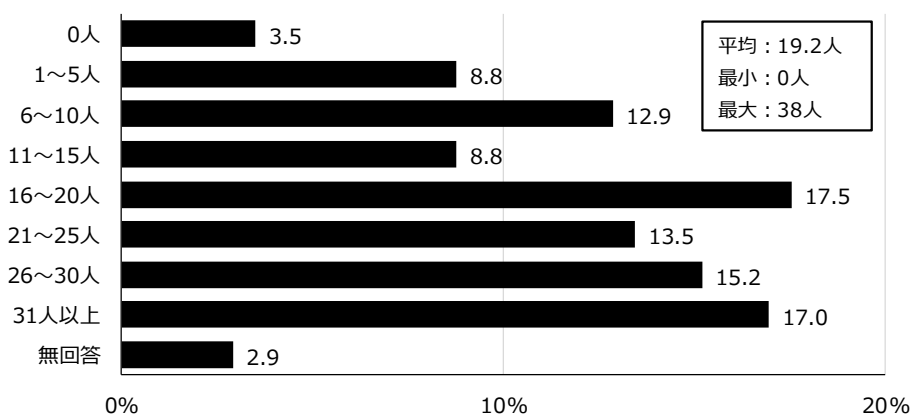
#### (1) ケアプラン作成人数（介護プラン）

問5. あなたが現在豊島区でケアプラン作成を担当している人数をご記入ください。  
（数値を記入）

#### ① 介護プラン

平均は19.2人。「16～20人」が17.5%と最多。次いで「31人以上」(17.0%)、「26～30人」(15.2%)の順。

図表 4-12 ケアプラン作成人数（介護プラン）(n=171)



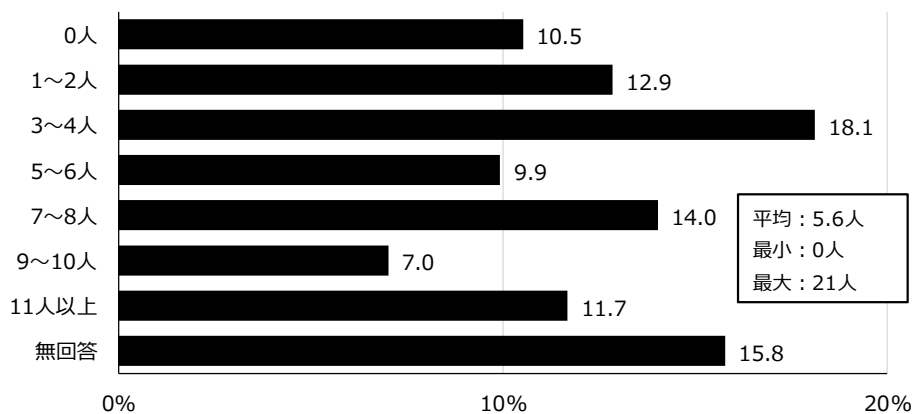
図表 4-13 従事年数別のケアプラン作成人数（介護プラン）

	合計	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均(人)
全体	171	3.5	8.8	12.9	8.8	17.5	13.5	15.2	17.0	2.9	19.2
従事年数											
1年未満	13	23.1	15.4	7.7	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	8.8
1年以上3年未満	17	5.9	17.6	11.8	11.8	23.5	17.6	5.9	5.9	0.0	14.8
3年以上5年未満	23	0.0	0.0	21.7	13.0	17.4	13.0	13.0	17.4	4.3	19.9
5年以上10年未満	50	0.0	8.0	18.0	4.0	20.0	14.0	18.0	16.0	2.0	20.1
10年以上15年未満	43	2.3	4.7	4.7	9.3	18.6	18.6	11.6	30.2	0.0	22.8
15年以上	24	4.2	16.7	12.5	0.0	8.3	8.3	33.3	12.5	4.2	18.8

② 介護予防プラン

平均は5.6人。「3～4人」が18.1%と最多。次いで「7～8人」(14.0%)、「1～2人」(12.9%)の順。

図表 4-14 ケアプラン作成人数（介護予防プラン）（n=171）



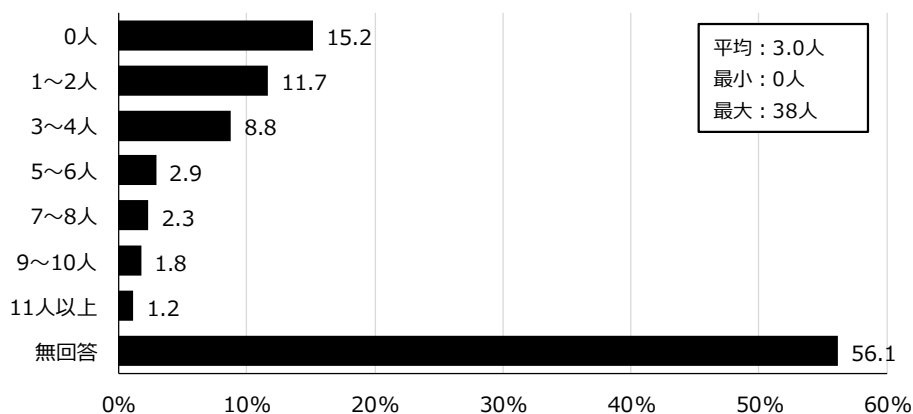
図表 4-15 従事年数別のケアプラン作成人数（介護予防プラン）

	合計	ケアプラン作成人数									平均（人）
		0人	1人	3人	5人	7人	9人	1人以上以上	無回答		
全体	171	10.5	12.9	18.1	9.9	14.0	7.0	11.7	15.8	5.6	
従事年数	1年未満	13	46.2	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	1.8
	1年以上3年未満	17	17.6	23.5	17.6	5.9	11.8	11.8	5.9	5.9	4.3
	3年以上5年未満	23	4.3	21.7	26.1	8.7	13.0	4.3	17.4	4.3	6.0
	5年以上10年未満	50	6.0	14.0	14.0	6.0	20.0	14.0	12.0	14.0	6.5
	10年以上15年未満	43	9.3	7.0	18.6	14.0	16.3	4.7	14.0	16.3	5.9
15年以上	24	4.2	8.3	20.8	16.7	4.2	0.0	12.5	33.3	5.7	

③ 介護予防ケアマネジメント

平均は3.0人。「0人」が15.2%と最多。次いで「1～2人」(11.7%)、「3～4人」(8.8%)の順。

図表 4-16 ケアプラン作成人数（介護予防ケアマネジメント）(n=171)



図表 4-17 従事年数別のケアプラン作成人数（介護予防ケアマネジメント）

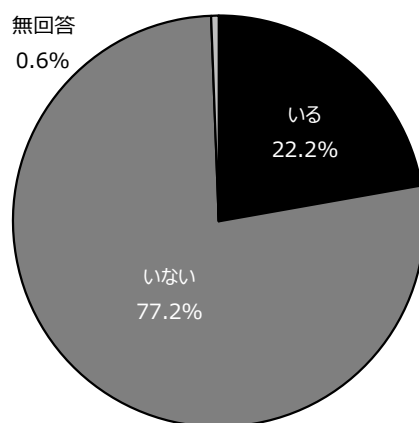
		合計	0人	1人	3人	5人	7人	9人	1人以上以上	無回答	平均(人)
全体		171	15.2	11.7	8.8	2.9	2.3	1.8	1.2	56.1	3.0
従事年数	1年未満	13	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2	0.3
	1年以上3年未満	17	23.5	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	1.1
	3年以上5年未満	23	13.0	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	4.3	60.9	3.7
	5年以上10年未満	50	10.0	6.0	14.0	0.0	2.0	6.0	2.0	60.0	5.2
	10年以上15年未満	43	18.6	16.3	4.7	9.3	7.0	0.0	0.0	44.2	2.6
	15年以上	24	4.2	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	1.8

(2) 宿泊付きデイサービスの利用者

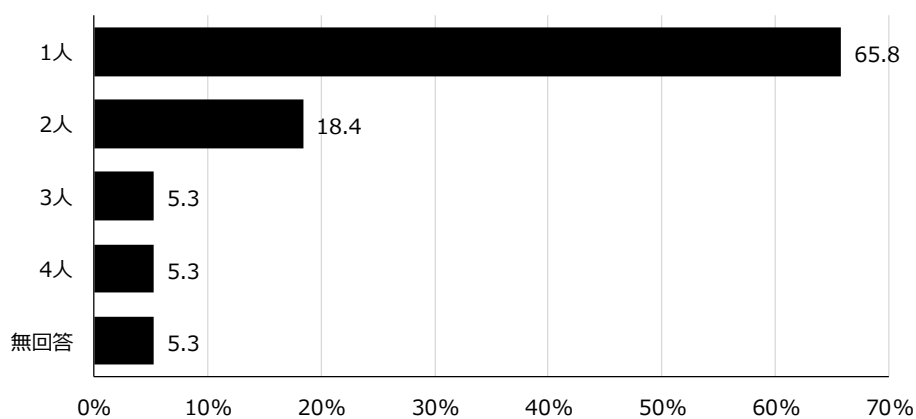
問6. あなたが担当している利用者のうち、いわゆる宿泊付きデイサービスを利用している方はいますか。(ひとつだけ○)

「いる」が22.2%と最多。

図表 4-18 宿泊付きデイサービスの利用者(n=171)

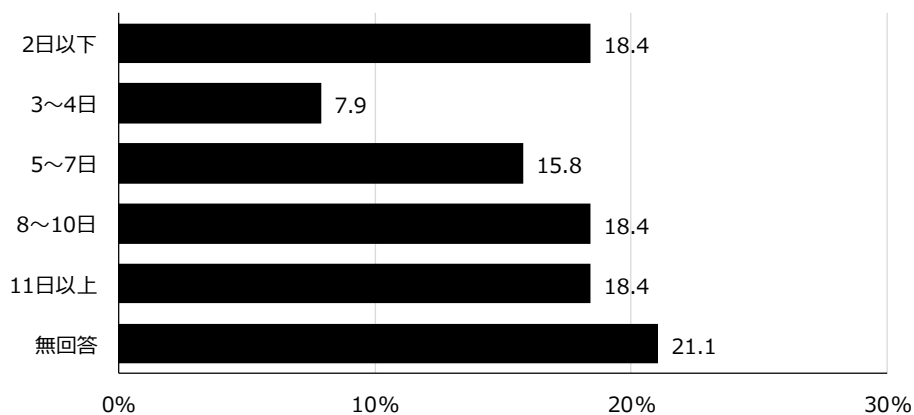


図表 4-19 宿泊付きデイサービスの利用人数(n=38)





図表 4-20 宿泊付きデイサービスの延べ利用日数 (n=38)

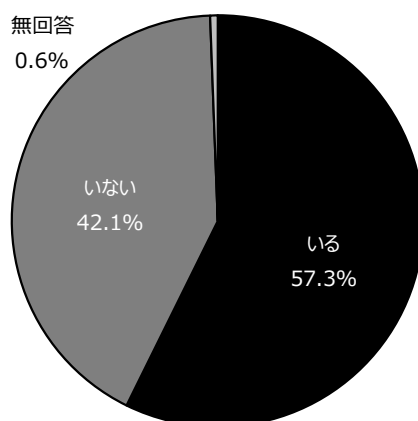


(3) 在宅生活の維持が困難な利用者

問7. あなたが担当している利用者の中で、ご自宅にお住まいの方のうち、現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている方はいますか。(ひとつだけ○)

「いる」が57.3%。

図表 4-21 在宅生活の維持が困難な利用者 (n=171)



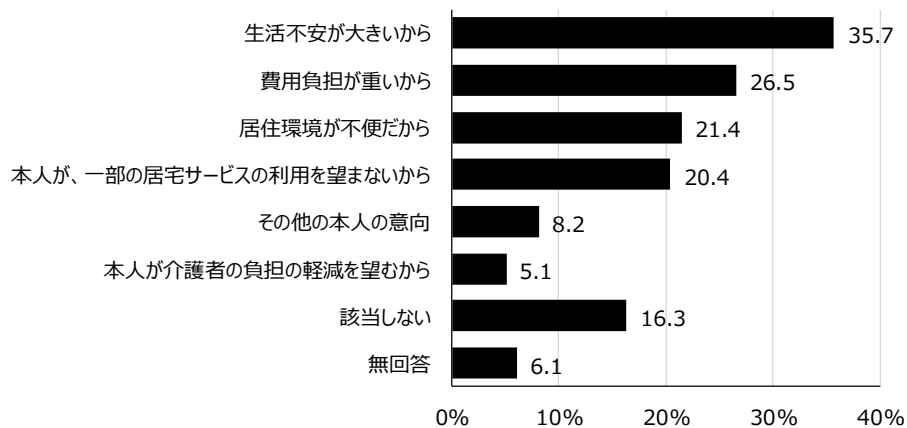
(4) 在宅生活の維持が難しくなっている理由

問7-1. 問7で「いる」に○をつけた方にうかがいます。現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている理由は何ですか。※複数のケースがある場合、あなたが特に困難であると考えている1つのケースについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

① 本人の意向等に関する理由

**「生活不安が大きいから」が35.7%と最多。**

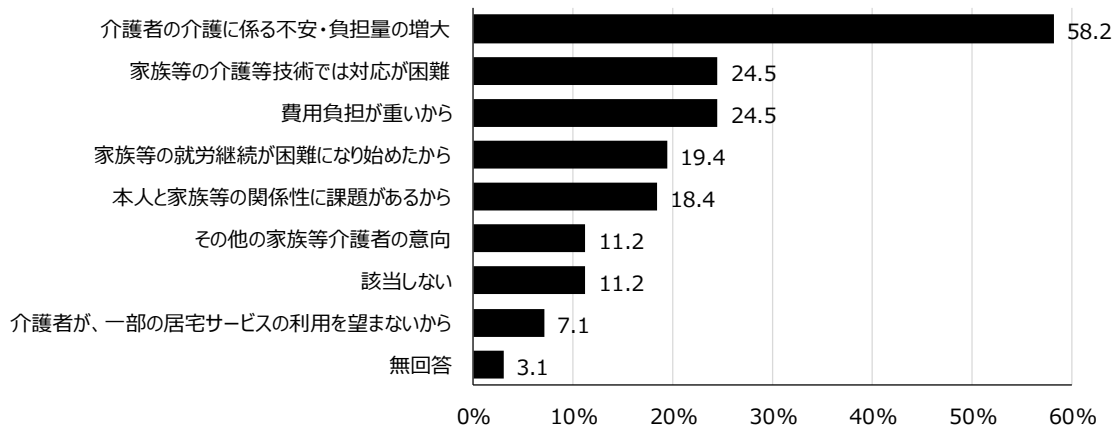
図表 4-22 在宅生活の維持が困難な理由（本人の意向等に関する理由）(n=98)



② 家族等介護者の意向・負担等に関する理由

**「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が58.2%と最多。**

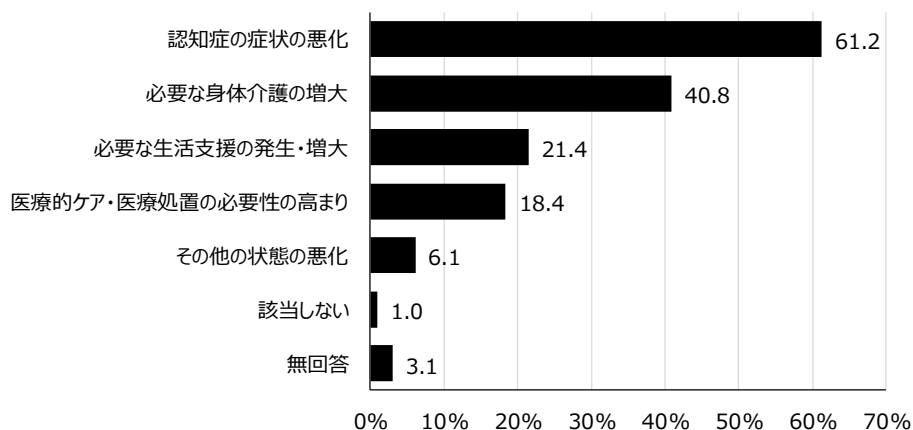
図表 4-23 在宅生活の維持が困難な理由  
(家族等介護者の意向・負担等に関する理由) (n=98)



③ 本人の状態等に関する理由

「認知症の症状の悪化」が61.2%と最多。

図表 4-24 在宅生活の維持が困難な理由（本人の状態等に関する理由）（n=98）

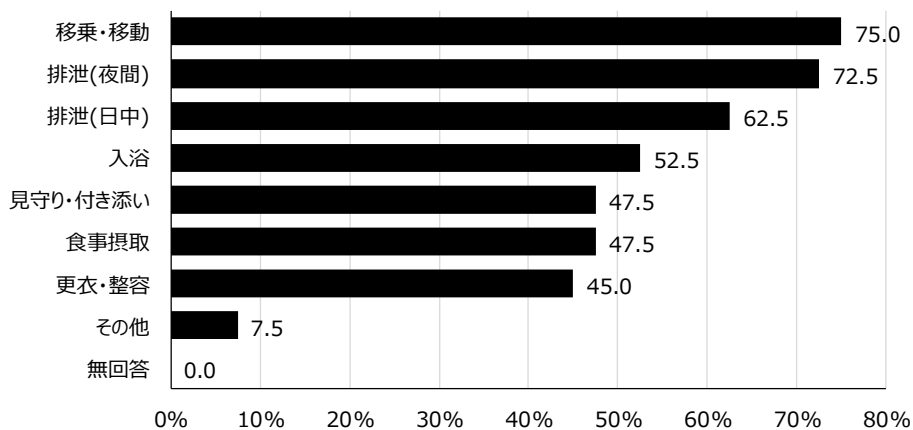


(5) 生活の維持が難しくなっている要因（身体的介護）

問7-2. 問7-1の③で「必要な身体介護の増大」に○をつけた方にうかがいます。生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な身体介護は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「移乗・移動」が75.0%と最多。次いで「排泄（夜間）」(72.5%)、「排泄（日中）」(62.5%)の順。

図表 4-25 生活の維持が難しくなっている要因（身体的介護）（n=40）

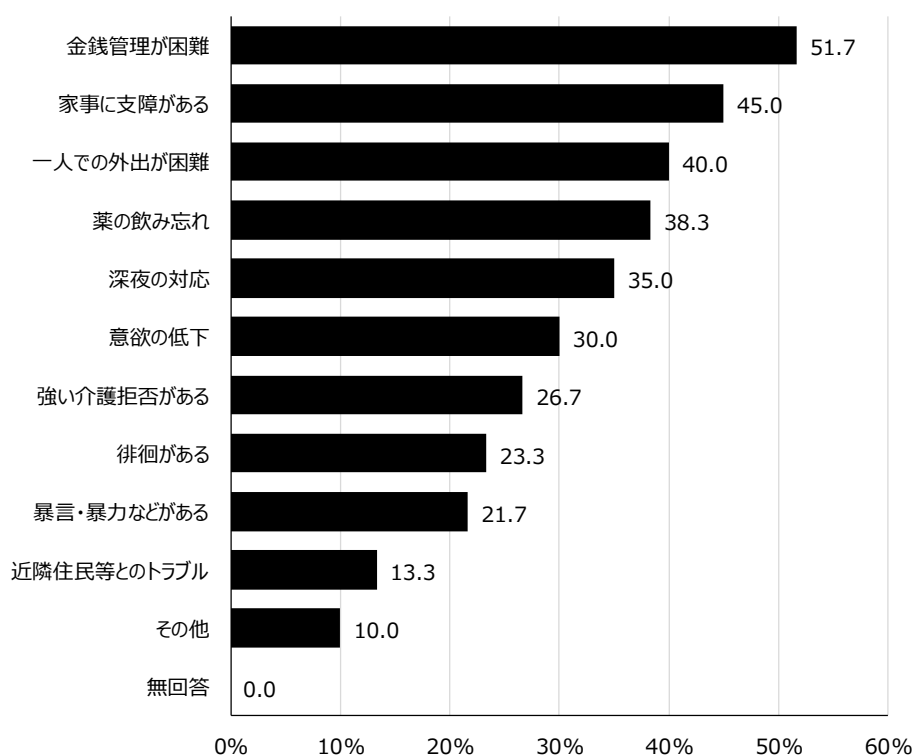


(6) 生活の維持が難しくなっている要因（認知症の症状）

問7-3. 問7-1の③で「認知症の症状の悪化」に○をつけた方にうかがいます。生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な認知症の症状は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「**金銭管理が困難**」が51.7%と最多。次いで「**家事に支障がある**」(45.0%)、「**一人での外出が困難**」(40.0%)の順。

図表 4-26 生活の維持が難しくなっている要因（認知症の症状）（n=60）

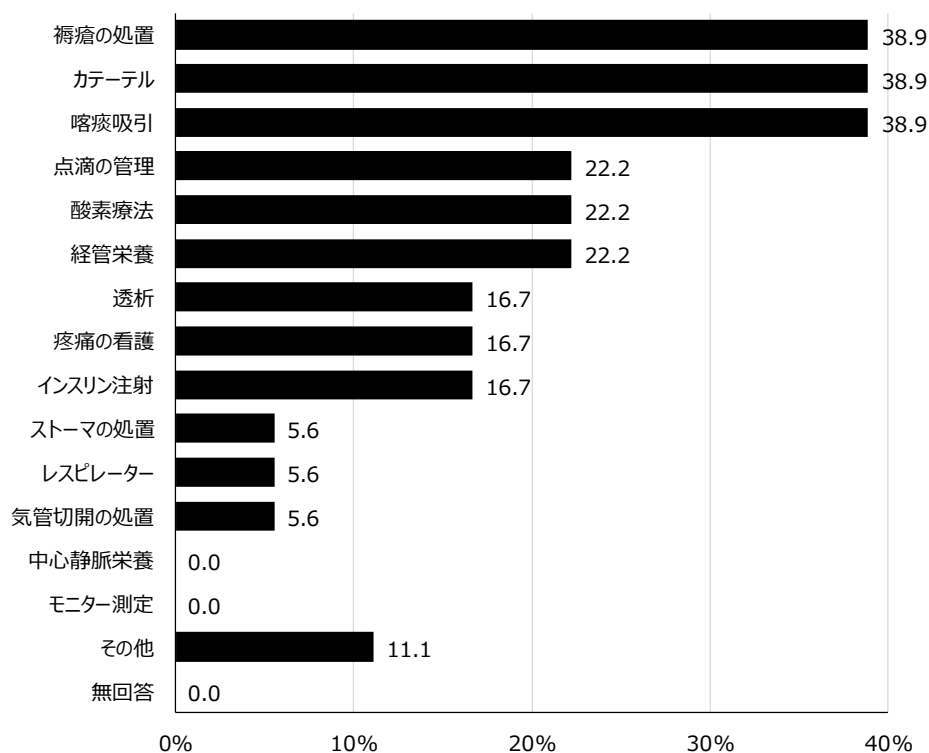


(7) 生活の維持が難しくなっている要因（医療的ケア・医療処置）

問7-4. 問7-1の③で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」に○をつけた方にうかがいます。生活の維持が難しくなっている要因となっている具体的な医療的ケア・医療処置は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「褥瘡の処置」「カテーテル」「喀痰吸引」が38.9%と最多。次いで「点滴の管理」「酸素療法」「経管栄養」(22.2%)、「透析」「疼痛の看護」「インスリン注射」(16.7%)の順。

図表 4-27 生活の維持が難しくなっている要因（医療的ケア・医療処置）(n=18)

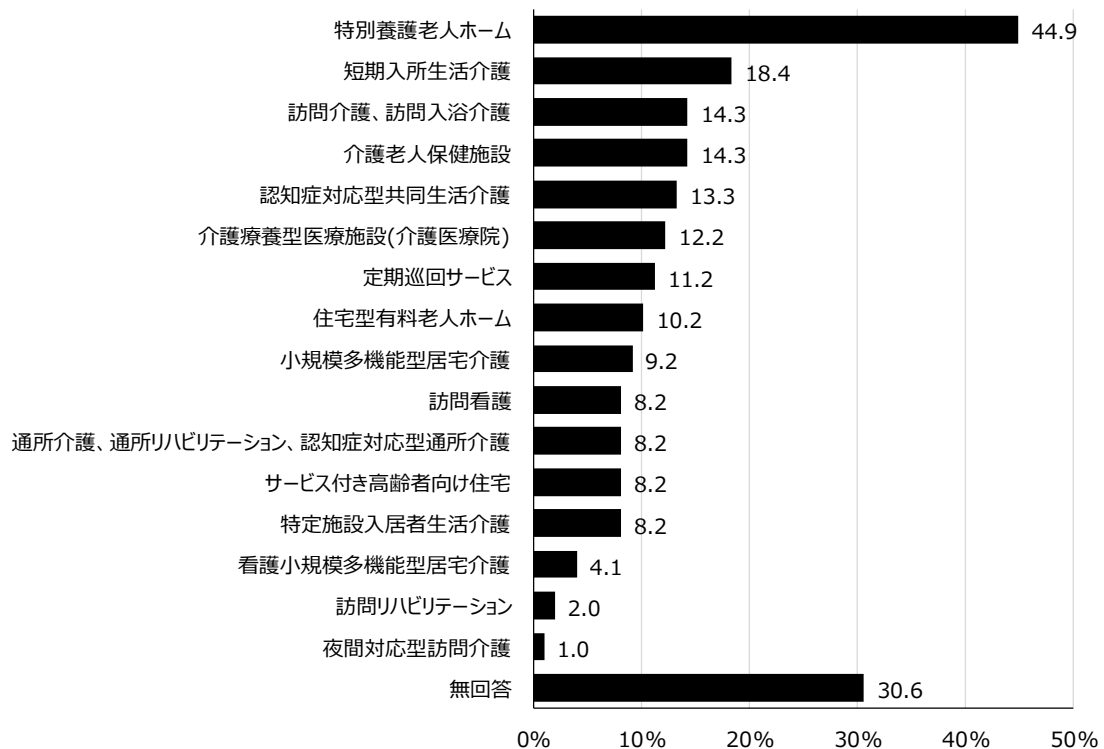


(8) 在宅生活の維持のために利用すべきサービス

問7-5. 問7で「必要な生活支援の発生・増大」に○をつけた方にうかがいます。現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

**「特別養護老人ホーム」が44.9%と最多。次いで「短期入所生活介護」(18.4%)、「訪問介護、訪問入浴介護」「介護老人保健施設」(14.3%)の順。**

図表 4-28 在宅生活の維持のために利用すべきサービス (n=98)

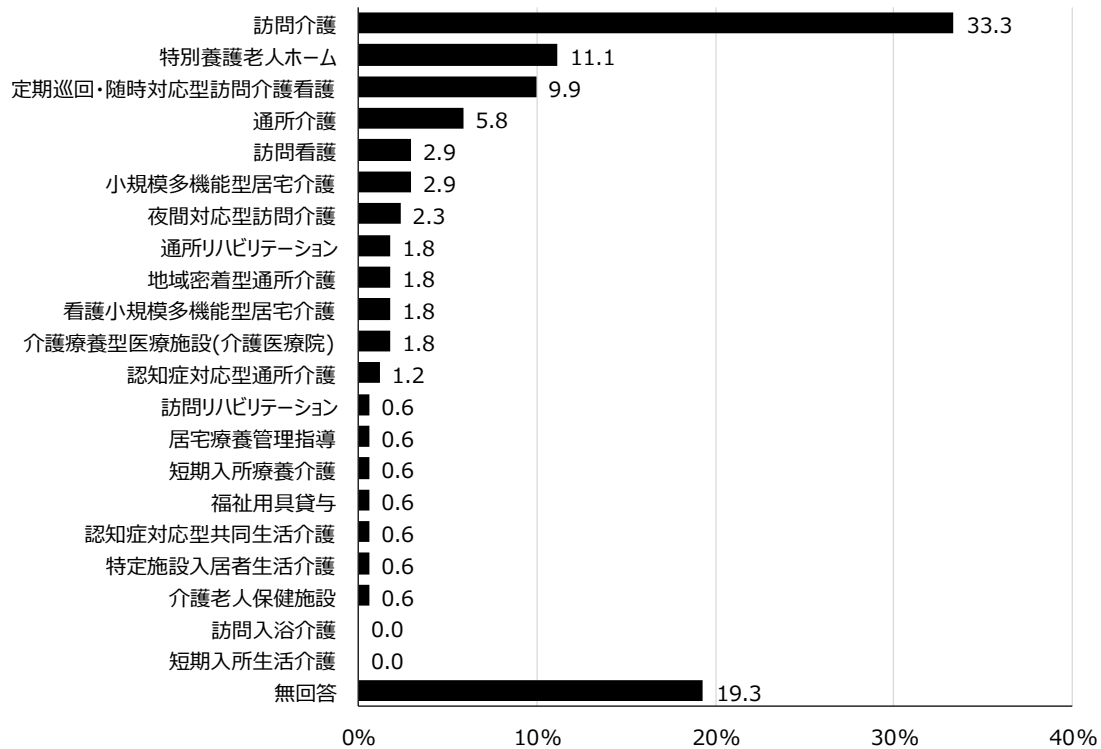


(9) 充実が必要なサービス

問8. あなたは、ケアマネジャーの立場から、高齢者が安心して生活するために、どのようなサービスをより充実させることが重要だと思いますか。(ひとつだけ○)

「訪問介護」が33.3%と最多。

図表 4-29 充実が必要なサービス (n=171)



図表 4-30 従事年数別の充実が必要なサービス

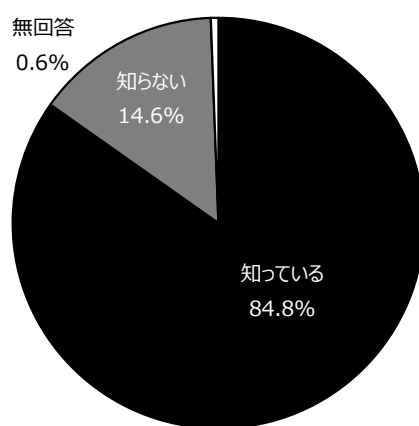
	回答者数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	福祉用具貸与	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問看護	共同生活介護	認知症対応型	特定施設入居者生活介護	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	(介護医療院)	介護療養型医療施設	無回答
全体	171	33.3	0.0	2.9	0.6	0.6	5.8	1.8	0.0	0.6	0.6	2.3	1.2	1.8	2.9	1.8	9.9	0.6	0.6	0.6	11.1	0.6	1.8	19.3	
従事年数	1年未満	13	38.5	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	
	1年以上3年未満	17	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	
	3年以上5年未満	23	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	8.7	26.1	
	5年以上10年未満	50	36.0	0.0	6.0	0.0	0.0	10.0	2.0	0.0	2.0	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	2.0	8.0	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	18.0	
	10年以上15年未満	43	32.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	14.0	0.0	0.0	16.3	0.0	0.0	23.3	
15年以上	24	29.2	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	16.7	0.0	0.0	16.7		

(10) 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせに関する通知の認知度

問9. あなたは2018年度に厚生労働省より「介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供する場合の取扱いについて」の通知（介護保険最新情報Vol.678）があったことを知っていますか。（ひとつだけ○）

「知っている」が84.8%。

図表 4-31 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせに関する通知の認知度 (n=171)



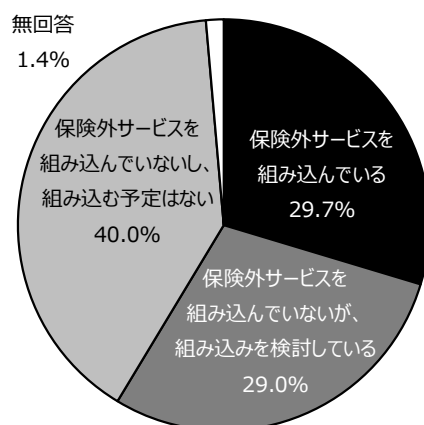


(11) 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせに関する通知のケアプランへの影響

問9-1. 問9で「知っている」に○をつけた方にうかがいます。あなたは厚生労働省の通知を受け、ケアプランの作成にどのような影響がありましたか。(ひとつだけ○)

**「保険外サービスを組み込んでいないし、組み込む予定はない」が40.0%と最多。**

図表 4-32 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせに関する通知のケアプランへの影響 (n=145)

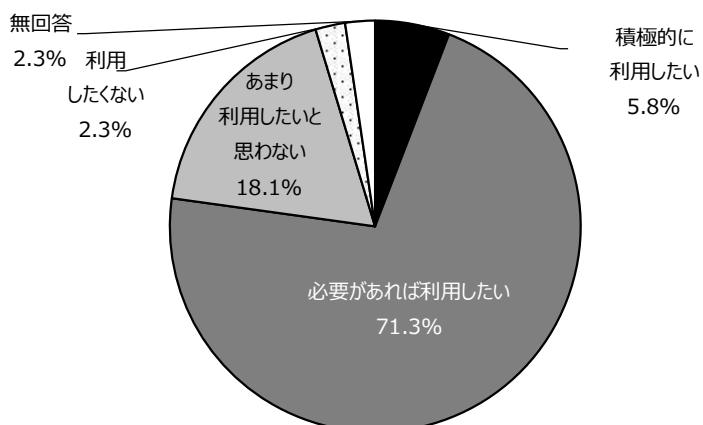


(12) 保険外サービスのケアプランへの組み込みへの意向

問10. あなたは、保険外サービスのケアプランへの組み込みについてどのように考えていますか。(ひとつだけ○)

**「必要があれば利用したい」が71.3%と最多。**

図表 4-33 保険外サービスのケアプランへの組み込みへの意向 (n=171)

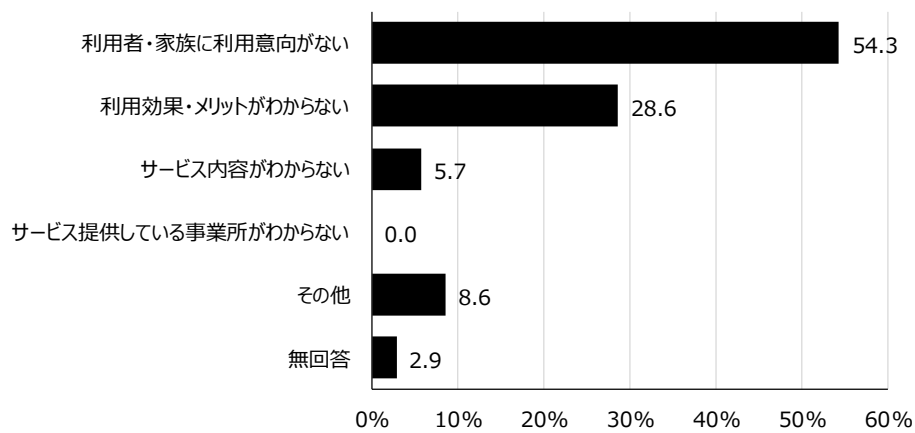


(13) 保険外サービスを利用したくない理由

問10-1. 問10で「あまり利用したいと思わない」「利用したくない」に○をつけた方にかがいます。あなたが保険外サービスを利用したいと思わない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

**「利用者・家族に利用意向がない」が54.3%と最多。次いで「利用効果・メリットがわからない」が28.6%と続く。**

図表 4-34 保険外サービスを利用したくない理由 (n=35)



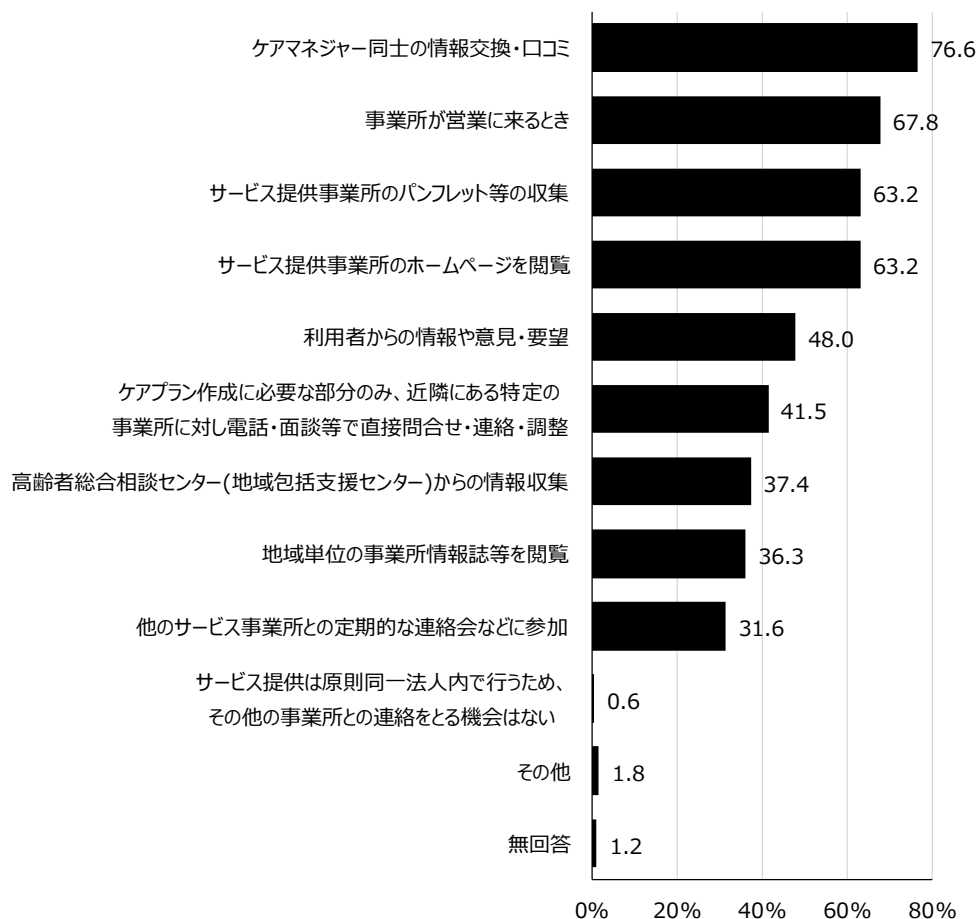
#### 4. 各種連絡・調整について

##### (1) サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整の方法

問11. あなたは、サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか（あてはまるものすべてに○）

**「ケアマネジャー同士の情報交換・口コミ」が76.6%と最多。次いで「事業所が営業に来るとき」(67.8%)、「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」「サービス提供事業所のホームページを閲覧」(63.2%)の順。**

図表 4-35 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整の方法 (n=171)



従事年数別でみると、“1年未満”“1年以上3年未満”では、「サービス提供事業所のホームページを閲覧」が最も高くなっています。“15年以上”では、「事業所が営業に来るとき」が最も高くなっています。上記以外では、「ケアマネジャー同士の情報交換・口コミ」が最も高くなっています。

図表 4-36 従事年数別のサービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整の方法

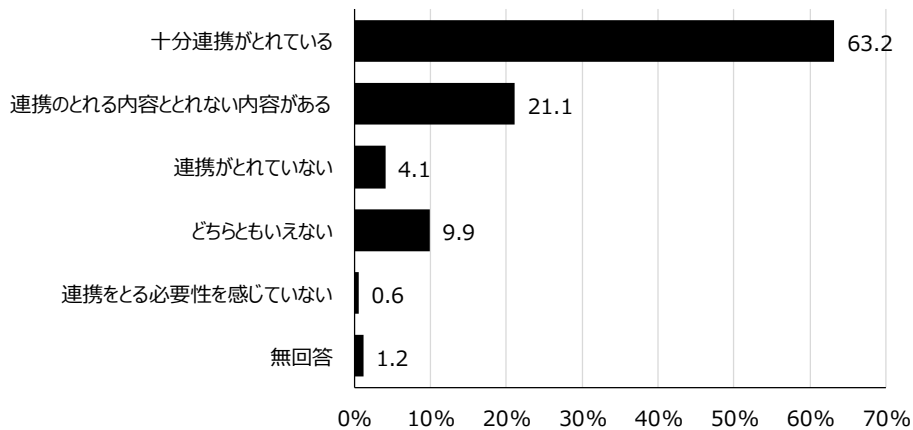
	回答者数	サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業所情報誌等を閲覧	高齢者総合相談センターからの情報収集	他のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整	ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の	その他の事業所との連絡をとる機会はない	ケアマネジャー同士の情報交換・口コミ	事業所が営業に来るとき	利用者からの情報や意見・要望	その他	無回答
全体	171	63.2	63.2	36.3	37.4	31.6	41.5	0.6	76.6	67.8	48.0	1.8	1.2	(%)
従事年数	1年未満	13	46.2	69.2	30.8	23.1	23.1	7.7	61.5	46.2	53.8	7.7	7.7	
	1年以上3年未満	17	64.7	82.4	29.4	35.3	23.5	0.0	52.9	70.6	47.1	0.0	0.0	
	3年以上5年未満	23	69.6	60.9	39.1	34.8	26.1	43.5	0.0	82.6	78.3	30.4	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	62.0	64.0	36.0	38.0	36.0	42.0	0.0	84.0	66.0	52.0	4.0	0.0
	10年以上15年未満	43	67.4	62.8	48.8	48.8	34.9	46.5	0.0	86.0	67.4	55.8	0.0	0.0
15年以上	24	62.5	50.0	20.8	29.2	25.0	54.2	0.0	66.7	75.0	41.7	0.0	0.0	

(2) 高齢者総合相談センターとの連携状況

問12. あなたは、現在、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）との連携はとれていますか（ひとつだけ○）

「十分連携がとれている」が63.2%と最多。

図表 4-37 高齢者総合相談センターとの連携状況 (n=171)



従事年数別でみると、“1年未満”では、「十分連携がとれている」「どちらともいえない」が最も高くなっています。上記以外では、「十分連携がとれている」が最も高くなっています。

図表 4-38 従事年数別の高齢者総合相談センターとの連携状況

		回答者数	十分連携がとれている	と連携のとれない内容がある	連携がとれていない	どちらともいえない	感じていない必要性を	無回答
全体		171	63.2	21.1	4.1	9.9	0.6	1.2
従事年数	1年未満	13	38.5	0.0	23.1	38.5	0.0	0.0
	1年以上3年未満	17	76.5	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0
	3年以上5年未満	23	60.9	26.1	0.0	13.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	62.0	28.0	2.0	6.0	0.0	2.0
	10年以上15年未満	43	69.8	18.6	2.3	9.3	0.0	0.0
	15年以上	24	62.5	20.8	8.3	4.2	4.2	0.0

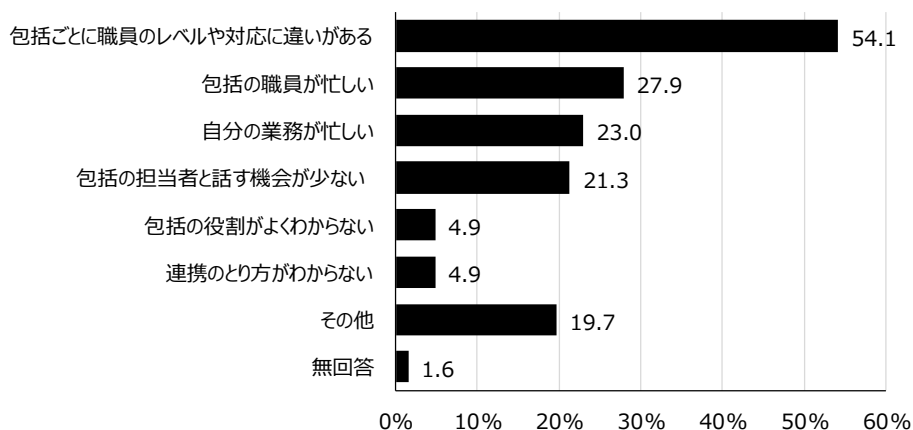
(%)

### (3) 高齢者総合相談センターと連携がとれない理由

問12-1. 問12で「連携のとれる内容ととれない内容がある」「連携がとれていない」「どちらともいえない」「連携をとる必要性を感じていない」に○をつけた方にうかがいます。現在、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）と連携がとれない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

**「包括ごとに職員のレベルや対応に違いがある」が54.1%と最多。**

図表 4-39 高齢者総合相談センターと連携がとれない理由 (n=61)

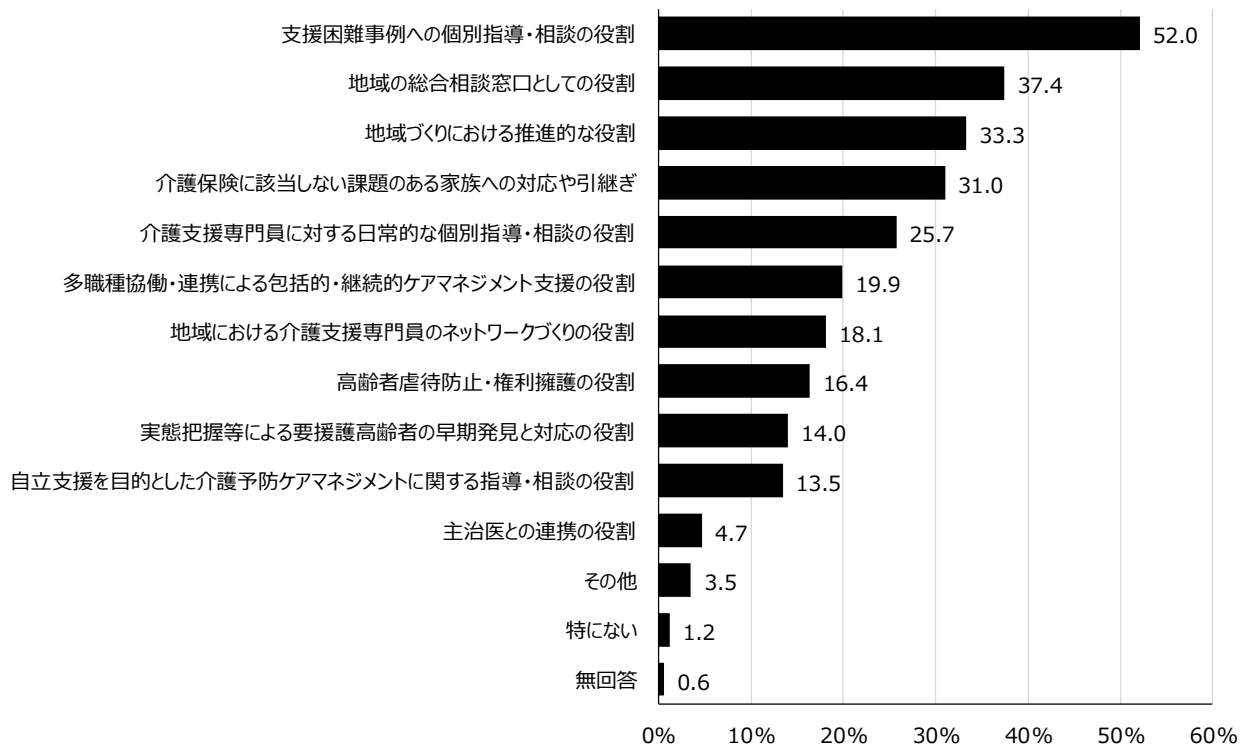


(4) 高齢者総合相談センターに期待する役割

問13. あなたは、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）に、今後、特に期待する役割は何ですか。（3つまで○）

「支援困難事例への個別指導・相談の役割」が52.0%と最多。次いで「地域の総合相談窓口としての役割」(37.4%)、「地域づくりにおける推進的な役割」(33.3%)の順。

図表 4-40 高齢者総合相談センターに期待する役割 (n=171)



高齢者総合相談センターとの連携状況別に期待する役割の内容をみると、“連携のとれる内容ととれない内容がある”“連携がとれていない”では、他の連携状況に比べ、「介護保険に該当しない課題のある家族への対応や引継ぎ」が高くなっています。“連携がとれていない”では、他の連携状況に比べ、「高齢者の虐待防止・権利擁護の役割」が高くなっています。

図表 4-41 従事年数、高齢者総合相談センターとの連携状況別の  
高齢者総合相談センターに期待する役割

	回答者数	自立支援を目的とした介護予防ケアの役割	地域づくりにおける推進的な役割	主治医との連携の役割	日常的な個別指導・相談の役割	介護支援専門員に対する	支援困難事例への個別指導・相談の役割	地域における介護支援専門員の役割	ケアマネジメント支援の役割	多職種協働・連携による包括的・継続的	地域の総合相談窓口としての役割	早期発見と対応の役割	実態把握等による要介護高齢者の	高齢者虐待防止・権利擁護の役割	介護保険に該当しない課題のある家族への	その他	特になし	無回答
全体	171	13.5	33.3	4.7	25.7	52.0	18.1	19.9	37.4	14.0	16.4	31.0	3.5	1.2	0.6	(%)		
従事年数	1年未満	13	0.0	30.8	0.0	23.1	69.2	23.1	15.4	46.2	7.7	30.8	23.1	0.0	7.7	0.0		
	1年以上3年未満	17	23.5	41.2	5.9	23.5	47.1	29.4	5.9	35.3	17.6	17.6	23.5	0.0	0.0	0.0		
	3年以上5年未満	23	30.4	39.1	4.3	30.4	56.5	17.4	21.7	21.7	17.4	4.3	26.1	4.3	0.0	0.0		
	5年以上10年未満	50	14.0	30.0	4.0	28.0	48.0	18.0	28.0	42.0	10.0	12.0	40.0	2.0	0.0	0.0		
	10年以上15年未満	43	7.0	32.6	4.7	30.2	53.5	14.0	23.3	34.9	14.0	25.6	32.6	7.0	0.0	0.0		
	15年以上	24	8.3	33.3	8.3	12.5	50.0	16.7	8.3	45.8	20.8	12.5	25.0	4.2	4.2	0.0		
相談センターとの連携	十分連携がとれている	108	17.6	38.9	6.5	22.2	50.9	20.4	24.1	38.0	15.7	12.0	29.6	0.9	0.9	0.0		
	連携のとれる内容ととれない内容がある	36	2.8	22.2	2.8	36.1	55.6	8.3	16.7	33.3	11.1	27.8	38.9	11.1	0.0	0.0		
	連携がとれていない	7	0.0	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	42.9	0.0	42.9	42.9	0.0	14.3	0.0		
	どちらともいえない	17	11.8	35.3	0.0	35.3	58.8	23.5	11.8	41.2	11.8	11.8	17.6	5.9	0.0	0.0		
	連携をとる必要性を感じていない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

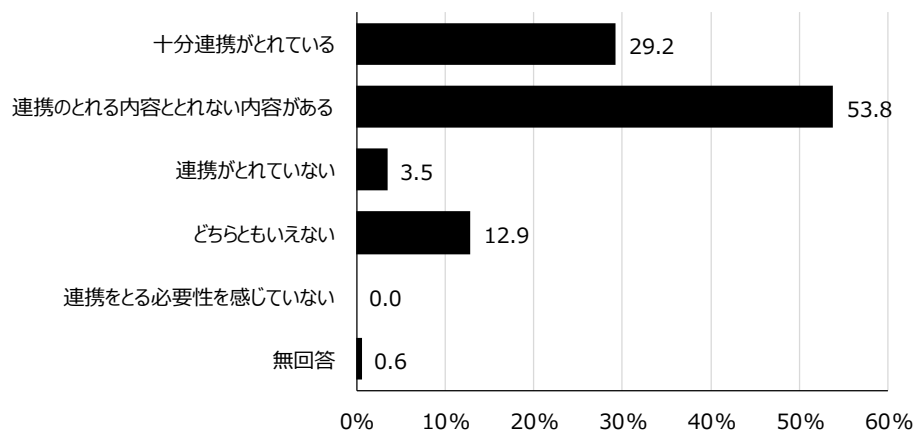


(5) 医療機関との連携

問14. あなたは、現在、医療機関との連携はとれていますか（ひとつだけ○）

「連携のとれる内容ととれない内容がある」が53.8%と最多。

図表 4-42 医療機関との連携 (n=171)



図表 4-43 従事年数別の医療機関との連携

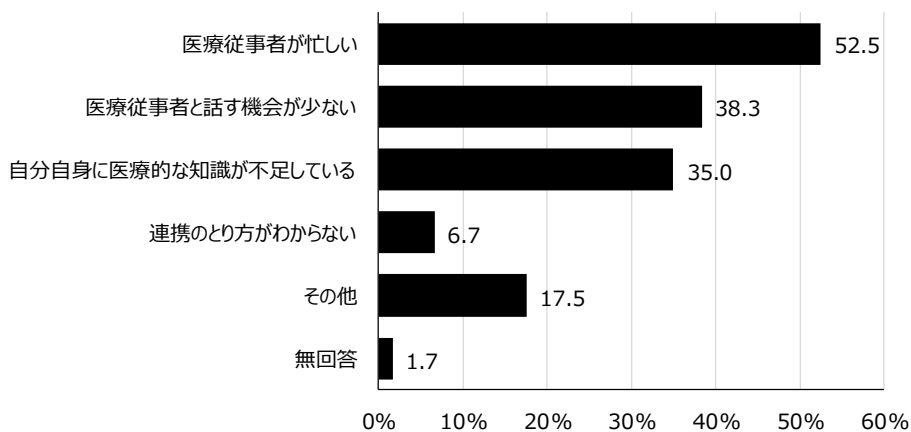
		回答者数	十分連携がとれている	連携のとれる内容ととれない内容がある	連携がとれていない	どちらともいえない	連携をとる必要性を感じていない	無回答
全体		171	29.2	53.8	3.5	12.9	0.0	0.6
従事年数	1年未満	13	15.4	38.5	7.7	38.5	0.0	0.0
	1年以上3年未満	17	17.6	70.6	0.0	11.8	0.0	0.0
	3年以上5年未満	23	17.4	52.2	0.0	30.4	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	38.0	52.0	2.0	8.0	0.0	0.0
	10年以上15年未満	43	27.9	60.5	4.7	7.0	0.0	0.0
	15年以上	24	41.7	45.8	8.3	4.2	0.0	0.0

(6) 医療機関と連携がとれない理由

問14-1. 問14で「連携のとれる内容ととれない内容がある」「連携がとれていない」「どちらともいえない」「連携をとる必要性を感じていない」に○をつけた方にうかがいます。現在、医療機関と連携がとれない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「医療従事者が忙しい」が52.5%と最多。次いで「医療従事者と話す機会が少ない」(38.3%)、「自分自身に医療的な知識が不足している」(35.0%)の順。

図表 4-44 医療機関と連携がとれない理由 (n=120)



図表 4-45 医療機関との連携状況別の医療機関と連携がとれない理由

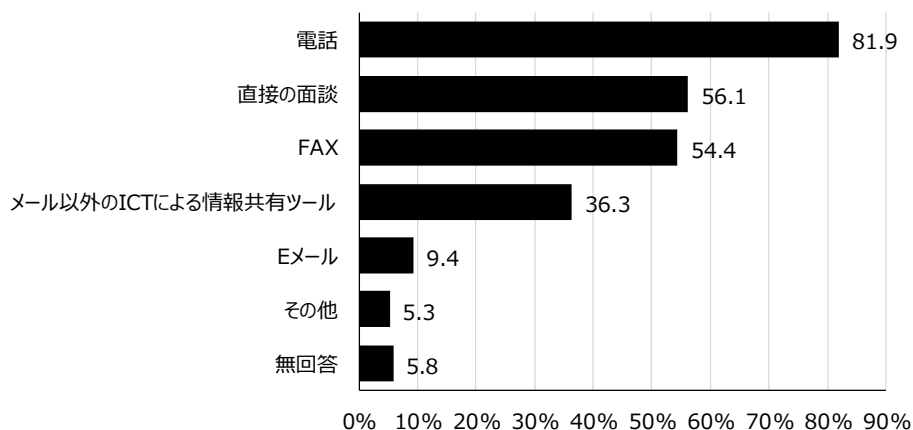
		回答者数	不足している医療的な知識が	少ない医療従事者と話す機会が	連携のとり方がわからない	医療従事者が忙しい	その他	無回答
全体		120	35.0	38.3	6.7	52.5	17.5	1.7
と医療機関連携	連携のとれる内容ととれない内容がある	92	32.6	39.1	5.4	53.3	16.3	1.1
	連携がとれていない	6	16.7	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7
	どちらともいえない	22	50.0	40.9	13.6	50.0	18.2	0.0
	連携をとる必要性を感じていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(7) 医療機関等からの情報収集の方法

問15. あなたは、日ごろどのような方法で、医療機関等から情報収集を行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「電話」が81.9%と最多。次いで「直接の面談」(56.1%)、「FAX」(54.4%)の順。

図表 4-46 医療機関等からの情報収集の方法 (n=171)



図表 4-47 医療機関との連携状況別の医療機関等からの情報収集の方法

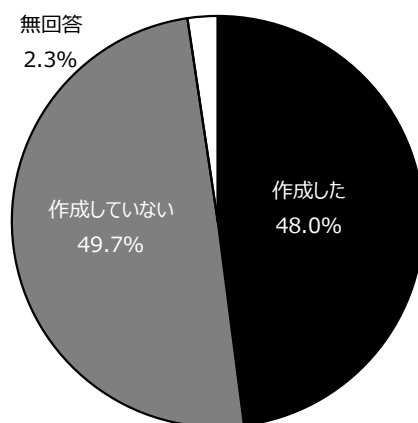
		回答者数	電話	FAX	Eメール	直接の面談	メール以外のICTによる情報共有ツール	その他	無回答
全体		171	81.9	54.4	9.4	56.1	36.3	5.3	5.8
と医療機関の連携	十分連携がとれている	50	76.0	48.0	10.0	58.0	36.0	8.0	16.0
	連携のとれる内容のとれない内容がある	92	91.3	59.8	10.9	60.9	39.1	2.2	0.0
	連携がとれていない	6	50.0	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7
	どちらともいえない	22	68.2	54.5	4.5	40.9	31.8	9.1	0.0
	連携をとる必要性を感じていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(8) ターミナルケアに係るケアプランの作成

問16. あなたは、この1年間に、ターミナルケアに係る居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しましたか。（1つだけ○）

「作成した」が48.0%。ケアプランを作成している利用者は、「1人」が48.8%と最多。次いで「2人」(28.0%)、「3人」(7.3%)の順。

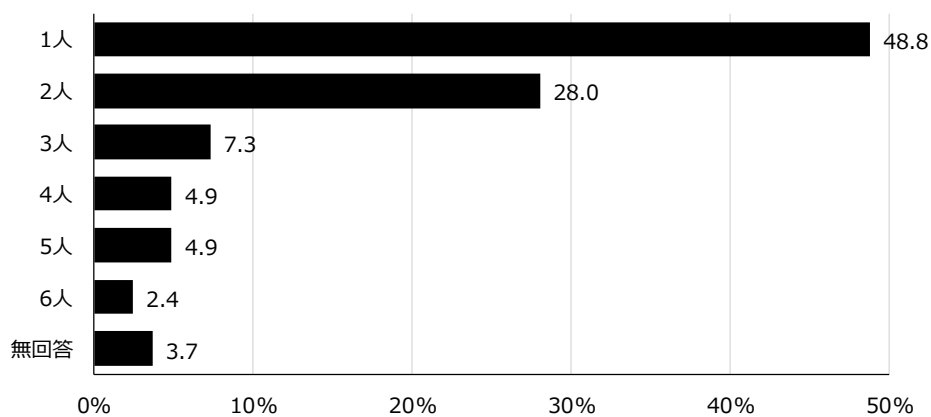
図表 4-48 ターミナルケアに係るケアプランの作成 (n=171)



図表 4-49 従事年数、医療機関との連携状況別のターミナルケアに係るケアプランの作成

		回答者数	作成した	作成していない	無回答
全体		171	48.0	49.7	2.3
従事年数	1年未満	13	23.1	76.9	0.0
	1年以上3年未満	17	41.2	52.9	5.9
	3年以上5年未満	23	56.5	43.5	0.0
	5年以上10年未満	50	48.0	48.0	4.0
	10年以上15年未満	43	53.5	46.5	0.0
	15年以上	24	50.0	50.0	0.0
と医療機関の連携	十分連携がとれている	50	46.0	50.0	4.0
	連携のとれる内容のとれない内容がある	92	52.2	46.7	1.1
	連携がとれていない	6	33.3	66.7	0.0
	どちらともいえない	22	40.9	59.1	0.0
	連携をとる必要性を感じていない	0	0.0	0.0	0.0

図表 4-50 ターミナルケアに係るケアプランの作成人数(n=82)



図表 4-51 従事年数別のターミナルケアに係るケアプランの作成人数

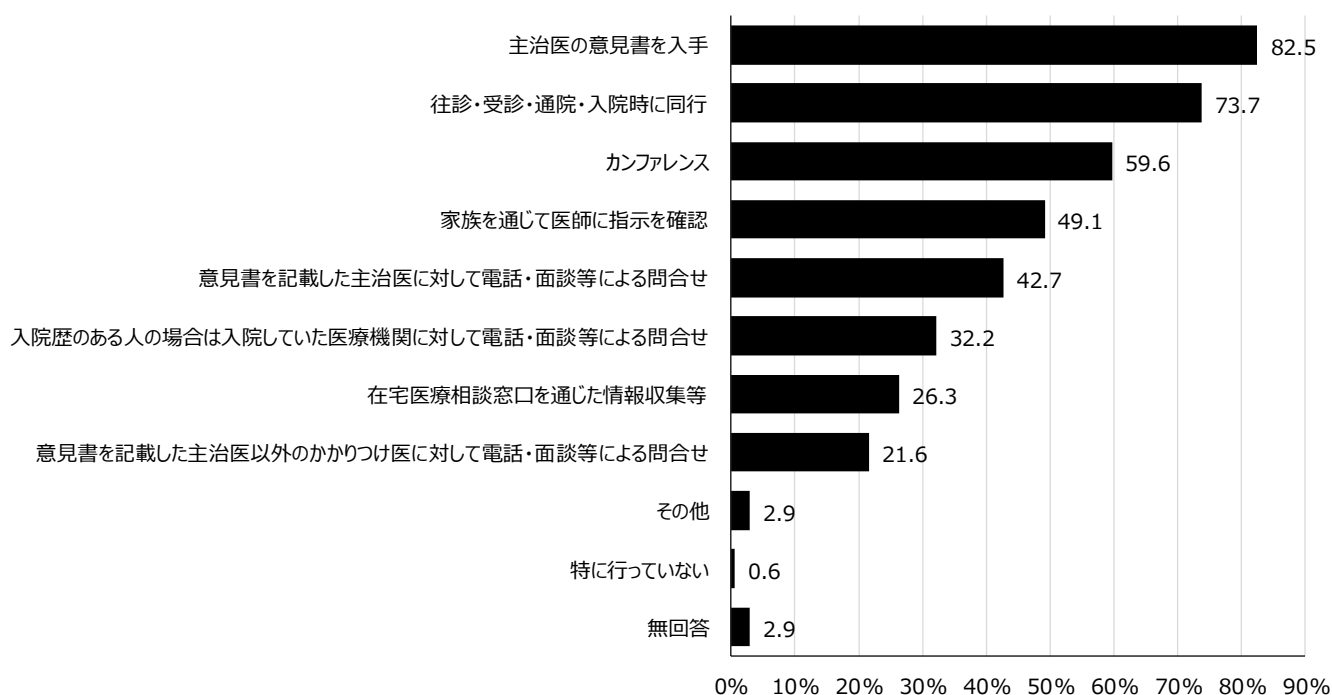
		合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答	平均(人)	(%)
全体		82	48.8	28.0	7.3	4.9	4.9	2.4	3.7	1.9	
従事年数	1年未満	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	
	1年以上3年未満	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	1.3	
	3年以上5年未満	13	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	1.9	
	5年以上10年未満	24	37.5	33.3	0.0	12.5	0.0	8.3	8.3	2.2	
	10年以上15年未満	23	65.2	21.7	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	1.7	
	15年以上	12	25.0	33.3	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	2.3	
との連携	十分連携がとれている	23	52.2	26.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	1.9	
	連携のとれる内容のとれない内容がある	48	43.8	29.2	10.4	6.3	6.3	2.1	2.1	2.1	
	連携がとれていない	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	
	どちらともいえない	9	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	1.3	
	連携をとる必要性を感じていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	

(9) ケアプランの作成に係る医療機関等からの情報収集方法

問17. あなたは、特にケアプランの作成にあたって、どのように医療機関等からの情報収集などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「主治医の意見書を入手」が82.5%と最多。次いで「往診・受診・通院・入院時に同行」(73.7%)、「カンファレンス」(59.6%)の順。

図表 4-52 ケアプランの作成に係る医療機関等からの情報収集方法 (n=171)



(10) 在宅医療連携に対する自由意見

問18. 在宅医療連携について、課題があればご記入ください。

★整理中

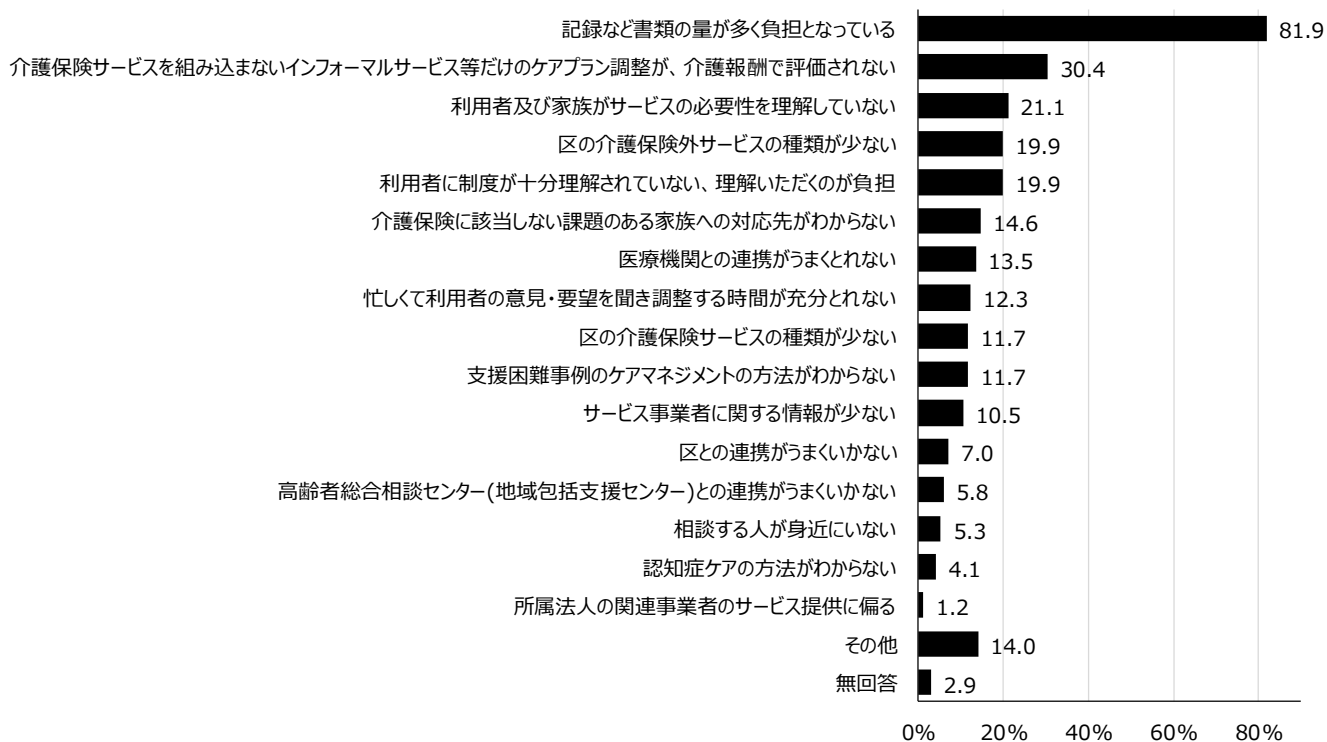
## 5. 業務の課題について

### (1) ケアマネジャー業務を行う上での課題

問19. あなたは、ケアマネジャー業務を行う上で、どのようなことが課題となっていますか。(あてはまるものすべてに○)

**「記録など書類の量が多く負担となっている」が81.9%と最多。**

図表 4-53 ケアマネジャー業務を行う上での課題 (n=171)





従事年数別でみると、いずれの従事年数においても、「記録など書類の量が多く負担となっている」が最も高くなっています。

図表 4-54 従事年数別のケアマネジャー業務を行う上での課題

	回答者数	区の介護保険サービスの種類が少ない	区の介護保険外サービスの種類が少ない	サービス事業者に関する情報が少ない	利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	認知症ケアの方法がわからない	医療機関との連携がうまくとれない	高齢者総合相談センターとの連携がうまくいかない	区との連携がうまくいかない	相談する人が身近にいない	所属法人の関連事業者のサービス提供に偏る	記録など書類の量が多く負担となっている	利用者に制度が十分理解されていない、理解いただくのが負担	介護保険サービスの組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が、介護報酬で評価されない	介護保険に該当しない課題のある家族への対応先がわからない	その他	無回答	
全体	171	11.7	19.9	10.5	21.1	12.3	11.7	4.1	13.5	5.8	7.0	5.3	1.2	81.9	19.9	30.4	14.6	14.0	2.9	
従事年数	1年未満	13	7.7	15.4	7.7	38.5	15.4	46.2	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	69.2	7.7	23.1	23.1	23.1	0.0
	1年以上3年未満	17	11.8	5.9	5.9	23.5	11.8	17.6	5.9	29.4	5.9	11.8	17.6	5.9	76.5	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9
	3年以上5年未満	23	13.0	34.8	13.0	26.1	17.4	17.4	8.7	13.0	0.0	8.7	4.3	0.0	78.3	39.1	26.1	13.0	8.7	0.0
	5年以上10年未満	50	8.0	16.0	18.0	18.0	14.0	12.0	6.0	8.0	8.0	4.0	4.0	2.0	80.0	20.0	32.0	20.0	12.0	4.0
	10年以上15年未満	43	18.6	25.6	4.7	16.3	14.0	0.0	2.3	16.3	4.7	11.6	2.3	0.0	97.7	23.3	51.2	11.6	16.3	0.0
15年以上	24	8.3	16.7	8.3	20.8	0.0	4.2	0.0	12.5	8.3	4.2	4.2	0.0	75.0	4.2	16.7	8.3	20.8	4.2	

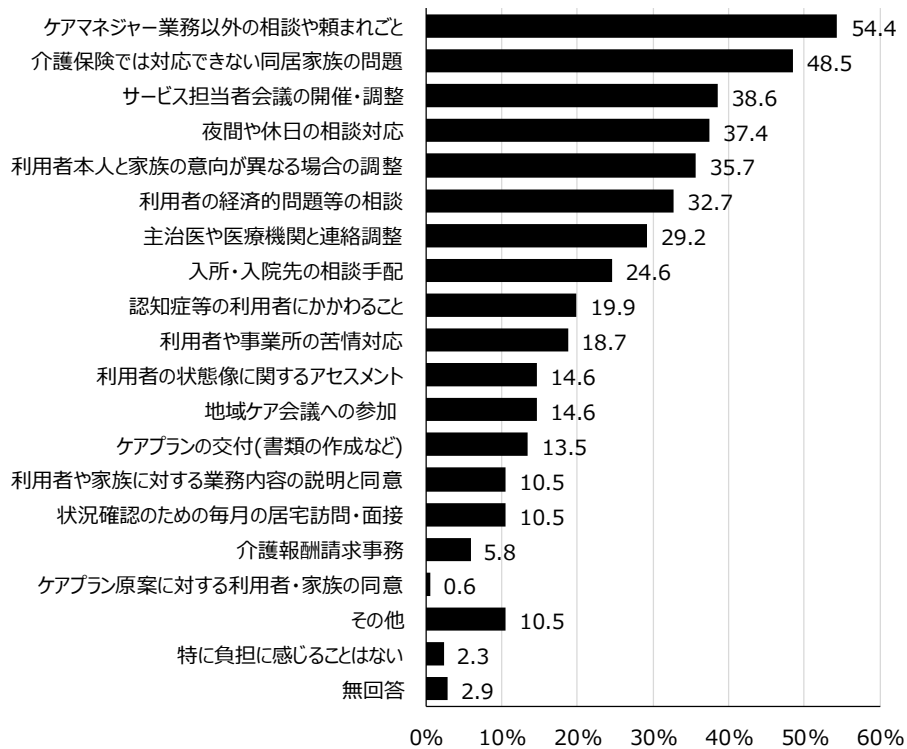
(%)

(2) ケアマネジャー業務における負担感

問20. ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」が54.4%と最多。次いで「介護保険では対応できない同居家族の問題」(48.5%)、「サービス担当者会議の開催・調整」(38.6%)の順。

図表 4-55 ケアマネジャー業務における負担感(n=171)



図表 4-56 従事年数別のケアマネジャー業務における負担感

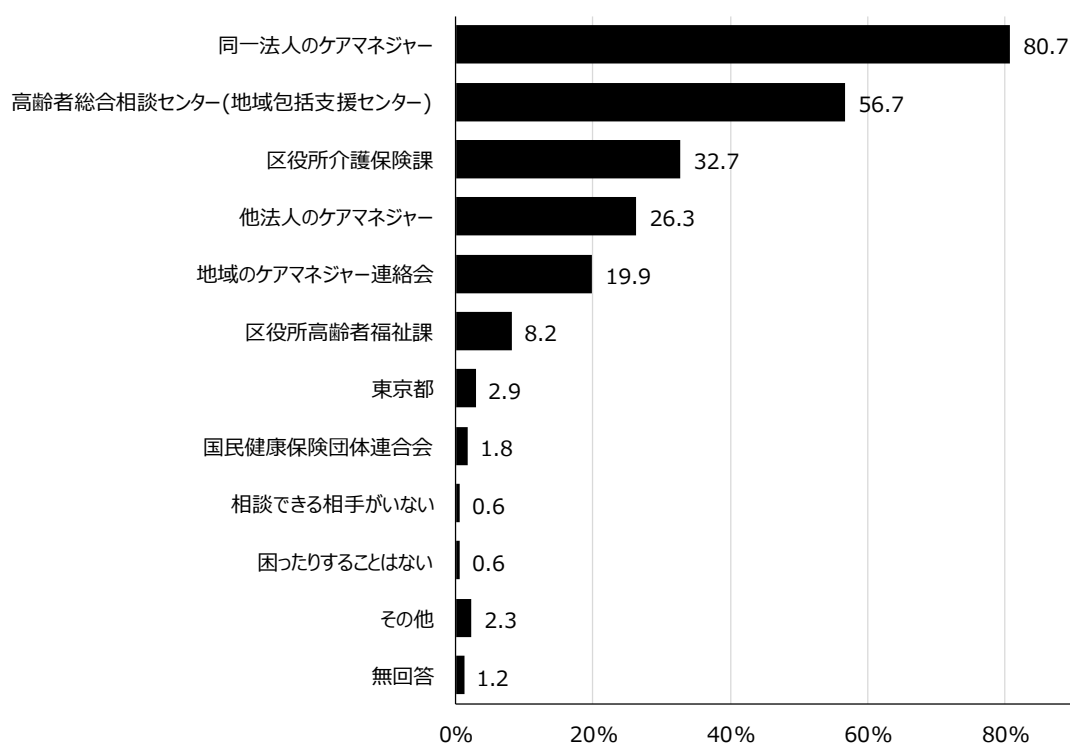
	回答者数	利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	利用者の状態像に関するアセスメント	サービス担当者会議の開催・調整	ケアプランの作成などに対する家族の同意	ケアプランの作成など（書類の作成など）	居宅訪問・面接	状況確認のための毎月の	主治医や医療機関と連絡調整	利用者や事業所の苦情対応	地域ケア会議への参加	介護報酬請求事務	夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	異なる場合の調整	利用者本人と家族の意向が	利用者の経済的問題等の相談	認知症等の利用者にかかわること	入所・入院先の相談手配	介護保険では対応できない同居家族の問題	その他	特に負担に感じることはない	無回答
全体	171	10.5	14.6	38.6	0.6	13.5	10.5	29.2	18.7	14.6	5.8	37.4	54.4	35.7	32.7	19.9	24.6	48.5	10.5	2.3	2.9		
従事年数	1年未満	13	7.7	30.8	30.8	0.0	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	15.4	7.7	38.5	0.0	7.7	15.4	30.8	23.1	0.0	7.7		
	1年以上3年未満	17	5.9	5.9	29.4	0.0	11.8	5.9	29.4	23.5	5.9	29.4	58.8	23.5	35.3	17.6	11.8	47.1	17.6	0.0	0.0		
	3年以上5年未満	23	21.7	17.4	39.1	0.0	17.4	21.7	30.4	26.1	17.4	4.3	47.8	52.2	56.5	43.5	34.8	39.1	56.5	4.3	4.3	0.0	
	5年以上10年未満	50	16.0	10.0	40.0	2.0	14.0	8.0	28.0	16.0	14.0	8.0	36.0	54.0	32.0	40.0	12.0	26.0	56.0	8.0	2.0	4.0	
	10年以上15年未満	43	7.0	16.3	41.9	0.0	14.0	14.0	32.6	23.3	25.6	9.3	41.9	74.4	41.9	32.6	30.2	23.3	53.5	7.0	4.7	0.0	
15年以上	24	0.0	16.7	41.7	0.0	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3	0.0	41.7	45.8	20.8	25.0	12.5	25.0	29.2	16.7	0.0	4.2		

(3) ケアプランを作成するうえでのわからないことや困ったことの相談相手

問21. あなたは、ケアプランを作成するうえでわからないことや困ったことがあった時、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

**「同一法人のケアマネジャー」が80.7%と最多。次いで「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)」、****「区役所介護保険課」(32.7%)の順。**

図表 4-57 ケアプランを作成するうえでのわからないことや困ったことの相談相手(n=171)



従事年数別でみると、従事年数が増えるほど、「高齢者総合相談センター」が高い傾向になっています。

図表 4-58 従事年数別のケアプランを作成するうえでの  
わからないことや困ったことの相談相手

	回答者数	同一法人のケアマネジャー	他法人のケアマネジャー	地域のケアマネジャー連絡会	高齢者総合相談センター	区役所介護保険課	区役所高齢者福祉課	東京都	国民健康保険団体連合会	その他	困ったりすることは無い	相談できる相手がいない	無回答
全体	171	80.7	26.3	19.9	56.7	32.7	8.2	2.9	1.8	2.3	0.6	0.6	1.2
従事年数	1年未満	13	92.3	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上3年未満	17	94.1	23.5	17.6	29.4	35.3	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	23	95.7	21.7	17.4	56.5	26.1	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	76.0	32.0	28.0	64.0	36.0	4.0	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0
	10年以上15年未満	43	76.7	32.6	18.6	67.4	34.9	11.6	7.0	2.3	2.3	0.0	0.0
15年以上	24	70.8	16.7	16.7	62.5	37.5	12.5	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	

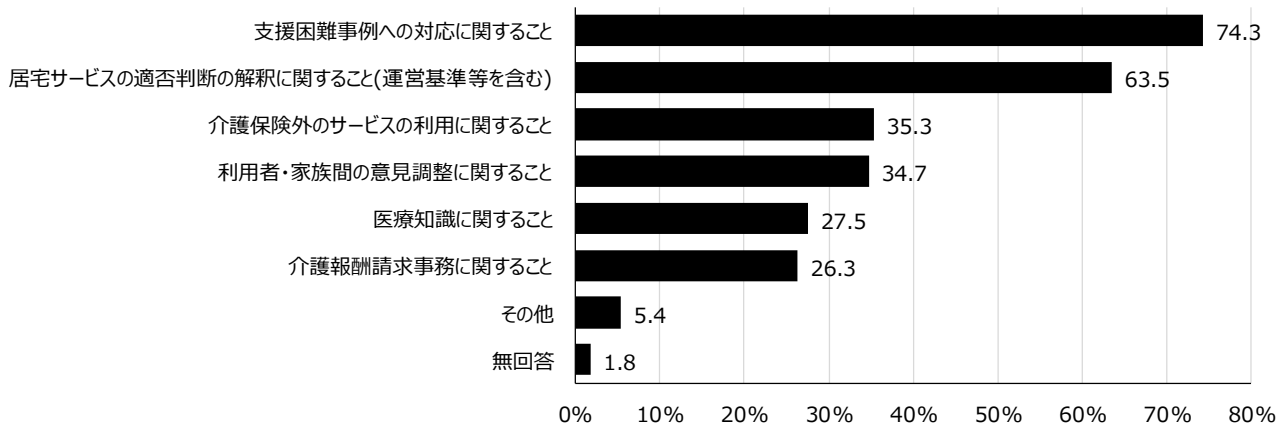
(%)

(4) 相談内容

問21-1. 問21で「同一法人のケアマネジャー」「他法人のケアマネジャー」「地域のケアマネジャー連絡会」「高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）」「区役所介護保険課」「区役所高齢者福祉課」「東京都」「国民健康保険団体連合会」「その他」に○をつけた方にうかがいます。どのようなことを相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

「支援困難事例への対応に関すること」が74.3%と最多。次いで「居宅サービスの適否判断の解釈に関すること（運営基準等を含む）」(63.5%)、「介護保険外のサービスの利用に関すること」(35.3%)の順。

図表 4-59 相談内容 (n=167)



図表 4-60 従事年数別の相談内容

	回答者数	支援困難事例への対応に関すること	利用者・家族間の意見調整に関すること	居宅サービスの適否判断の解釈に関すること(運営基準等を含む)	介護保険外のサービスの利用に関すること	医療知識に関すること	介護報酬請求事務に関すること	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	167	74.3	34.7	63.5	35.3	27.5	26.3	5.4	1.8
従事年数	1年未満	13	61.5	61.5	53.8	38.5	23.1	15.4	0.0
	1年以上3年未満	17	76.5	35.3	64.7	17.6	29.4	41.2	0.0
	3年以上5年未満	23	87.0	43.5	65.2	34.8	30.4	21.7	4.3
	5年以上10年未満	48	77.1	35.4	66.7	41.7	29.2	27.1	2.1
	10年以上15年未満	43	72.1	25.6	67.4	41.9	30.2	23.3	7.0
	15年以上	23	65.2	26.1	52.2	21.7	17.4	26.1	8.7

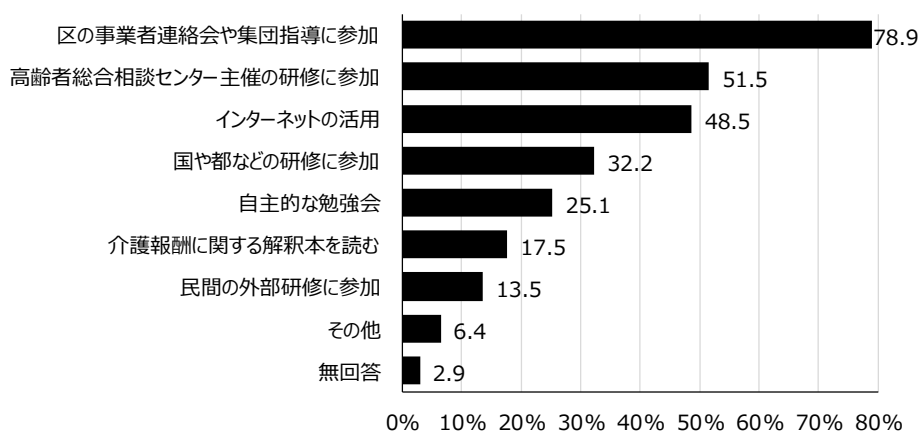
## 6. 質の確保について

### (1) 介護保険制度改正の学習方法

問22. 介護保険制度は3年ごとに大きな改正がありますが、改正内容をどのように学んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

**「区の事業者連絡会や集団指導に参加」が78.9%と最多。次いで「高齢者総合相談センター主催の研修に参加」(51.5%)、「インターネットの活用」(48.5%)の順。**

図表 4-61 介護保険制度改正の学習方法 (n=171)



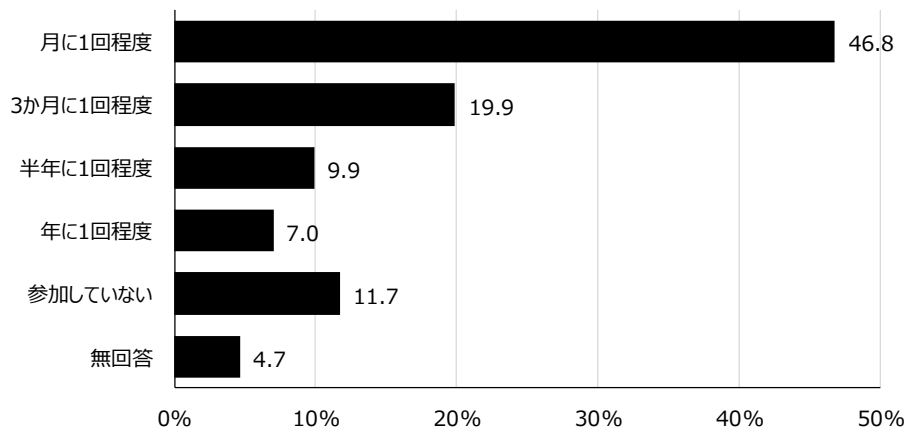
(2) 研修の参加頻度 (事業所や同一法人)

問23. あなたはどれくらいの頻度で研修に参加していますか。(それぞれひとつだけ○)

① 事業所や同一法人の研修

「月に1回程度」が46.8%と最多。

図表 4-62 研修の参加頻度 (事業所や同一法人の研修) (n=171)



図表 4-63 従事年数別の研修の参加頻度 (事業所や同一法人の研修)

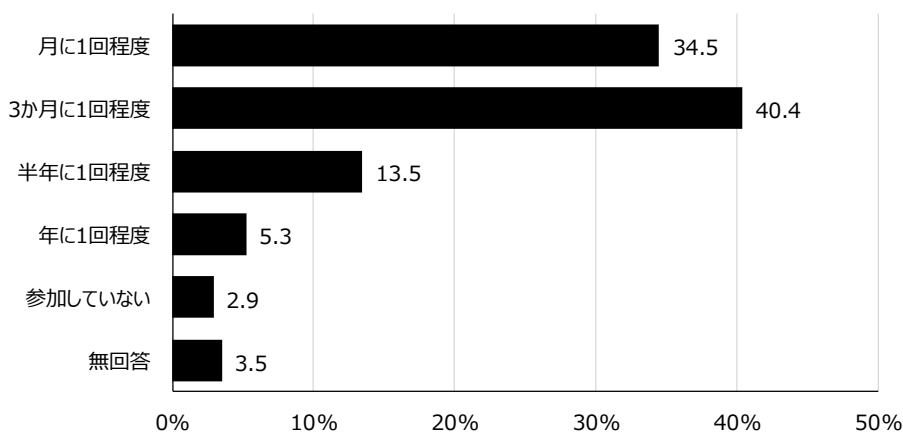
		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答	
全体		171	46.8	19.9	9.9	7.0	11.7	4.7	(%)
従事年数	1年未満	13	61.5	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	
	1年以上3年未満	17	29.4	17.6	23.5	11.8	0.0	17.6	
	3年以上5年未満	23	52.2	13.0	13.0	4.3	13.0	4.3	
	5年以上10年未満	50	40.0	22.0	8.0	12.0	16.0	2.0	
	10年以上15年未満	43	55.8	25.6	4.7	4.7	9.3	0.0	
	15年以上	24	45.8	16.7	8.3	4.2	16.7	8.3	



② 地域の職能団体・区の研修

「3か月に1回程度」が40.4%と最多。次いで「月に1回程度」が34.5%と続く。

図表 4-64 研修の参加頻度（地域の職能団体・区の研修）（n=171）



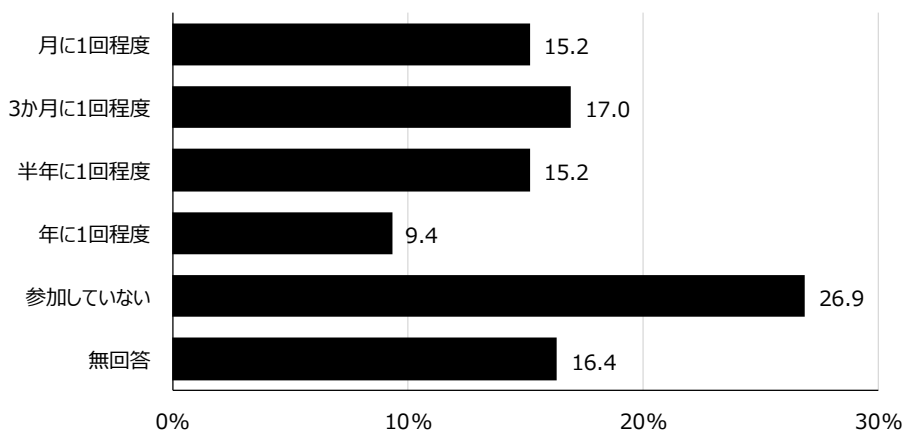
図表 4-65 従事年数別の研修の参加頻度（地域の職能団体・区の研修）

		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答	(%)
全体		171	34.5	40.4	13.5	5.3	2.9	3.5	
従事年数	1年未満	13	30.8	53.8	7.7	0.0	7.7	0.0	
	1年以上3年未満	17	23.5	41.2	23.5	0.0	0.0	11.8	
	3年以上5年未満	23	30.4	56.5	13.0	0.0	0.0	0.0	
	5年以上10年未満	50	38.0	34.0	14.0	8.0	6.0	0.0	
	10年以上15年未満	43	41.9	39.5	11.6	2.3	0.0	4.7	
	15年以上	24	29.2	33.3	12.5	16.7	4.2	4.2	

③ その他の団体による研修

「参加していない」が26.9%と最多。次いで「3か月に1回程度」(17.0%)、「月に1回程度」「半年に1回程度」(15.2%)の順。

図表 4-66 研修の参加頻度（その他の団体による研修）(n=171)



図表 4-67 従事年数別の研修の参加頻度（その他の団体による研修）

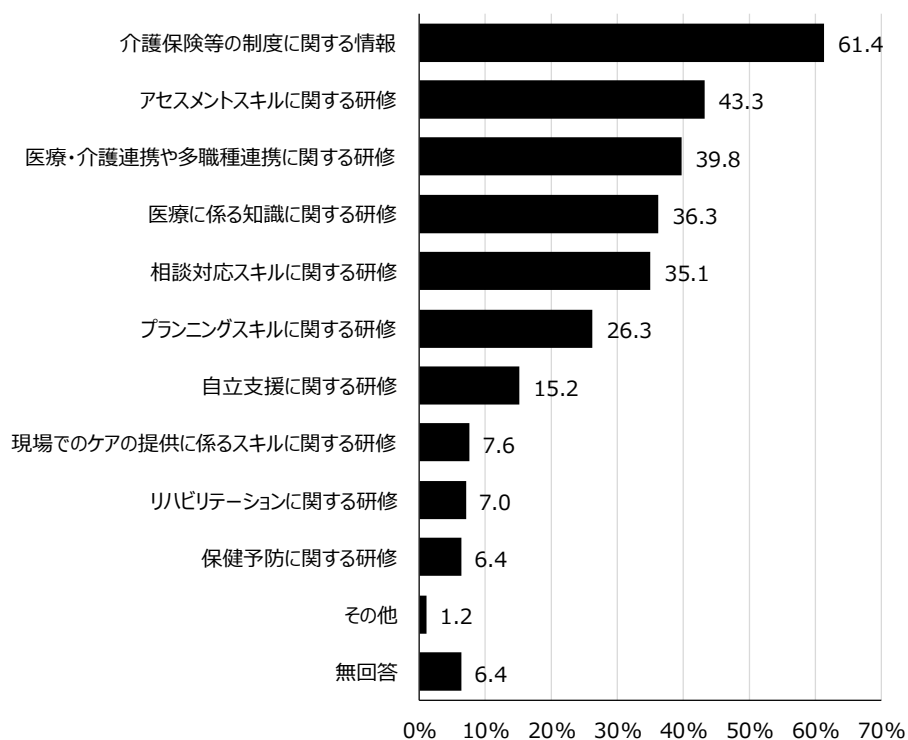
		回答者数	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	参加していない	無回答
全体		171	15.2	17.0	15.2	9.4	26.9	16.4
従事年数	1年未満	13	30.8	7.7	0.0	7.7	38.5	15.4
	1年以上3年未満	17	11.8	0.0	11.8	5.9	41.2	29.4
	3年以上5年未満	23	13.0	21.7	13.0	0.0	30.4	21.7
	5年以上10年未満	50	12.0	20.0	14.0	12.0	28.0	14.0
	10年以上15年未満	43	20.9	11.6	23.3	11.6	18.6	14.0
	15年以上	24	8.3	33.3	16.7	12.5	20.8	8.3

(3) 業務に役立った研修内容

問24. あなたがこれまで受けた研修の中で、特に業務に役立った内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険等の制度に関する情報」が61.4%と最多。

図表 4-68 業務に役立った研修内容(n=171)



従事年数別でみると、従事年数が高い方が、「介護保険等の制度に関する情報」が比較的高くなっています。

図表 4-69 従事年数別の業務に役立った研修内容

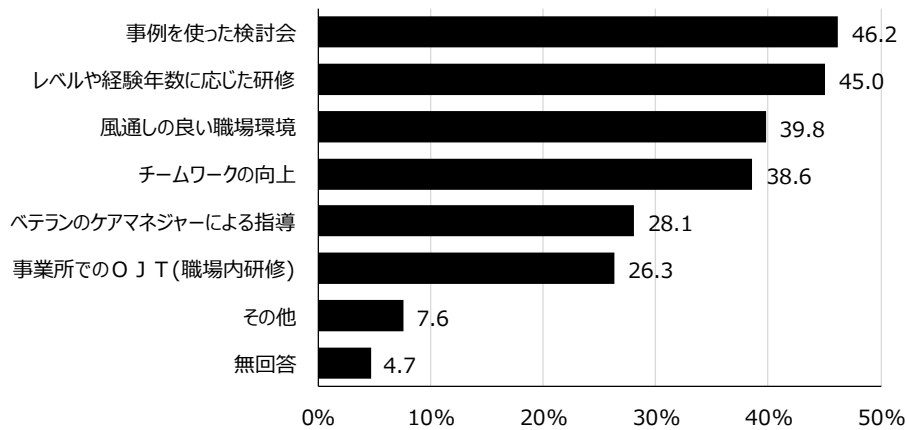
	回答者数	介護保険等の制度に関する情報	相談対応スキルに関する研修	アセスメントスキルに関する研修	プランニングスキルに関する研修	医療に係る知識に関する研修	現場でのケアの提供に係るスキルに関する研修	保健予防に関する研修	リハビリテーションに関する研修	多職種連携に関する研修	医療・介護連携や	自立支援に関する研修	その他	無回答
全体	171	61.4	35.1	43.3	26.3	36.3	7.6	6.4	7.0	39.8	15.2	1.2	6.4	(%)
年齢	20歳代	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	14	57.1	50.0	57.1	7.1	14.3	7.1	0.0	21.4	28.6	0.0	7.1	
	40歳代	56	55.4	37.5	32.1	30.4	35.7	8.9	8.9	7.1	35.7	7.1	3.6	7.1
	50歳代	47	68.1	36.2	48.9	21.3	40.4	4.3	4.3	8.5	36.2	17.0	0.0	4.3
	60歳代	42	64.3	26.2	47.6	28.6	38.1	4.8	4.8	2.4	54.8	21.4	0.0	4.8
	70歳代以上	8	75.0	37.5	62.5	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5
従事年数	1年未満	13	38.5	38.5	46.2	30.8	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	15.4	0.0	0.0
	1年以上3年未満	17	58.8	23.5	35.3	29.4	35.3	0.0	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	11.8
	3年以上5年未満	23	65.2	52.2	39.1	21.7	39.1	0.0	0.0	4.3	30.4	13.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	52.0	34.0	38.0	28.0	32.0	12.0	6.0	4.0	50.0	18.0	2.0	14.0
	10年以上15年未満	43	81.4	37.2	55.8	18.6	44.2	11.6	11.6	14.0	46.5	14.0	0.0	0.0
	15年以上	24	58.3	25.0	41.7	37.5	41.7	4.2	8.3	12.5	29.2	25.0	4.2	4.2

(4) ケアマネジャーの質の向上に必要なこと

問25. あなたが、ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「事例を使った検討会」が46.2%と最多。次いで「レベルや経験年数に応じた研修」(45.0%)、「風通しの良い職場環境」(39.8%)の順。

図表 4-70 ケアマネジャーの質の向上に必要なこと (n=171)



図表 4-71 従事年数別のケアマネジャーの質の向上に必要なこと

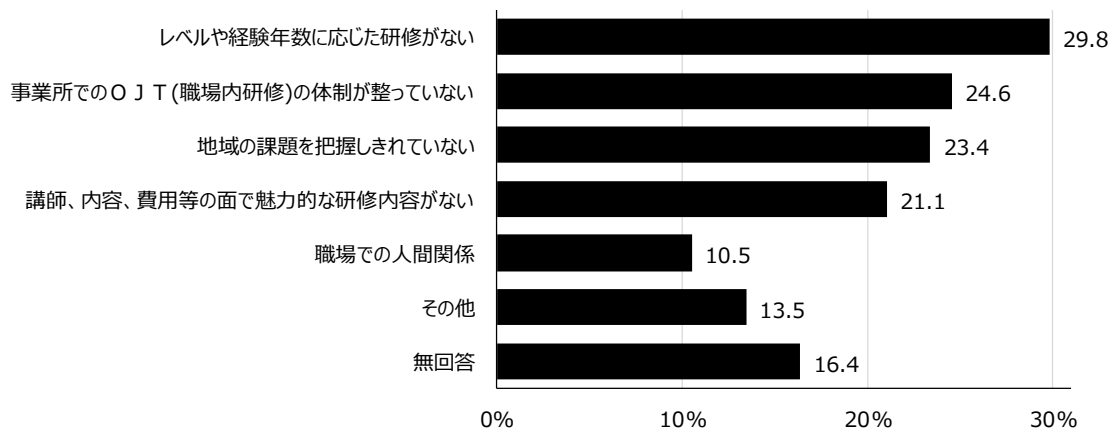
	回答者数	必要なこと								
		レベルや経験年数に応じた研修	事業所でのOJT(職場内研修)	ベテランのケアマネジャーによる指導	事例を使った検討会	チームワークの向上	風通しの良い職場環境	その他	無回答	
全体	171	45.0	26.3	28.1	46.2	38.6	39.8	7.6	4.7	
従事年数	1年未満	13	69.2	23.1	38.5	69.2	30.8	61.5	7.7	0.0
	1年以上3年未満	17	82.4	11.8	41.2	23.5	29.4	41.2	5.9	11.8
	3年以上5年未満	23	39.1	43.5	39.1	52.2	34.8	60.9	0.0	0.0
	5年以上10年未満	50	38.0	22.0	20.0	42.0	52.0	30.0	8.0	8.0
	10年以上15年未満	43	37.2	27.9	34.9	53.5	30.2	37.2	7.0	0.0
	15年以上	24	41.7	29.2	8.3	41.7	41.7	33.3	16.7	4.2

(5) ケアマネジャーの質の向上における課題

問26. あなたの所属する事業所におけるケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「レベルや経験年数に応じた研修がない」が29.8%と最多。次いで「事業所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない」(24.6%)、「地域の課題を把握しきれていない」(23.4%)の順。

図表 4-72 ケアマネジャーの質の向上における課題 (n=171)



図表 4-73 従事年数別のケアマネジャーの質の向上における課題

		回答者数	レベルや経験年数に応じた研修がない	事業所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない	魅力的な研修内容がない	講師、内容、費用等の面で魅力的な研修内容がない	地域の課題を把握しきれていない	職場での人間関係	その他	無回答
全体		171	29.8	24.6	21.1	23.4	10.5	13.5	16.4	(%)
従事年数	1年未満	13	38.5	15.4	15.4	30.8	7.7	0.0	30.8	
	1年以上3年未満	17	47.1	23.5	23.5	17.6	11.8	17.6	11.8	
	3年以上5年未満	23	34.8	34.8	13.0	13.0	21.7	4.3	21.7	
	5年以上10年未満	50	22.0	18.0	16.0	26.0	6.0	14.0	18.0	
	10年以上15年未満	43	25.6	23.3	27.9	27.9	14.0	23.3	9.3	
	15年以上	24	33.3	37.5	29.2	20.8	4.2	8.3	12.5	

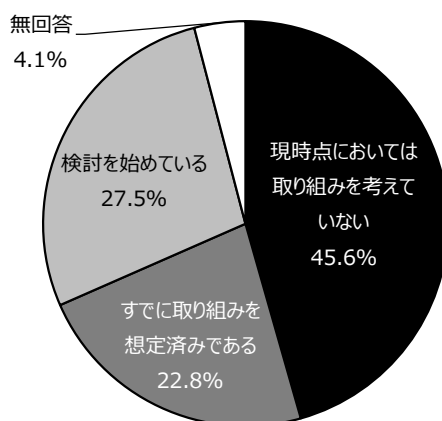
## 7. 災害時の対応について

### (1) 大規模災害が発生した場合の対応

問27. 大規模災害が発生した場合のご利用者の対応等について、何か取り組みを考えていますか。(ひとつだけ○)

**「現時点においては取り組みを考えていない」が45.6%と最多。**

図表 4-74 大規模災害が発生した場合の対応 (n=171)

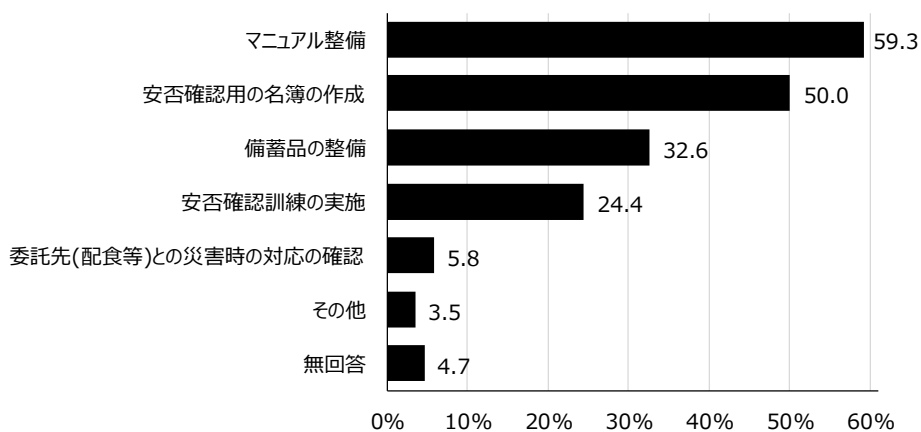


### (2) 大規模災害が発生した場合に向けた取組内容

問27-1. 問27で「すでに取り組みを想定済みである」「検討を始めている」に○をつけた方にうかがいます。現在、検討している・想定している取り組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

**「マニュアル整備」が59.3%と最多。次いで「安否確認用の名簿の作成」が50.0%と続く。**

図表 4-75 大規模災害が発生した場合に向けた取組内容 (n=86)



(3) 大規模災害発災時の課題等に対する自由意見

問28. 大規模災害が発生した場合の取り組みを実施するにあたり、課題等があればご自由にお書きください。

34名のケアマネジャーの方から意見・要望等が寄せられました。内容を集約したうえで下表の8つの観点に整理すると、「対応方針の検討」や、「安否確認手段」「避難手段」に関する意見が比較的多くみられました。

観点	主な回答内容
対応方針の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人としての考えと支店でできる事とマニュアルの整備が不十分。利用者への説明も不十分。</li> <li>• 地震しか想定できていない。災害時の時期別（発災前、発災直後、発災48H以内）などで行動するためのアルゴリズムとその集知が必要。</li> <li>• 災害時の取り組みについて、検討した事がない。まず事務所内で検討を始めてほしい。</li> <li>• 地震直後の72時間以降の動きも考えていく必要があるのではないかと思う。</li> <li>• 利用者により、対応が手厚い、家族まかせ等、かわり方に不平等が生じた事により、不満や苦情が出るのではないかと思う。</li> </ul>
安否確認手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュリティの厳しいマンションは、災害発生し、停電になった場合、中に入れず安否確認がむずかしい。</li> <li>• インフラが止まった時、どう対応すべきか。具体的な事を考える時に必要な事が何か不明。</li> <li>• 地域ぐるみでの安否確認訓練などを、高齢者総合相談センターを中心としておこなうことがいいのではないか。</li> <li>• 独居の人の夜間の連絡方法をどのようにすればよいか。</li> <li>• 連絡ツールが統一してないため確認がとりづらい。</li> </ul>
避難手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1次避難所、2次避難所の確認も行わなくてはならないと思う。</li> <li>• 独居で認知症のある利用者をどう避難させるか。</li> <li>• 台風19号の時に避難の放送があったが、一人で動けない人は、そもそも避難が出来ない。</li> <li>• 独居で認知症の利用者の安否確認・老老介護の利用者の誘導や指示をどうするか。</li> <li>• 避難場所やどのように移動させるか明確になっていない。</li> </ul>



観点	主な回答内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 独居高齢者を避難所等へ誘導する体制が明確ではない。</li> <li>• 多くの利用者が災害レベル3で避難指示が出ても、動けず、避難場所まで行けないので家にいるしかなかったと言っている。高齢者でも分かりやすいマニュアルや救助法を検討すべき。高齢者はスマホや携帯を持っていないので（あるいは使えない）そのあたりもご考慮いただきたい。</li> </ul>
業務時間外の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害が休日と重なった際、区役所・包括が対応できなかった。今後は対応方法を考えていく必要がある。</li> <li>• 電車通勤のスタッフが多く交通網がどうなるか。休日か平日かで事業所内スタッフに大きく違いが出るため、マニュアルで標準的なところの想定が難しく作成しづらい</li> <li>• 会社にいる時ならば何とかなるが、自宅にいる時に発生した場合が問題。通勤が困難になるし、電話もつながらなければお客様の安否確認ができない</li> </ul>
ケアマネジャーの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大規模災害が発生した場合、ケアマネジャーがどこまでかわかる事ができるか、難しい問題である。</li> <li>• 地域や行政が中心になって取り組むことが重要で、在宅のケアマネジャー個々で取り組みをするのは、難しい。ケアマネジャーにも家族があり、利用者を優先して対応するよう促かすのは、行政としておかしいと思う。出来る範囲のことはするが、大規模災害で個人や事業所として、利用者に対して、どこまで取り組めるかは難しい。施設であれば利用者を優先した取り組みは重要であるが、在宅ケアマネジャーには厳しい。負担が大きく、本来の業務からかけ離れている。</li> <li>• 災害が発生した場合、ケアマネジャーとして何をどこまで支援することが出来るかが不安。全員を訪問して確認することは難しいと考えている。私、自身が職場に来ることが出来るかも不明な状況も考えられる。</li> </ul>
人員の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 居住地から職場へ行くことが困難になると思う。</li> <li>• ケアマネが2人ということと、事業所の近隣に住んでいるわけではない為災害が発生した場合の安否確認を実際に行えるかどうか、他の方法についても検討が必要と感じている。</li> <li>• 前回の災害時でも強く感じましたが、ケアマネよりヘルパ</li> </ul>

観点	主な回答内容
	<p>一の方が大変だったと思う。デイは休止しても、独居や老々介護だと行かざるを得ない状況で、電車も止まり、タクシーもつかまらなかった。豊島区外からの勤務が多く、ホテルを前日取るなどして対応してくれている。ケアマネとしては有難いが、在宅の重度の要介護者の対応が課題だと思う。</p>
避難所の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難所に手すりやベッドがない場合に移動や寝起きが出来ないだろうから、どうしたら良いのだろう、と複数のご利用者から、質問いただいているが、返事ができていない。</li> <li>• 先日の大型台風で、緊急避難速報が出て、小学校など受け入れ施設まで載せていたのに、あるヘルパーさんが高齢者を早々に連れて行ったら、「まだ家で待機していて下さい」と返されたとのこと。対応の準備が整ってから、発表しないと、逆に危険だと思う。</li> <li>• 先日、台風19号が豊島区に接近した際、豊島区にレベル3の情報の発信があり、区の避難所の受け入れ状況を確認のため行きましたところ、対応されていたのは、防災課職員の方2名だけでしたので利用者を避難所へ連れていった方が良いのか相談したかったができずに困った。結局その方には、自宅に留まっていたが、自宅の窓ガラスの補強、懐中電灯の準備、食料の買い出しなど大変だった。改めて、介護が必要な高齢者を安全な場所へ避難させることがいかに難しいか実感した。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域でどの程度要援護者の情報が把握されているかが鍵だと思います。個人情報保護もあり、情報提供は難しい面もあると思います。我々ケアマネの問題以前に行政としてどう対処するかの方が問題ではないかと考えます。</li> <li>• 自分自身豊島区のことを良くわかっていない為、色々な事を確認していく必要があると思う。事業所では訓練も行っているが参加出来ていない。</li> <li>• 高齢者の家に備蓄の管理や家具の固定をしてくれるサービスがあると良い。</li> </ul>

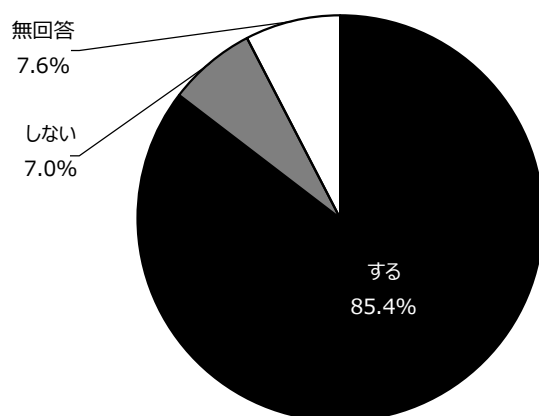
## 8. 今後の意向について

### (1) ケアマネジャーの資格更新への意向

問29. あなたは、次回のケアマネジャーの資格更新をしますか。(ひとつだけ○)

「する」が85.4%。

図表 4-76 ケアマネジャーの資格更新への意向 (n=171)



図表 4-77 年齢別のケアマネジャーの資格更新への意向

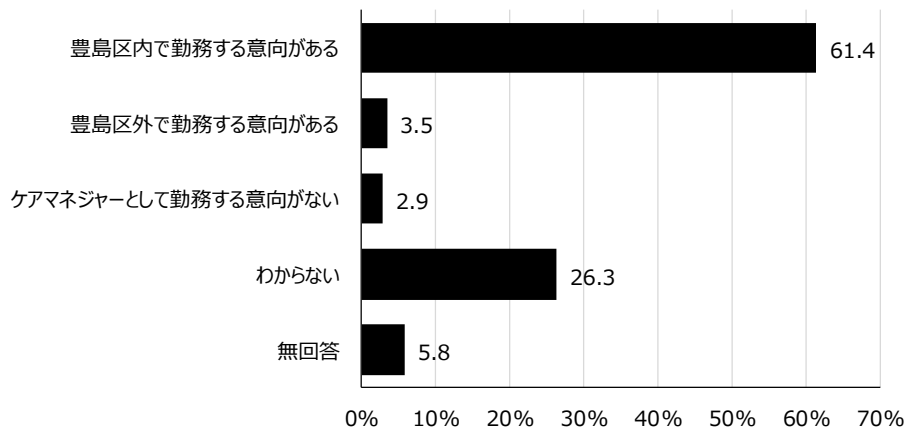
		回答者数	する (%)	しない (%)	無回答 (%)
全体		171	85.4	7.0	7.6
年齢	20歳代	2	100.0	0.0	0.0
	30歳代	14	92.9	0.0	7.1
	40歳代	56	91.1	1.8	7.1
	50歳代	47	87.2	2.1	10.6
	60歳代	42	73.8	21.4	4.8
	70歳代以上	8	75.0	12.5	12.5

(2) ケアマネジャーとしての就労意向

問30. あなたは、今後も豊島区内でケアマネジャーとして働き続ける意向がありますか。(ひとつだけ○)

「豊島区内で勤務する意向がある」が61.4%と最多。

図表 4-78 ケアマネジャーとしての就労意向 (n=171)



図表 4-79 年齢別のケアマネジャーとしての就労意向

		回答者数	豊島区内で勤務する意向がある	豊島区外で勤務する意向がある	ケアマネジャーとして勤務する意向がない	わからない	無回答
全体		171	61.4	3.5	2.9	26.3	5.8
年齢	20歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	14	57.1	7.1	0.0	28.6	7.1
	40歳代	56	51.8	3.6	1.8	41.1	1.8
	50歳代	47	63.8	4.3	2.1	21.3	8.5
	60歳代	42	71.4	2.4	4.8	16.7	4.8
	70歳代以上	8	50.0	0.0	12.5	12.5	25.0

(3) 介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についての自由意見

★ 最後に、今後の介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

27名のケアマネジャーの方から意見・要望等が寄せられました。内容を集約したうえで下表の7つの観点に整理すると、「業務負荷」や、「区分変更時の対応」「各種制度への対応」に関する意見が比較的多くみられました。

観点	主な回答内容
業務負荷	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 介護度の判定も厳しくなり、予防に該当される方が多い中、予防プランの手間、負担も大きく、受け入れ事業所も限られ、報酬も少なく、ケアマネジャーの負担ばかり増大していると思います。今後、ケアマネジャーを継続していく事に困難を感じます。</li> <li>• ケアマネジャーに全てをまかせるのではなくて役割分担をしてもらいたい。虐待案件など、区の担当も適宜かわってもらいたい。ケアマネジャーが時間をさくのには少々無理がある。介護保険外のサービスこそ区や包括の力を必要としていると思う。</li> <li>• 予防プランはなかなか介護度も変わらず、経営に響いているが、包括に返すのも申し訳ないので困っている。書類の手間など、要介護の方と変わらない。・地域貢献。報酬はなくて当たり前だが、何かの形で保険者から評価してほしい。</li> </ul>
区分変更時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 状態悪化時に区分変更を検討した場合に、自費が発生するリスクを考えると、安心して介護サービスの基盤作りができない。</li> <li>• 区分変更時、自費になってしまうリスクがある説明をすると納得をなかなかしてもらえない。リスクがあるので区分変更したくないという方もいる。</li> <li>• 選択的・いきいき・すこやか区分変更却下時実費発生など介護職利用者からも豊島区は面倒だとの声がある。特に介護職の豊島区離れや定職者の低下は残念。自分もやる気が出ない。他の区の方が良いと思う。</li> <li>• 要支援の方の場合、区分変更をしてまた要支援と認定されるとその間のサービス料は自費となるのが本当に困る。区分変更が必要と判断した方も区分変更するのを躊躇する。</li> </ul>

観点	主な回答内容
各種制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制度が複雑になり、利用者には理解が困難になってきていると感じる。</li> <li>• 今の生活スタイルに制度をあわせるのが難しい時代に入ったと感じる。</li> <li>• 豊島区はいろいろと制限やしばりが多いので、もっと柔軟にサービス利用が出来るようになると思います。</li> </ul>
サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区境近くに居住する利用者等、場所によって不利益の生じない介護サービス基盤の整備。(小規模多機能等は、利用できない地域が多い。)</li> <li>• ショートステイサービスの充実。予防支援の訪問介護の受け入れが少ない為、サービス調整が困難な時がある。</li> </ul>
予防プランの期間設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予防プランの期間設定の見直しを望む。初回3ヶ月、その他6ヶ月と期間が短すぎる。</li> <li>• 豊島区の予防に関して、初回3ヶ月後の担当者会議、その後6ヶ月ごとの見直しについて、書類作成にばかり時間がかかり、必要性をまったく感じる事ができず、むだだと思っている。他の区は1年後だったり、委託をうけやすいが、豊島区は手間が多い。</li> </ul>
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域住民の方達がどこまで理解してくれているのか。専門職だけでなく、地域住民をまきこんで考えてほしい。</li> <li>• 豊島区の場合、地域で支えるということが難しいと考えている。包括職員の意欲も感じられない。基本は地域作りである。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 独居の認知症高齢者に対する支援をきちんと考えていきたい。</li> <li>• 区内の包括支援センターとの連携がないとむずかしいので、今後も連携しながら進めていきたいと思っている。</li> <li>• 介護保険でのヘルパーによる家事援助(買物、掃除、調理など)を全て無くすとよいのではないか。民間のサービスで十分まかなえる。身体介護のみとして、ヘルパー対応していかないと、人手不足で本当に必要な人に介護が回らない。今でもヘルパー確保が難しいのに、今後更にひどくなるのは確実である。</li> <li>• デイサービスや、ショートステイ中の事故に対し、もっと対策を徹底して欲しい。何となく隠されている部分が多い</li> </ul>

観点	主な回答内容
	<p>と感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合事業における通所の利用が限られていて探すことが大変。区の銭場が少なくなっている中、通所の方で入浴を断ることが増えている。</li> <li>• セルフプランを増やしていくとよいのではないか。利用者や家族で判断能力が問題ない場合、わざわざケアマネジャーを利用しなくても、誰でも作れるようなセルフプランにして、活用を促進する。プランの中には、専門性の必要のないプランも多い。初めに、地域包括などで、本人・家族とケアマネジャーが必要かどうか話して決めていく。何でもかんでもケアマネジャーがかかわっても、財政を圧迫するだけである。</li> <li>• 選択的介護の必要性が分からない。介護保険と民間のサービスは切り離して考えた方がシンプルである。</li> </ul>